臺灣日日新報 夕刊
十一月二十六日
夕刊定價一部貳錢
發行兼編輯人 [illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目三十二番地 臺灣日日新報社
基隆市旭町（電話七八五） 基隆支局
臺中市寶町（電話一〇七） 臺中支局
臺南市錦町（電話一三〇） 臺南支局
花蓮港入船町 花蓮港支局
大阪市西區靭南通二丁目（ユタカビルデイング內） 大阪支局
東京市京橋區銀座三丁目（王子館內） 東京支局

聯盟理事會第四日

我政府の回訓到著後 問題を總會に廻付

チェ國代表から即時移牒の提案

【ゼネバ二十五日發電通】第四日目理事會は議長が二十四日「次回からリツトン報告の討議に入る」旨言明した上調査團からの追加答申問題に就き同夜支那側と打合せたマダリアガ氏が何等かの作戰を試みる形勢あり、會議は極めて緊張し定刻前新聞記者や一般傍聽者は席に溢れると言ふ有様である、議長デ・ヴアレラ氏は本日はドラモンド事務總長と打合せて出席松岡帝國代表は例の如く落ち付き入場に先立ち記者團に「君達は餘り早くから力を入れるといけませんぞ」と微笑を浮かべつつ厖大なる書類包みを抱て入場す、斯くて午後三時四十四分（臺灣時間午後十時四十四分）

議長 開會を宣す、直ちに議事日程に入り

一、ボリヴイア、パラグワイ紛爭問題

二、イラク、シリヤ兩國間の國境に關する紛爭

三、メンチヒ問題

の審議を終り、午後四時四十七分日支兩國の討議に入る。劈頭松岡代表より提出されたリツトン調査團の權限に關する日本のステートメントを朗讀したる後

松岡代表 日本は理事會で調査委員會全體としての或は委員個々の質問に答へ又は報告書に就き說明を加へ或は變更を加ふることに反對はしない、然し理事各位のなされる質問又は報告書內容の變更は理事會の所說に基くものでない

茲に於て理事會は松岡代表の聲明を記錄に留め、次で議長はリツトン調査委員長を麾く

リツトン卿 自席から、報告書に對し變更又は追加を希望することとなし

と言明す斯くて理事會はリツトン調査委員に對し質問をなさざるに決した、この時

ベネシユ チエツコ代表 余は本事件を直ちに總會に移すを希望す、余は述べたいことは總會に讓る

日支問題を一先づ打切る

とて愈々總會へ廻付の提案をなす

然るに何等發言者もなく依つて議長は報告書を總會に移牒すべき手續を讀み上げたる後

議長 報告書を總會に移すことは理事會を報告書審議の義務より免かれしむることを意味するにあらず、余自身報告書に關し述べたい意見を有する、然して日支兩國代表より開陳された意見が紛爭解決に關する兩國政府の最後的態度を現はすものでないと言ふことを期待したい、余は日本の態度消極的なるを遺憾とす、余は日支兩國が積極的に理事會を援けられんことを希望す、今後は總會が本問題解決の義務を負ふことになる、然して理事各位の間には目下直ちに解決方策の審議を開始し得るに充分なる意見の一致を見てゐないのである、理事會は紛爭解決のため平和機關を使用すべきことの義務を世界の輿論に負うてゐる

滿洲國の承認が問題解決の基調

松岡代表強く主張

次で議長松岡代表に發言を欲するや否やを問ふや、松岡代表は先づ支那代表に發言させたいと言つたが支那代表が發言を拒絕したので

松岡代表 日本は調査團が報告書中にある如き示唆する權限ありや否や疑問を抱いてゐる、蓋し支那は不戰條約や九國條約の義務を果すべき立場を取らなかつたことを責めざるを得ない、即ち支那は終始日本との直接交涉を拒絕して來たのである余は余一個としても日本の意向は聯盟規約第十條、十五條三項に依る總會の調停を受諾するにあつた我等は平和を欲するものであるが日本の期待する平和は紙片に書かれたものでなく現實に立脚したものである、極東の平和延いては世界の平和は滿洲國を承認せる日本の政策にかかり問題解決は滿洲國の一般的承認を基調とせなければならぬ 余は特に支那に國際義務遵守を期待し得ない、何となれば支那は組織なき國家なればなり、然して總會移牒は東京へ請訓するの餘儀なくせらる、尚余は議長の聲明に批評を加ふる權利を保留す

議長 請訓に要する時間如何

松岡代表 二十六日か二十八日には回訓に接する

次で顧支那代表 余は總會召集に贊成す、日本が妥協態度を示さなかつたのは遺憾に堪へぬ滿洲國は斷じて承認出來ぬ、然して松岡氏の所論は皆見當違ひである

松岡代表 余は支那代表の述べた所を批評する權利を保留す

茲に於て議長は日本の回訓到著まで理事會開會を待つやを諮り異議なきを確かめ五回目の理事會は二十八日午前十一時（臺灣時間午後六時）開會を提議し日支問題を一先づ打切り午後六時五分（臺灣時間二十六日午前二時五分）散會秘密會に入つた

聯盟總會は來月六日と內定

十九國委員會に直ちに移牒の意向

【ゼネバ二十五日發電通】總會は來月六日と內定して居る而して十九ヶ國委員會へ移す說も有力であるがドラモンド事務總長は一旦總會を開いて直ちに十九ヶ國委員會へ移す意向である

その日その日

○

理事會で縱橫無盡の松岡代表、相手をモノともせず議長とまで堂々と大刀打ち——

○

さすが衆議院で練り腕が据わつてゐるだけに生え拔きの外交官などと斷然違ふ、斯うなると結局ハラの問題

○

白人國の政治家を向ふへ廻す大會議コレだけ思ふ儘に切り廻したのは今度が初めて、之でこそ一等國

○

聯盟のデ・ヴアレラとドラモンド事務總長とが、英愛間、內紛を理事會で暴露する、餘興もの

○

支那の背後に米國がゐると伊紙が素つ破拔く、この位のニユースに今更驚く日本ではない

○

蒙古と回教との內蒙獨立運動も有りさうな話、この調子だと支那も四分五裂で元の木阿彌かナ

○

四川省では百年後の稅金まで取り立ててるさうだ、流石は大陸、何んて悠大でせう

○

督府の新幹部が確實に摑み得たのが「共婚法」イの一番の具體的治績

○

固よりコレは過渡的の一便法、今迄の共婚禁止と同樣なハンマな遣り方に幾分優しといふ程度

○

この上は臺灣の實情が、內地同樣、戶籍吏の手で扱はれ得る迄に進化することを祈るのみ

滿洲國不承認を結局總會は決議か

聯盟側の觀測

【ゼネバ二十五日發電通】日支問題の總會移牒問題で二十五日の理事會は果然大論戰展開され、結局松岡代表は移牒の可否を東京からの回訓到著迄決定せぬこととしたが聯盟側は左の觀測をなしてゐる

日本政府の回訓が都合よく來れば二十八日の理事會に問題を十九國委員會に廻付し、同委員會は二十九日か三十日開かれるだらう臨時總會の開かれるのはその直後となるだらう、然し問題が總會に移牒されても日本の強硬態度と問題の複雜性に鑑み總會としては恐らくクリスマス休暇前には報告書の半ばを討論するに過ぎず、最後の解決は一月以降に延期されん、今日の松岡代表の演說は頗る強硬で正面衝突の危機を孕んでゐるが日支直接交涉の必要を指摘した點は多少妥協の餘地を殘してゐる、即ち報告書中直接交涉を主張してゐる點である、結局總會は滿洲國不承認決議を爲し然る後決議の日本へ對する反響を待つと云ふのが落だらう

一、我代表部は總ゆる場合に處する固き覺悟を定めてゐる、萬一總會が滿洲國不承認 決議の如きをなした

我代表部の態度良好な印象を與ふ

總會移牒に關して

【ゼネバ二十五日發電通】理事會中心主義を標榜せる日本代表が理事會の希望を容れ單に我立場を明かにする演說をするのみで、總會移牒に反對しない形に態度を決定したのは區々たる議事上の形式に拘泥せず、所信を披瀝するの便宜を得らるれば如何なる會議も差支ないと言ふ態度を示したものとして良好な印象を與へてゐるが、總會が之を十九國委員會に移す形は未だ確定し居らず、或は新に十九國委員會より一層日支の實情に通ずる適當なる委員會を設けて審議することになるかも知れないとされてゐる、然しそこで如何なる名案が生れるかは何人も疑問とする所で或は理事會へ再附託する結果となるかも知れぬ

最終の理事會と我代表部の態度

松岡代表は總會に出席

【ゼネバ二十五日發電通】我代表部は理事會が審議を盡さず日支問題を總會に移牒する案に反對する立場は捨てないが各國の希望に從つて積極的反對をせざることとなり松岡代表は事務總長ドラモンド氏等の希望を容れ總會出席を承諾した、尚松岡代表は最後の理事會で左の如く我態度を聲明する

一、理事會にて發言者なく皆總會移牒を希望するに鑑み日本代表は之を尊重し總會移牒には反對せぬ

一、然し規約第十五條の適用に就て留保は變りなし

一、理事會が報告書、意見書並に日支兩國代表の演說を聽きながら審議を盡さず總會に移すは遺憾である

一、總會が審議不可能となるやうな場合再び理事會へ戾すことは總會と理事會が獨立的機能を有するに鑑み望ましと信ず

萬一の場合の戰術を攻究

わが代表部で

【ゼネバ二十五日發聯合】總會廻付提議に對する日本の回訓が二十八日迄に到著すれば同日の理事會會議は一先づ理事會の日支問題討議を打切り、問題を總會の手に移すは殆ど確實であるが右總會開會期日は十二月五日說有力である、而して問題が總會の手に移れば小國代表連が聯盟本位の理想論を振翳し聯盟規約の嚴正を唱ふ事は大體豫想の如くだらうと見られてゐる、この間日本代表部は總會の公開會議に日本の正當な立場を說明する用意を整へてゐるが最惡の場合は總會の滿洲國不承認決議と迄行くべく小國筋の策動す場合は決然聯盟脫退の最後の切札を出す時であるとし事實聯盟脫退に關する實際的戰術を眞劍に我代表部では攻究を續けつつある

總會移牒を急ぐ理由

【ゼネバ二十五日發電通】聯盟當局筋より確聞するに、日支問題審議に關する日本以外の常任理事國の間に一致せる意向はデ・ヴアレラ議長の說得やスペインのマダリアガ氏等の策動如何に拘らず出來れば本日遲くも今週中に問題を總會又に十九ヶ國委員會へ移す方針の由であり、理事會の多數が斯くも急いで審議を片附けんとする理由は日本の態度強硬なるを看取した結果リツトン報告と日本の意見書と日支代表の理事會演說其他一切の議事錄をあげて十九ヶ國會議又は總會へ移し暫らく議事を引延ばしこの間多角的私的會談を重ね適當な解決方法の端緒を摑み然る後正式會議を開催せんとの苦肉策に基くものと諒解される、日本としては故意の引延にあらざる限り例へ十九ヶ國委員會がどんなに延びやうと確固たる決意と態度を以つて聯盟に對する方針である

明糖脫稅の調査會

鹿又技師から製糖技術說明

【東京二十六日發電通】明糖脫稅調査會は二十五日午後一時法制局に開會、特に鹿又東京稅務監督局技師から製糖技術に關する詳細な說明あり終つて明糖問題に關する具體論に付き議論沸騰したが決定に至らず散會、次回は來月二日開會の筈

米英クロス新安値

【ニユーヨーク二十五日發電通】二十五日のニユーヨーク爲替市場は米英クロス十二年來の新安値を出し最終値は三ドル二十仙八分の五となつた、右はアメリカの戰債支拂延期の拒絕に依るものである

臺灣發明協會活躍を始む

來月初め久し振りに理事會を召集して

財團法人臺灣發明協會は大正三年臺灣に於ける發明及び發見の獎勵を目的として設立せられ、爾來十有八年の歲月を經過し、其の理事長の如きも高木友枝氏以後堀內、今村、後藤、堀田、人見、高橋、木下諸氏を經て今日の平塚留義氏まで九代に遞して居るが、如何せん其の

基金の 如きも僅かに五百圓に過ぎず、事業も一向にあがらず、東京に於ける帝國發明協會が三千の會員と年約八十萬圓の經費とを以て斯界に盛んに活躍して多大の貢獻を爲しつつあるに比し全く睡眠的狀態に陷つて居ると同樣の有樣なので、高原中研庶務課長が中研に入所以來之に活を入れて大に其の機能を發揮せしむべく努力し、又平塚現理事長も之に就て多大の關心を抱き其の組織等も改造し醱酵工業其の他に關する發見發明を大に

獎勵す るの計畫を立てんとして、來る十二月五日同理事長が公務を帶び上京する以前多分同一、二日頃を以て久方振りに同會理事會を召集開會することとなつた、之に出席する人々は專務理事高橋庶務課長、理事として堀田殖產局長、大島、加藤、服部三技師の五名、理事小濱內務局長等で、其の審議としては基金の募集、機關雜誌の發行、發明特許品等の

展覽會 開催其の他のものの如くで其の結果には相當期待せらるるものが多いやうである

人事

▲米人ウオーカー氏（ソコニーバキユーム臺北支店長）今回爪哇バタビヤ支店長に轉じ二十七日臺北發香港經由赴任

◇……無絃琴……◇

西村山林課長は此の程林所關係の事業地視察の序を以て新竹州大湖より入山し、大霸尖山と次高山の兩峻峰を踏破して埔里へ出て歸北した▲その土產話の一節に日く「蕃山共一萬數千尺の高峰なので大霸尖山でも已に氷を見ましたが殊に次高山では一帶の偃松に美しい氷花が爛漫と咲き誇つて居て迎へ[illegible]でした▲一行に蕃人二十五、六名がついて行つてくれましたが、彼等の心持の純眞さにはホトホト敬服しました、山頂近くにキヤムプをした際夕食後に私も彼等と一緒に君ケ代を歌ひましたが、彼等の歌ひ振りはとても朗かなもので した▲それからいづれ警察官から敎へたのでせう、いろいろの俗曲・歌つて呉れましたが女の方が殊に上手でした▲其の勞を犒ふ爲めに酒と煙草——これは現品が無いので目錄をやりましたが、大喜びでこれから私共も山林課の爲めになるやうに大に働きませうと言ひました、かうした純眞な蕃人の態度を目のあたり見、又た神秘そのものの如き高山の偉容に接して一種の靈氣に打たれたやうな心地がしました」

火の鳥

(249)

加能作次郎作
石塚連畫
（石塚晋造監修）

邂逅（一二）

ねつとりと、汗ばんででも居るやうに、言ひ知れぬ微妙な潤ひを帶びて、粘つこくもちもちと盛り上つた胸の柔肌、そこには何に燃める血が、燃えるやうな熱さで、どきどきと高く波打つてゐるのが強い電流のやうに、ピピーと兵夫の指頭から全身に傳はつた。

兵夫は思はずハツとして、その手を引込めやうとしたが、綾子は反對に一層力強く、まるでそれに取りすがるやうに身悶へしながら益々強く乳房の上までも押しさげて行つた。そして。

「此處、此處、此處を摩して下さい。苦しくて堪らない、マリ子を奪られるなんて、考へても此處が破けさう、ああ！……」

とまるで、何か急激な病氣の發作の爲に、今にも心臟が破裂しやうとしかけてゐるかのやうに、しどけなく取亂しながら、殆ど夢中で口走るのであつた。

「ええ、よく解ります。同情します。」

兵夫は前と同じことを繰返したが、もとより上の空だつた。彼はその掌の下に烈しく躍うつてゐる綾子の胸の中に、マリ子を奪はれんとする悲しみに悶え苦しんでゐるのとは、全然別な血汐が、狂ほしく奔流してゐるのを明かに感じた。そしてその強い官能の刺戟の爲に、氣も遠くなるばかりになつてゐたのだつた。

「本當？ 此處、解つて？」

綾子は異樣にわななないてゐる兵夫の手を持つて、自らその胸を手探らせながら、甘え媚びるやうな調子で言つた。

「ええ。」

「可哀相だと思つて？」

「ええ。」

「苦しいのよ、察してね。」

「……」

兵夫は思はず徐に激しながら、彼が如何に彼女の胸中を察したかを示すやうに、言葉の代りにいきなり強く彼女を抱きしめた。

「有難う、嬉しいわ。」

綾子もそれに縋りながら。

「私今迄、誰もこんなことを打明ける人もないし、獨りで苦しんだり惱んだりしてゐたのよ。」

と恰かも、今は最早その苦しみも惱みも、一時に消えて無くなつたかのやうに、につこりと美しい笑顏を見せた。そして暫らくの間、夢見るやうにうつとりとなつて、ぢつと兵夫を見つめて居たが、やがて。

「でも、あなたといふ人は、隨分卑怯な人ね。」

と怨むが如く、又故意に焦らすが如くに言ひ出した。

「どうしてですか？」

兵夫は聊か意外さうな面持をした。

「どうしてつて、御自分の心に尋ねて御覽になれば分ると思ふわ。」

「僕は決してそんなことはないと思ふけれど……」

「さうオ？ そんならいいわ。」

綾子はつんとしたやうに橫を向いた。兵夫には、綾子がそんなことを言ふ意味がよく解つてゐた。彼女がこれまで、彼女を避け避けしてゐたことを指してゐるのに違ひないのだつた。

だが兵夫は、それについて強て辯解もしなかつた。

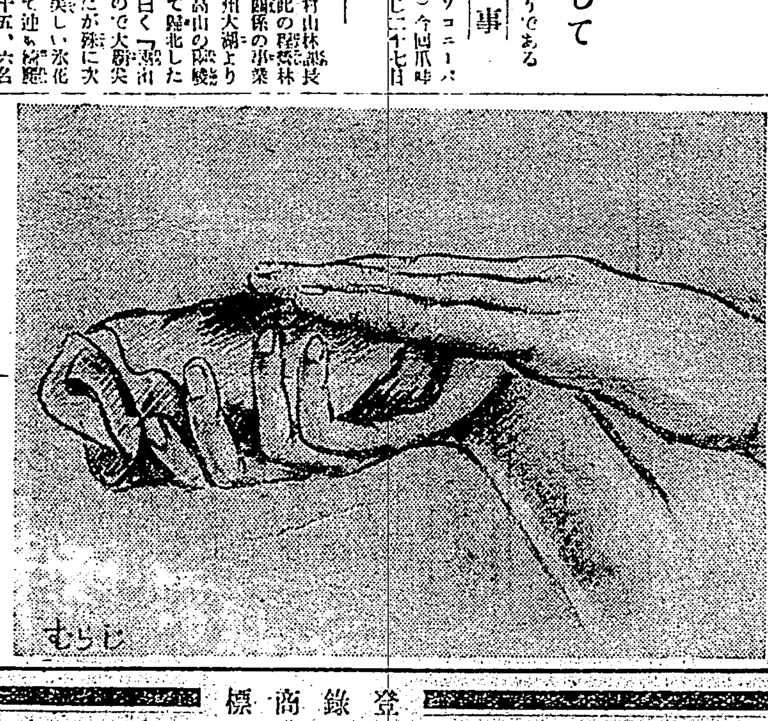
「あなたこれ知つてて？」

ややあつて綾子は、ふと思ひ出したやうにそんなことを言ひながら、胸に手を突入れて一つの小さな包を取出した。

「覺えてるでせう？」

「ええ、よく覺えてゐます。」

兵夫は[illegible]としながらも、表面平靜を裝つて言つた。それは綾子が、常に災難除けとして身につけてゐる稻荷觀音のお守札で、曾て巴里で、[illegible]、兵夫がその前に跪座しながら、綾子との戀の爲めに死を誓つたところのものだつた。



むらじ

登錄商標

たんせき ぜんそく

龍角散の迅る効果

寒さに向ひいろいろ御準備もある中で、殊に大切なのは肉體の保健でせう。取分け大切なのは咽喉を守ることで、その咽喉もたんせきぜんそくとなると、一刻一時も速く治療しなければなりません。痰咳の治療は何と申しても龍角散を服む事です。これは効果が迅やかなるため、肺炎、肋膜炎、肺結核への變症を防ぐことも成るからであります。

★★★★
★★★★
★★★★
★★★★

→文明人は咽喉を愛す

龍角散

咳嗽の起因治療

咳は氣管內に停滯する汚物を外部に排泄する作用であるが、これを頻發すると患部に刺戟を與へて肺臟に變症を起します。

喘息、氣管支…

喘息が激しくなると、突然に胸が狹くなつて呼吸困難に陷ります。龍角散を用ふればこの發作を治療することが出來ます。

百日咳の過苦…

咳一切の病兒は速かに龍角散を用ひなさい、好評嘖々です。

◆龍角散適應容態書◆

（咯痰）／たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
（喘息）／ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
（頻咳）／せき頻に出て夜中オチオチ眠兼る人
（流感）／流行感冒より起るたんせきの人
（肺病）／肺病にて常に力なきせき出る人
（血痰）／たん吳氣を帶び時々血の交る人
（音聲）／音聲のかれ又は咽喉の痛む人
（老人）／老人又は病人の虛弱性より出るせき
（小兒）／百日せき又ははしかせきの小兒

定價
二日分二十錢
四日分四十錢
八日分八十錢
十八日分一圓
四十日分二圓
六十五日分三圓

東京市神田區豊島町
發賣元
株式會社 藤井得三郎商店
振替東京九一番
電話(67)一〇〇八・九〇二・三〇

▽全國各藥店にあり△

A8-7

支那抗日會が又もや
積極的に排日運動
『ボイコットは合法手段』との
顧の演説に勢を得て

【上海二十五日發電通】聯盟で支那代表顧維鈞がボイコットは合法手段と言つたのに勢を得て支那抗日會は二十四日夜祕密裡に會合し積極的排日運動を開始する事になつた我陸戰隊は嚴戒してゐる

國府の憎むべき惡宣傳
外字紙に盛んに書かせる

【上海二十五日發電通】二十五日朝の外字紙は日本兵が撫順附近の三村落で二千七百名の老若男女村民を虐殺したとの荒唐無稽の南京ルーター電報を掲載したので我公使館當局は同社に取消を要求すると共に嚴重抗議した所同社は右は國民政府の發表したものであると釋明した、依て公使館は國際信用上の威信を傷付けんとする國民政府の憎むべき行動に對し近く嚴重抗議する事となつた

ボイコットは
民衆の自發運動
反日命令など出さぬ
宋財政部長が否定

【南京二十五日發電通】財政部長宋子文は二十五日午後米、佛、伊三國公使及び英代理公使と會見したが宋は日支直接交渉は滿洲が武力支配下にある間は夢想だに出來ぬ、ボイコットは民衆の自發運動で政府は反日命令等發せぬと白々しく否定した

南京放送局の
婦人アナを罷免
排日放送も中止すると回答

【南京二十五日發電通】日本に對する惡宣傳放送に對し日本の抗議に依り放送局は日本婦人のアナウンサーを罷免し日本が諒解せぬやう切望し來り又外交部も惡宣傳放送を中止する旨回答した

硬式庭球
あすに延期

二十六日に決定された全臺灣硬式庭球單複試合の準決勝及び決勝戰に若壯年硬式試合は當日雨天のため試合延期となり共に二十七日午前九時から臺北市南門町遞信コートで行はれることになつた、單試合の出場選手は昨年の勝者華銀の相澤をはじめ田添、清水の臺銀組にローン・テニスの齋藤の四君である、組合せは

相澤……清水
齋藤……田添

で何れも勝敗豫斷出來ぬ好取組であるが大稻埕の末山村を破つて意氣昇天の田添が勝者相澤に決勝戰を挑むことになりはせぬか

新竹州で社會
教育研究會

【新竹電話】新竹州にては十二月三、四の兩日午前九時半から中壢公學校に於て社會教育研究會を開催すると

共婚法の實施
來年四月一日からか

【東京支局二十六日發電】共婚問題諸法令實施に必要なる細則的規定等は複雜にして非常な手數を要する關係上愈々之が實施されるのは多分明八年四月一日よりならんと

共婚問題の解決
統治上效果が多い
中川總督は語る

【東京支局二十六日發電】共婚法の公布につき中川總督は大要左の如く語る

本島多年の懸案であつた內臺共婚の問題も今回漸く解決を得て之に關する二勅令及び一律令の公布を見るに至つた事は本島の爲めまことに慶賀に堪へない次第である、本島に於ては大正十一年內地の民法が施行せられたがその際所謂內臺特殊の事情に基づき本島人のみの親族相續に就いては

慣習に

よる旨の除外例が設けられたのである、その結果本島人相互の間の婚姻等は慣習上の方式によつて法律上にも有效に成立するが內臺人間の所謂共婚に就ては民法の適用を受くる結果戸籍吏に屆出づるに非ざればその效力を發生しないのである、所が本島に於ては未だ戸籍制度の實施なく從つて民法に所謂戸籍吏に屆出る道がない之が爲內臺人の共婚が社會的には正當に行はれてもそれは法律上は正式なる婚姻たるを得ないし又その間に生れたる子女は之を私生兒として登錄するの已むなき事情になつたのである、朝鮮人は勿論外國人と云へども內地人との共婚が法律上可能なるに拘らず、獨り本島人のみは之をなし得ないと云ふ事は甚だしく不合理である、況や內臺共婚は兩民族融和の重要なる楔をなすべきものなる以上統治上からも之が解決は最も喫緊の事に屬するのであつて、よつて之が爲中央關係官廳と種々折衝を重ね來りたる所漸く今回その解決を見將來本島に完全なる戸籍制度の實施せらるる迄の過渡的弁法としての成案を得上奏御裁可を經て公布せらるるに至つた次第である、即ち民法の

特例を

規定した從來の勅令に改正を加へて共婚の場合に生ずべき兵役法上及び戸籍處理上の支障を除き更に他の勅令を以つて一般本島人の戸籍に關する事務の管掌者を定め同時に律令にて戸籍の手續規定に就いては當分の內總督府令にて之を定め得る事に決したのである、而して之等諸法令の實施に必要なる細則的規定は之亦速やかに制定發布の豫定であるが、斯の如くにして一般本島人の戸籍が法的に確認せらるる事となり內臺共婚が法律上支障なく行はるる事になつたのは眞に欣快に堪へざる所でその統治上に及ぼす效果も亦鮮少ならざるべしと信ずる次第である

第一聯隊で
あす軍旗祭
二十六日はその準備で
兵隊さんが大童

二十七日第二十五回の軍旗祭を迎へんとしてゐる臺灣歩兵第一聯隊の營門を潜つてみる、兵隊さんにとつては盆と正月が一緒に來たやうな嬉しさだ、厳しい顔にもけふばかりは微笑をこぼしてアーチの飾り付けにそして營内の装飾に頭をひねつてゐる、僕の巨大な顔が營庭に異彩を放つてゐる、演藝場からはアラエッサッサが聞えて來る、太鼓の音も賑い、消防組の法被を纏つた假仕立の「いなせの哥兒」が景氣よく走つてゆく阿部軍司令官や外山守備隊司令官からお祝の奥斗が届けられる、今は唯二十七日の快晴の空を待つばかりだ午前九時營門は一般に開放されると共に參觀者の洪水が營庭に吸ひ込まれてゆくことであらう

軍旗祭の前日
上と下は飾付
中は棒踊の練習

來年、廣範圍の
海軍大演習
新鋭一等巡洋艦も
參加するに決定

【東京二十六日發電通】海軍は來年極めて廣範圍の演習を爲す事となり五百萬圓の經費を要求してゐる、その計畫は大體八月に場所は本州南方太平洋上を選び參加部隊は十二月一日新に編成さるる聯合艦隊日向、陸奥、榛名、金剛の四主力艦に初めて大演習に參加する愛宕、鳥海、高雄、摩耶の新鋭一萬噸巡洋艦を初め、之までに竣功すれば我海軍最初の巡洋航空母艦たる龍驤を加へた聯合豫備艦隊百數十の艦船を主力とし、之に全海軍航空隊を配し海空に新科學の粹を集め一大海戰を展開せしめんと云ふのであるがその壯觀と實戰は非常に期待されてゐる。

菊元商行の
百貨店落成式
廿八日より三日間
三十日には敬老會

臺北市榮町の一角に落成した菊元商行の六階建百貨店は十二月三日より開業の豫定であるが之に先だち之を一般に觀覽して貰ふべく二十八日より三日間に亙つて五階の食堂で落成式を擧行することとなり二十八日は午後四時主なる官民約二百名を、二十九日は榮町、京町通りの人々約二百名を、三十日は全島の得意先と大稻埕方面の人人約二百名を同じく午後四時招待し、尚三十日は別に午後一時より敬老會を催し內臺人を問はず七十歲以上の老人に此の百貨店を觀覽に供することになつてゐるが敬老會には別に招待狀を發しないさうで隨意に來觀を請ふとの事である

大分市役所全燒
議事堂のみ殘す

【大分二十六日發電通】二十六日午前一時頃大分市役所より發火、折柄の強風に煽られ忽ち本館木造二階建を全燒、附屬建物も議事堂を殘せるのみにて三時半鎭火したるが[illegible]の平井某が小使二名と飲酒泥醉のためこの不始末を惹起した事判明したが所轄の宿直員小使とも泥醉熟睡し居り火の廻り早かりしため書類[illegible]

馬那邦山登行延期

臺灣山岳會主催の馬那邦山登行は都合に依り十二月三日、四日の兩日に變更された

▲晝は女教員、夜は女給、此先生大人も矢張人間（東京つ兒）▲吉田部堂君よ我黨は徵兵稅よりも寧ろ徵兵制度採用を望む（本島人代表）▲本島人と徵兵稅賦課論に同感（公平生）▲私の校長先生は郵便をユウベン、純粹をズンスイだと主張します（三芝生）▲鐵道部様に來春早々島內旅行團組織を願ひます（ルンペン旅行者）▲二十三日圓山のバス終點で勳八等瑞寶章を拾ひ兒玉町派出所へ（平野女）▲鐵道小荷物掛よ少額の手土産とは何斤位か（不滿生）▲臺南地方法院管轄內の司法代書人資格認定試驗は何時頃ですか（受驗生）▲廿二日臺北小學校で債券を拾ふ（梅山生）▲女洋傘帽子保管中（草山衆樂園）▲英ポインター種雄狐犬仔犬差し上げます（入船町三ノ七七中村）▲本町角で男兒ジャンパー拾ふ（電一〇二三）

尼ケ崎汽船の
爭議は解決

【大阪二十六日發本社特電】待遇改善要求に端を發し二十三日來爭議續行中の尼ケ崎汽船爭議は神戸山口組山口昇氏の居中調停により二十五日午前四時勞資雙方互讓的協定による覺書を作成二十五日正午調印を了し茲に圓滿解決を見るに至つた

盲唖學校運動會
二十八日に延期

臺北盲唖學校運動會は二十七日（日曜）擧行の筈の所連日雨天の爲め校庭の都合上二十八日に延期することになつた

釣場だより

二十七日は曇り小雨模樣で日中は雨も運ぶのき風は二十六日と同じ程度（臺北測候所）釣かけには雨後の日曜、ハヤも油がのつて太つてきた

▲基隆　港外の波あらく港內も見込少なし魚底に引揚げ駄目
▲淡水　最近スズキの大ものがあがつてゐるチヌも有望場所は例の通りライジングサン棧橋附近
▲山子脚宮前右　雨は降つたがかに釣りなく相當の魚がありませう

天氣概況（二十六日）

本島は北部と東部は雨中南部は曇り北部及北部海上は北寄りの強風が吹いて困ります

▲天氣豫報（二十七日）
一區（北部）北東の疾風曇り時々小雨
二區（東部）北東の疾風曇り時々小雨
三區（西部）（南部）北の和風晴れ　北の和風晴れ
臺北地方　東の疾風曇り時々小雨

（二十七日）

	淡水 滿潮		淡水 干潮		基隆 滿潮		基隆 干潮	
	前	後	前	後	前	後	前	後
	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

商況（廿六日）

米況

大阪期米　▲前場

	節	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
當	二三九	二三六	二四二	二三九	二三九	二三六	二三九	二四〇	二四一	二四一	[illegible]
中	二七六	二七八	二八六	二八四	二八四	二八四	二八四	二八四	二八四	二八五	二八六
先	二三三八	二三三九	二三四三	二三四五	二三四二	二三四二	二三四三	二三四二	二三五〇	二三五〇	二三四九

東京期米　▲前場

	寄	止	高	安
當	二二五六	二二六四	二二六四	二二五一
中	二二八〇	二二九五	二二九五	[illegible]
先	二三五六	二三六五	二三六五	二三五一

神戸期米　▲前場

	寄	止	高	安
當	二二五三	二二六〇	二二六〇	二二五一
中	二二七一	二二八四	二二八七	二二七〇
先	二三三八	二三四九	二三五〇	二三三六

株式

大阪短期　▲前場

	[illegible]	東新	大株	同新	商船	滿鐵	日[illegible]	日[illegible]
寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪長期

	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

	[illegible]	商船新	郵船	日窒	同新	日産	同新	レヨン	東新
寄	一〇九、九〇	九、五〇	四八、〇〇	四七、三〇	一一、六〇	四五、六〇	二〇、三〇	四二、四〇	一七五、六〇
引	―	―	―	―	一一、九〇	―	―	四二、七〇	一七五、九〇

東京短期　▲前場

	東新	鐘紡	同新	日糖新	明糖	淺野新	日産	日石
寄	一七六、六〇	二三〇、一〇	一〇九、六〇	三八、八〇	九二、一〇	二七、一〇	四六、四〇	四一、六〇
引	一七七、二〇	二三〇、五〇	一〇九、八〇	三九、三〇	九二、四〇	二七、八〇	四六、六〇	四二、二〇

東京長期　▲前場

	郵船	商船	富士紡	東洋紡一	日清紡	鐘紡二	日糖一	日糖	新高糖	帝糖	明糖	日魯	日本氷	麥酒	淺野	日石	日産	東株一	送電
寄	四八、〇	三三、七	五八、七	五八、〇	九七、九	二一六、九	七二、五	一〇六、四	五七、九	六五、五	九三、五	四七、五	二二、〇	九八、一	五七、六	四二、一	四六、六	七九、一	三二、〇
同新	一三、八	―	二九、四	―	四九、九	一〇九、四	三八、六	五〇、四	一五、四	三八、三	四四、九	―	六、七	三二、二	二七、五	一六、二	二〇、六	一七七、九	二四、九

恩給立替　利一分より　四年半迄　對不動[illegible]
三成社
臺北市榮町天地會館
電話三六二六

開店大割引　三十日迄
臺灣サンゴ商會
臺北市本町三ノ一番
電話四一一三

おみやげには
臺北名物
珍菓　メロー
元祖　メロー商閣
京町　電三三五

毛生液ペトロール

[illegible]やく　し　下

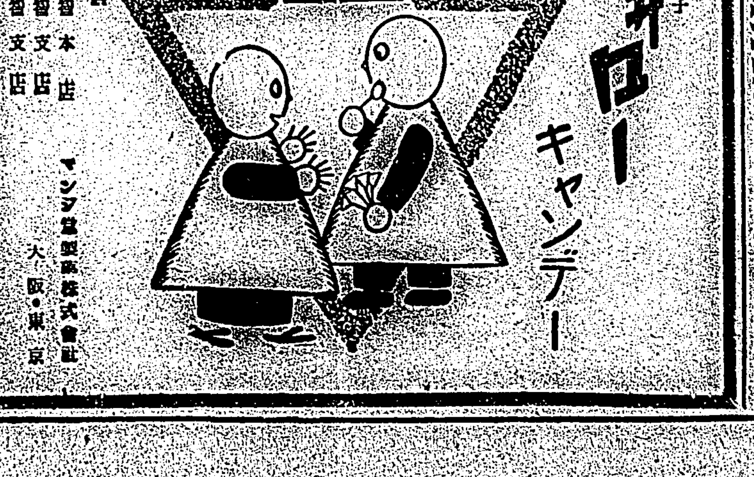
流經祕藥　博士ドクトルの證明付
キキメ最も早く絕對安全に流下します
臺灣に和田山分院が出來ましたから遠慮はずスグ御來談かお手紙下さい
臺北壽町東本願寺前　木場とき
大阪和田山病院　臺灣分院

父俊英儀病氣療養中の處藥石無效死去致候條此段謹告仕候
追て明廿七日午後二時淡水寺に於て佛式相營申候
昭和七年十一月二十六日
男　國吉正俊
同　野島俊宗
親戚總代　松井薰
坂本信道
友人總代　田中國一
中村安藏
多田榮吉
中野金太郎
谷五一郎
小泉清
廬阿山

淡水出張所主任國吉俊英儀病氣療養中の處二十五日逝去致候間此段謹告仕候
昭和七年十一月二十六日
合名會社　南國公司

ポリドールレコード
ポリフアーア式電氣吹込
十二月新譜發賣
クリスマス・レコード
讃美歌　東京聖歌隊
サンタクロース（上下）　岡村惠子
えんやこら工夫さん　國島[illegible]
クリスマス（上下）　長谷山峻彦
大演習行進曲　[illegible]
大演習の歌
近衞歩兵第一聯隊々歌
歩兵第十七聯隊々歌
日本陸軍の歌
空軍の歌
わたしは紅雀
君が[illegible]　鈴木喜代子
箱根　[illegible]
大沼　[illegible]
小唄「女性の切札」「虹よいつまで」　松島詩子
「天晴れ久六」「それは嘘には出來ないわ」　二村定一　羽衣歌子
「午前二時半」　[illegible]
紙治（上下）　豐竹昇之助
小栗栖（上下）　田中[illegible]
假名手本忠臣藏六段目（枚二）
踊りてゆく・お互ひにつ　佐藤[illegible]
渡邊はけさ　長谷川玉子
節　大石郎の遊興（枚二）　吉田奈良丸
花　俠星玄蕃（枚二）　松風軒榮樂
人間馬占山（枚二）　木村忠衞
女性の切札　靜田[illegible]
浪曲　善惡サラリーマン　西村[illegible]
流行歌　忘られぬ花　池上利夫
時雨ひととき　淡海春枝

●頭痛にノーシン●


登錄商標
御寶の菓子
ウヰロー
キャンデー
特約店
臺南　越智本店
臺北　越智支店
高雄　越智支店
マンジ製菓株式會社
大阪・東京

リン病
服用者の絕賛の叫び集る！
[illegible]

續殘月譜 (53)

志乃田廸司作　清水三重三畫

變らぬ山水（三）

三子ヶ浦の駈けて行く後姿を見送つて、但馬之助は、はつ、とした。いけない、過失を犯してしまつたやうな氣がしたのである。

「おい！」

と手をあげて、制しやうとした。が、その手が、あげられなかつた。

親心だつた、云へない、ふり切れない、親心であつた。

「折角、嘉衛が落ち付いて居るものに、心を亂して何になろ！」

と、我が心を叱つた。

修業が足りない、見たいと思ふ心がいけないのだ、われから、絆を斷つた子ではなかつたか？

「ちやが、嘉衛は、最も源代に似て居た、ぱつちりとした圓い眼玉だつた、にこ／＼した子であつた」

但馬之助の追憶は、知らず知らず嘉衛の幼時へ走るのだつた。

微笑すら、頬に上る。

だが、一度、その追憶から醒めると、但馬之助は、冷たい笑ひを頬に上せねばならなかつた。

「何だ！」

自己への、あざ笑ひである。

けれども、嘉衛は一日として忘れられぬ存在であつたのだ。どうして居るだらう――吉次が、はるばる訪ねた時も、吉次の身よりも嘉衛の身を思つたのだ。

その心が、嘉衛に、どう、通じて居るであらうか？

君、三子ヶ浦が、走せ戻つて、すぐ、いらして下さい、と報告したらあゝ！何と云つて、出右衞門の敷居を、またぐべきであらう。

いや、無事とだけ知ればいいのだ、それだけ聞けば安心して去れる。會はぬがよい、會へば互ひに思ひが殘るのだ。

殊に、年若い嘉衛が、吉次と同じやうに、武士にでも成りたいと云ふ氣を起こしたら困る！

但馬之助の心は、そんな、こんなで、迷つて居た。

三子ヶ浦をやるのではなかつた、それよりも無事か否かは、そつと近所へ行つてみれば判ることである。他所ながら會つて――それでよかつたのだ、大事をひかへた自分ではないか、二十年以前の愛著に惹かれて、女々しく會ひたい、とは、何だ、！

が――、それは、他所ながら見に行つて、もしも發見されたなら何と云ふ武士にあるまじき卑怯さと思はれるであらう、いけない、それは斷じていけない。

但馬之助は、そんなことを思ひ續けながら、こつ／＼、歩いて居た。そしては山の緣を見た。

編み笠を、かたげて、向ふの道へ見入つた。が、三子ヶ浦は、なかなか戻つて來ない。

「遲い！」

但馬之助は、たうとう口に出して了つた。

「どうして居るのだらう、遲いつ！」

もしや、落魄でもして、家が見當らないのか？とも想像した。しかし、それにしても、あまり遲かつた。

「どうしたのだらう？」

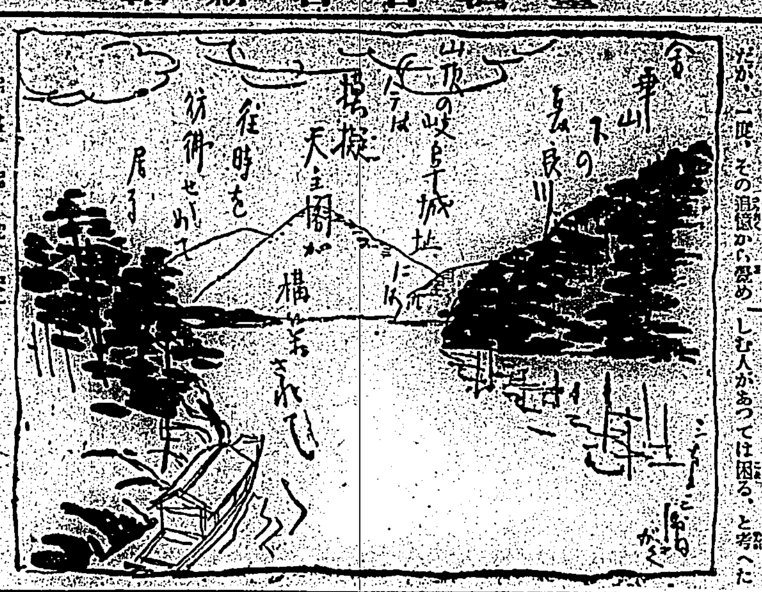
但馬之助、眉を寄せた。

そして、ぽつり／＼高改寺村の方に向つて歩き出した。

あまり長く待つて居るので、怪しむ人があつては困る、と考へたのだ。

つとめて、足を緩く運んだ。

が三子ヶ浦は、なか／＼姿を現はさなかつた。



會津東山の下の長良川
山の岐阜城址には
模擬天主閣が構築されて
往時を彷彿せしめて居る
三重三かく

月魄（全十五卷）

新興キネマ大泉撮影所作
渡辺新太郎監督作品
原作　菊池幽芳
脚色　八尋不二

キャスト

役	俳優
正木貞雄	河津清三郎
久松茂	草間實
川上益良	荒木忍
梅小路伯爵	若葉馨
鍋島直樹	生方一平
松平亮二郎	原　聡
代議士野澤	小坂信夫
大學生山田	笠　[illegible]
川上保夫	鈴木勝彦
梅小路の息勝人	金澤伊都夫
川上倭文子	森　靜子
淺山藤乃	高津慶子
久松の妹田鶴子	水原玲子
小間使歌	德川良子
女花蝶子	久米[illegible]子
久松の母お石	隅田ます代
川上夫人民子	小池春江
藝妓文龍	若草美智子
鍋島老夫人	三桝つる子
野澤の妻お榮	三笠加祢枝
梅小路の娘瑞枝	金澤美都子
倭文子の娘絹子	高松つる子
久松家女中お富	河合靜子

解說　S高女同期生の三人の女性があつた、倭文子は何處までも純日本風の溫和繊弱な女性であり、藤乃は理性の勝つた近代的な女性であり、綱子は極端に浮華な當世風の女性である。綱子は新興華族の梅小路伯爵に虚榮心から近づかうとしたが、梅小路は自分の二人の子供の家庭教師としてよく盡してくれた藤乃を戀愛から離れて後添として所望したが藤乃は婿取りの正木に戀を捧げてゐた。正木は倭文子の父川上老將軍の書生であり、大學の醫學生である思ひあまつた藤乃は倭文子に相談した、倭文子も亦幼い時から共に育て來た乳兄弟たる正木に自分でも知らぬ間に戀を感じてゐたのである、だが内氣な倭文子は藤乃の切ない思ひを知つて潔く戀を讓らうとする。然し正木は承知しなかつた彼も亦人知れず倭文子を戀慕してゐた、物固い正木は川上老將軍の恩ひに感じて自分は飽くまでも主人としての倭文子に不純な感情を抱く事を潔しとしなかつた。正木の心を知つて倭文子は遂に彼に對する苦しい思ひを我が胸一つに秘めて陸軍中佐久松茂に嫁して行くのであつた、樂かるべき新婚生活も僅い幸福も彼女に求婚して拒絕された色魔松平子爵や惡黨の女綱子久松の妹で小姑に當る田鶴子の陰險な嫉妬等に依つて惱ちて不幸のどん底に突き落とされたのであつた。あらゆる人々の中傷と嫉妬に夫久松の心は亂れた。友人鍋島は幾度か彼の疑惑の故なきを說いたが、運命は何處までも倭文子に辛く正木に戀したが拒絕された田鶴子の復讐心は遂に紹穿を持つて倭文子と正木との間に醜關係ある如く信じさせ、正木の熱誠なる辨明も效なく、久松は妻を離別するに至つた、不運に忍從する倭文子と嫁しい綱子の上に五年の月日が流れた。此の間に正木は歐洲留學の歸途上海で病を得て呻吟し藤乃は獻身異國に渡つて看病し遂に彼女の永年の片戀は正木に通じたのである、亦其頃田鶴子の死によつて倭文子の貞潔を知つた茂は倭文子の前に謝罪して復縁して與と哀願するが承知しない。だが可憐なる綱子が現在の父とも知らず茂を慕ふのを見ては今はすべての怨みを忘れて茂に迎へられるのであつた、かくて倭文子と久松藤乃と正木の上に輝かしい幸福の日は訪れて來たのである（二十七日より芳乃館上映）

お馴染みの松旭齋天勝來る

廿六日から榮座で開演

二十四日華々しく臺北へ乘込んだ松旭齋天勝一行は二十六日から榮座で開演、順次島內各地を巡演する、本年の新作演技は大小魔奇術、娘子軍のダンス、コミツク等の外特に呼び物として吳鳳の傳記を劇色した舞踊悲史劇『義人吳鳳』天勝十八番の水藝應用新舞踊劇『浦島と龍宮』諧謔劇『チユウ／＼鼠』等を上演する、尙一行は二十五日午後六時から扮裝して町廻りをした（寫眞上はチユウ／＼鼠、下義人吳鳳）

俚謠趣味　宜蘭ゆき（上）

臺北　額田如狂

一、お豐御殿

礁溪溫泉のお豐御殿、之は礁溪に旅行するものは必ず、參拜し又は遊拜する女御殿で名高い、此處に旅裝を解いたのは或る日の夕方同行者は此の御殿の馴染でもあり身分の人でもあるとのことで上等の拜殿に案內されたことは勿怪の幸ひ、ここの御殿女中は常に四五人は居るとのことであるが、我等の席に侍つたのが二人、何れも上玉と言ひ度いが肉感的に魅力を有する點に於ては百パーセント、その年若き方は北部遊廓の低氣壓發生の根源地生れとか、なる程民風が如何に吹いても動かぬ樣にと遊物者が注意したと見えて偉大なる臀部の發達には唯啞然たる外ない、寧ろ油繪のカンバスの前に立つた方が如何に御利益の多いことよと感じた

◇

又年增の方は海千山千の家の者でエロ講談に巧なることは實に恐心の至り、流石はお豐女將の指導の賜ものなりと思はせる、此の女の言葉の末が卑猥にかかる點から察すると見も十八番茶も出花頃の如何に猛烈なる猿猴をしたかは思ひ浮かぶ、所謂千軍萬馬の勇士たることは疑ひなからう

◇

何の日もお豐御殿に參拜して目に立つものは雜木雜草の繁茂に任せてある境內は頗る不快の念を起させる、恰もマラリア蚊の發成地の感がする、これは少しく新しい造園技術者の手によつて何んとかして貰ひたいものの一つ

◇

此の雜木林の中に次から次へと增築される客室は客に取つては或る意味に於て好都合なる場合が多いこととは思はれるが、雨の多い宜蘭地方に於て此處に奉仕する女中の辛苦に一掬の同情を寄せたい　せめて外廊下位つけてやつても神罰はあるまい、これも一考して貰ひたいものの一つ

◇

礁溪溫泉の料理と云へば西山と定評があつたが、主人の亡き後は左程でないとの噂、それに反して富夜樂園の料理は最も臺北に於ても滅多に口にすることの出來ない庖丁の味はうれしかつた、唯二の階につけた鮎は形の大なるを以て誇りたるかは知れぬが、生に於て味に於て新店や臺北のものに比して其の食味の惡いことは殘念であつた、鮎は生を味はうものであるから形態よりも生に重きを置いて貰ひたいものの一つ

◇

樂園は客室、料理、女中等三拍子揃へてのサービスはお豐女將の敏腕なる腕とは疑はれるが、斯は中流以上の行樂的旅行に於て然るべきもので吾等赤貧遊中に於ては私に腕寮用に苦しめる如きは策の得たものではなからう、後髮曳く別れでなくて門を出るときは、うらめしいやら憎ないやらで冷たい涙がほろり／＼、これも何んとかして貰ひたいものの一つ

◇

その夜十一時半頃、四隣寂として唯蛟の姻の音のみする頃、大衆にあらで共湯と云ふ意味で、浴槽の裏口から段入すると時恰もお豐女將は磨きかけの最中の事とて、驚くまいことか、宙に三尺も飛び上つたことは一つのナンセンスもの、そのお蔭でお豐女將の貴い艷美を鑑賞することの出來たことは、所謂金錢で買はれぬ大きい拾ひもの、一時は奧細つた女將の肉體美は、性の怒を切り取てから恢復したとは云へ、寄る年波の戀愛をうけ、如何に高貴な磨き粉を以てしても皮膚の光澤が甦せた樣は事實、院長さまでも醫療の還暦でも、どうすることの出來ぬ生理的の支配、惡しくもあり又哀れにも感じられた、せめて理論の位の情緒は殘して置きたい

春の風情は臘月
花は藥櫻女は年增

公開欄

本欄は讀者の自由聲欄中傷は不可▲行數は十五字六十行以內▲匿名にても住所氏名は別に記入の事▲取捨は係にあり

公設質舖の盜難事件に就て

晚泉

◇去月八日基隆市公設質舖の屋根を破壞し、時價數千圓の貸金質品盜難事件のあつた事は、當時の新聞にて一般市民の周知する所である、基隆公設質舖は創立以來日尙ほ淺きに頻々として盜難に遭ひ、今回の如く被害程度の莫大なるが故に、社會及び入質者に對する影響は甚大にして庶民金融機關だけに輕々に看過することの出來ない現象であると思ふ

◇前回の盜難に依つて充分なる苦き經驗を習得して居るにも拘はらず、再び斯る失態を出現せし實、慨にたへないものである、尙當質舖の質物庫は容易に破壞され得べき不完全なる造營物でもなく、殊に當質舖は、市の唯一の繁華なる義重町通りに在り、微弱スズラン燈は輝くのみならず當質舖前路には千燭光の電柱も聳え、周圍にはカフエー並に料理屋飲食店等あり、夜通し通行人の絕ゆることなく衆人環視の場所柄にありながら、斯如き犯罪を未然に防ぐ事の出來得ざるは遺憾とする所で、要は當局の監督の怠慢と當事者の不注意より起るべき現象である事は言を俟たない

◇全島各市に公設質舖は設置されてゐるが當公設質舖の如き失態は他に類が少なく不幸中の幸とも言ふのか月餘の短時日に盜難品全部と犯人の逮捕を見た事は誠に欣快に堪へない次第で其の犯人搜查逮捕の任に當つた基隆警察署員の、森、平野兩刑事の異數的な殊勳に對し吾人は衷心より感謝の意を捧げるものである

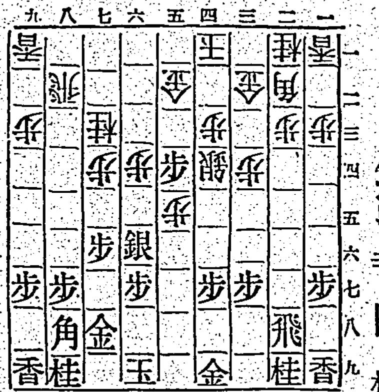
◇最後に於いて年末大賣出しを控へ今後かかる事態を繰返さめ樣當事者に對し充分なる警戒と周到なる注意を怠らず、萬全を期せん事を切望してやまない次第である

名家敗退將棋（五十）

（小泉氏三回勝四人目）

平手　△六段　小泉兼吉
先　▲六段　寺田梅吉

△小泉氏（持駒）銀歩歩



（圖は前局指了迄の局面）

▲寺田氏（持駒）銀

▲五八飛△五六銀▲四八金△六三金▲四六歩△四二金▲三六歩△三二玉▲三七桂△五四金▲六三銀△六五金

▲寺田六段曰く　五八飛は五筋から強く攻めないと六五歩と銀に當られる樣では位負となつて苦境に陷る

▲小泉六段曰く　五六銀は隨分考へて置きました假令此の銀が犧牲となつても是非必要な運びであります六三金は早く六五歩と利かすは却つて指過ぎとなる此の金を上つて置けば五四に進む味は相當によい心算でした

▲寺田六段曰く　六三銀と打つ樣になれば幾らか面白くはなつたが敵玉の形がよくなつて居るので餘程注意しないと指切り懼れがある

▲小泉六段曰く　六五金の出は弱い手ではいけません模樣に依り飛を渡しても先を取れば相當面白くなる

▲大崎八段講評　小泉君の五六銀は敵飛の働きを利し手順よく六六銀を壓する味もあつて當を得てゐる次に四二金はよい味であるが三五歩と突いて敵桂の働きを利する方が本手であつた。寺田君の三六歩及び三七桂の跳出は四五歩突きを狙つて好手である。小泉君の六五金の出は當然であるが強く五六銀の全能力を發揮してゐる

見逃したら損！

財界の大變動迫り一般生活に大影響を及ぼさんとする今日、何よりの方法は『日の出』の別冊附錄『金と景氣の話』を讀んで準備することだ、非常な奮行！

臺日案內

料金

三回	五回	七回	十回	十回以上	五行一回	十五行一回
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

書籍　◉臺灣巡查看守試驗問題及答案集　六年版定價一圓五十錢郵稅八錢　臺北榮町振替臺灣二番　新高堂書店

古本專門特約　買入次高書店　臺北市京町二丁目　電二九二六

藥種商　月やく　世界に誇る安全流下藥（夜飲んで朝效く）　臺北川端町　西山研究所

醫院　血液型　毎日檢査施行致します　臺北本町三　電六二七　內科花柳病專門　山本醫院

寫眞　夕べの團欒　パテーベビー　小型活動　パテーベビー各種　全島一手販賣　臺北　西尾商店

パテー全島代理店　臺北市榮町　フタバ寫眞機部

高級寫眞アルバム大勉強　臺北榮町『ミクニ』電六六一

ラヂオ器械　ラヂオ直賣並製作改造修理　日の丸電氣　臺北明石町　電一六二〇

特賣　三球拾六圓　四球二十二圓　五球四十圓　六球五十五圓　高砂無線商會　臺北市京町本局前　電三九四番

ラヂオの御用は中川へ　超遠距離用六球式受信機　分離完全絕對責任付　大特價五十八圓より各種　臺北市本町　電二四六

菓子商　特製カメヤクルミ羊羹　臺北カメヤ　電二七〇三・三六九九

內地土產　檢査濟　ポンカンとジヤボン　西門市場　電四三九　大塚冷藏庫

高等理髮　今日の御洒落は馬場理髮館で　臺北本町二　電三九五八　京町一

履物　履物荷捌　武藤商會　臺北末廣町榮座前　電二一九四

下宿屋　高等下宿　便利第一場所にあり　閑靜勉強いたします　臺北本町三　電三〇二五　太陽館支店

旅館　保養は家族的療養は貸間　打せ湯あり北投　電六七番　上乃湯

染物洗張　入營旗　直時出來マス　絹付二圓五十錢　新起町　京屋染工場　電二二四七

陶器　陶器一式　松尾陶器店　移轉先京町一丁目　電話二九五六番

紙文房具　萬年筆大勉強　臺北京町二　大澤東京堂　電三五八八

キユーピー
マヨネーズ
不意の御來客に
毎日のお食膳に

雜件

和田はメガネ專門　臺北本局前銀通り　電話四一五〇

組立式洋服タンス　月賦販賣　臺北市新起町日本樂器木工部

流質金時計洋服と古著　臺北市新起町二　祖父江流質店

結婚媒介……　市內御成町五ノ六　高砂[illegible]社

毛糸は東成糸店へ　臺北京町四ノ一〇　電四三二六

特價製造三共疊表具店　臺北市御成町一　電話四三一五番

各種電燈看板廣告燈　臺北本町　芳宗鋼工所　電三九三九

ガラは電四四〇七番へ　木炭（營業開始）　昭江商炭所

本島唯一毛皮なめし　臺北宮前町　臺灣製革株式會社

帳簿紙と繪絹　臺北市京町二　松久商行　電五五四

時計修理は武內へ　榮町圓前　武內時計店　電話三四七四

砂糖の不要な味のいゝ安價で美味な高等便利な料理用スキート　各販賣組合に有　製造所　千歲町田澤

和傘各種荷捌　久留米傘商會　臺北京町二ノ三　電一六五五番

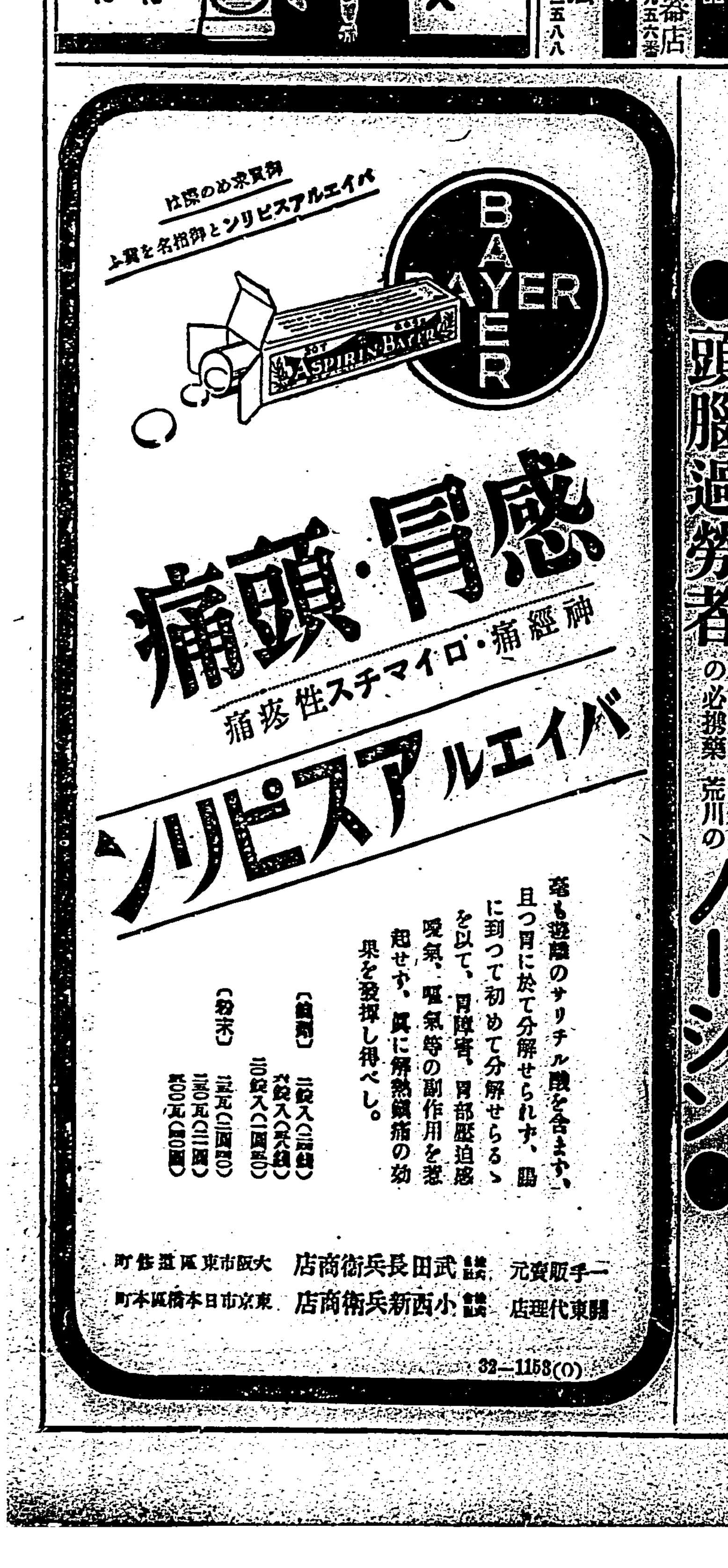
獨逸バカス最カルニン

耳の病

▽耳の病氣に惱む人は此家傳名藥をすゝめ升　耳の惡い方は不自由で大切なる用を缺き耳に病ある人は一日も早くお手當なさる事　耳の良藥を以てお手當致し升て家傳藥にして數十年來耳の方にお勸め致して大に多くの人が宿用せられ居り升　耳鳴、耳だれ、耳疾患、頭痛、中耳炎等に效あり　說明書は御申込次第送呈致し升　東京市大森區仲町二丁目　阿波屋商店（振替東京四八七番）

廣告は宣傳の近道なり

こばた店　自慢の逸品　仁丹香錠　十錢・三十錢　喫煙家必携　ニコチン緩和　健胃整腸



御買求めの際は
バイエルアスピリンと御指名を願上

感冒・頭痛
神經痛・ロイマチス性疼痛
バイエル アスピリン

毫も遊離のサリチル酸を含まず、且つ胃に於て分解せられず、腸に到つて初めて分解せらるゝを以て、胃障害、胃部壓迫感、噯氣、嘔氣等の副作用を惹起せず、眞に解熱鎭痛の効果を發揮し得べし。

（錠劑）二錠入（五錢）　六錠入（十五錢）　二〇錠入（四十五錢）
（粉末）三五瓦（[illegible]）　二〇瓦（[illegible]）　五〇〇瓦（[illegible]）

一手販賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衞商店
關東代理店　東京市日本橋區本町　小西新兵衞商店

32—1158(O)

●頭腦過勞者の必携藥　荒川のノーシン●

美髮に輝く
ライオンポマード
大阪　福井花香舍

鎭咳祛痰新藥
ブロチン

發賣以來十有八年、その奏效の顯著なると、無害性無副作用性にして藥味佳良なるとにより、多大の好評を以て迎へられ、益々其の聲價を高めつゝあり

急性、慢性の呼吸器病にして咳嗽喀痰を伴ふ諸症並に百日咳等に賞用せらる

粉末、錠劑、液劑の各種あり

（說明書進呈）

東京・臺北　三共株式會社

三共の藥品

目千兩
口許尋常
鼻高等
美肌天晴れ
滿点となる
ホーサン入
牛乳石鹼
牛印石鹼
SK. 228

H.O.P.
最高の質トンボ鉛筆
各地文具店にあり
東京 トンボ鉛筆製作所

バミール
美眼と健眼に

獨特の葡萄酢を配す
原料は野菜と果實
イカリソース

漢文 臺灣日日新報

理事會第四日移牒總會
日本政府回訓到後採決
日華兩國代表成一騎戰

二十五日壽府電。第四日理事會議長。二十四日聲明「自次回討議律頓報告」。是調查團追加答申問題。是夜與中國代表頗磋商。似有作戰策動之形勢。會議極緊張。定刻前新聞記者一般傍聽者。早已充滿於席上。腓線議長。本日與事務總長。相商出席。松岡代表。如例從容。攜大包書類入場。先是笑語記者團曰。「諸君不宜太努致力」。午後三時四十四分（臺灣時間午後十時四十四分）。議長宣告開會。直入議事日程。

一、波利麥亞。巴拉牙紛爭問題。

二、伊拉克。司利亞兩國間國境所關紛爭。

三、滿洲問題。

以上審議畢。午後四時四十七分。討議日華問題。劈頭松岡代表。提出李頓調查團權限所附日本辯明書朗讀後。

松岡代表曰。日本於理事會。答調查委員全體。或委員個々質問。或報告書說明。或變更所不反對。然理事各位質問或報告書內容變更。不本諸理事會所說。

於是理事會。將松岡代表聲明。留之記錄。次議長徇事顧調查委員長。

律頓卿自席曰。對報告書不希望變更或追加。理事會。對律頓調查委員決不質問。

提克代表曰。余希望本事件。直移諸總會。余所欲言。讓諸總會。

提議。案送總會。別無發言者。議長因諉報告書移諸總會之手續。

議長曰。報告書移諸總會共意非在理事會。獲免報告審審議之義務。余自身關報告書。亦欲一陳意見。然日華兩國代表。開陳意見。不表現紛爭解決所關兩國政府最後態度。所欲期待。余遺憾日本態度消極。余希望日華兩國。積極援助理事會。今後總會負有本問題解決之義務然理事各位之間。目下直說解決方策。不見意見十分一致。理事會爲紛爭解決。宜用平和機關之義務。負之世界輿論。

次議長問松岡代表。有無發言。松岡代表。欲顧代表先發言。顧代表拒之。

松岡代表曰。日本疑調查團。有無如報告書中所示之權限。蓋不得不責中國不盡不戰條約。九國條約之義務。即中國終始不與日本直接交涉即余一私人。亦云日本意向。在照聯盟規約第十條。十五條三項。允總會調停。我等欲平和者。日本期待之平和。非紙片所書。在現實立脚。極東平和。延而爲世界平和。繫於日本承認滿洲國之政策。問題解決。當以滿洲國一般承認爲基調。開不別則待中國遵守國際義務。何則。中國無組織之國家也。然移牒總會。不得不請訓於東京。又余且保留批評議長聲明之權利。

議長曰。請訓所要時間如何

松岡代表曰。二十六日或二十八日。回訓或到。

次顧中國代表曰。余贊成總會召集。日本不示妥協態度。不勝遺憾。滿洲國。斷然承認不得。松岡氏所論。皆不得當也中國代表所述之權利。

松岡代表曰。余保留批評

於是議長諮問日本回訓未到之間。待理事會開會之可否。共無異議。提議第五回理事會。二十八日午前十一時（臺灣時間午後六時）開會。日華問題。暫且截止。午後六時五分（臺灣時間二十六日午前二時五分）散會。入秘密會云

內臺共婚制勅令公布
實施期來年一月或四月

二十五日東京電。前項經閣議決定實施之內臺共婚制所關勅令案及律令案。業于二十六日。正式公布。其實施期。在八年一月一日或四月一日。由臺灣總督府隨意決定。

勅令案及律令案
以官報府報發表

共婚法制定所關勅令改正及律令制定。二十六日以官報及府報發表如左。

大正十一年勅令第四百七號中改正件。

勅令第三六〇號。

大正十一年勅令第四百七號中改正如左。

一第十一條之二 非在陸海軍兵籍者。及非至無服兵役義務者。不得入臺灣之家。但經徵兵終決處分。而在第二國民兵役者。不在此限。

第十二條中「後四條」改爲「後五條」

第十四條之二 內地人與本島人間婚姻或緣組。入臺灣家之人協議後之離婚或離緣。由其原籍郡守。警察署長。警察分署長或支廳長。而生其效力。

附 則

本令施行期日。由臺灣總督定之。

本島人戶籍所關事務。使郡守警察署長。警察分署長或支廳長辦理件

勅令第三六一號。

臺灣本島人戶籍所關事務由郡守。警察署長。警察分署長或支廳長行之。臺灣總督認必要時。得照本令。以郡守。警察署長。警察分署長或支廳長之職務。使警部或警部補代理之

戶籍事務。于第一次。由郡役所警察分署或支廳所在地管轄知事或廳長監督第二次由臺灣總督監督之

附 則

本令施行期日。由臺灣總督定之。

本島人戶籍所關件。

律令第二號。

關本島人戶籍。暫依臺灣總督所定。

附 則

本令施行期日。由臺灣總督定之。

臺中州協議會
來月十三四日

臺中州八年度豫算書。二十四日。清書完畢。付之印刷。協議會。在來十二月十三四日。入十二月。立發召集狀於各協議會員云。

板橋公會堂
工事落札
金萬七千餘圓

多年懸案中之御大典紀念板橋公會堂新築工事。際此不景氣之秋。能得募集巨款寄附。此乃街民理解所致。其工事入札。于去二十五日午前十一時。四十分。在當街役場。舉行入札。開票結果。以最少金額一萬七千二百圓。歸野崎康太郎氏包辦落札。該工事豫定明年五月中竣功外。尚有電燈裝飾砂利埋土及其他設備諸費。約三千圓。因工事都合上。歸該街役場直營云。

來年度海軍大操
要求經費五百萬

二十六日東京電。海軍決定來年。極廣範圍演習。因要求五百萬圓經費。其計畫大體八月。諸本州南方太平洋上。參加部隊。來十二月一日。新編成聯合艦隊日向。陸奧。榛名。金剛四主力艦。並初次參加之愛宕。鳥海。高雄。摩耶新銳一萬噸巡洋艦。合我海軍最初巡洋航空母艦。聯合豫備兩艦隊。百數十艦船爲主力。加以全海軍航空隊。於海於空。聚新科學之精粹。演成一大海戰云。

不反對總會移牒
一般極好印象

二十五日壽府電。標榜理事會中心主義之日本代表決定容理事會之希望。只欲演說明我所處。不反對總會移牒。不區區拘泥於議事上之形式。如得披瀝所信之便宜。不論如何會議亦可。此寬襟度既示。大得一般好印象。但總會移諸十九國委員會之事則未確定。或新設一比十九國委員會。更加切實審議日華問題之委員會。亦未可知。然有何名案。人人疑問。或再附帶理事會。亦未可知云。

中國抗日會決定
積極排日運動

二十五日上海電。中國代表顧維鈞。在聯盟席上。抵制爲公法手段之言。中國抗日會。去二十四日夜。乘勢秘密會合。決定積極開始排日運動。我陸戰隊嚴戒云。

南州五大橋
工事包辦

臺南州本年度計畫架設之五大橋工事。就中臺南北門間之曾文溪橋。與嘉義北港間之朴子溪橋之估價包辦。各於去二十五朝十一時。在州署會計課。集諸包辦人票簽。然各超過豫算。惟朴子橋以票簽最低額者之嘉義高野組。以五萬九千圓。協定歸其承辦。工事按二年間繼續。豫定昭和九年三月竣工。他曾文橋改期再簽云。

本島最初收穫
感謝祭
在三角埔盛舉

臺北州士林庄三角埔州立農業傳習所。二十五日午前八時半。在丸糯原種田前廣場。與共同耕作組合部落民等合同。舉本島最初收穫感謝祭。定刻。三百餘名出席。依臺灣神社神職之手。嚴重舉式。有降神、獻饌、祝詞後。由島田傳習所長、傳習生總代、勸業課長代理犬飼技師、來賓代表士林庄長等。恭捧玉串。舉拜禮。撤饌、昇神之儀。式終。島田所長對傳習生。述懇切訓辭。乃後以多數之旗。與音樂作前。迴遊三角埔全部落亘一時間。次開模擬店。午後一時。開運動會。入夜。映寫活動寫眞云。

臺北庶民信組
設置詰所
於西門市場

臺北庶民信用組合。現組合員千二百三十五名。出資金只三萬八千三百五十五圓而已。不能十分活動。故於去十一日役員會。會決議增募組合員。增加持口。增殖貯金。決定如左。

一、新加入及增口 現下加入金。增口金一口（出資五圓）一圓三十六錢。若明年一月以後。即爲一圓八十錢內外。故於年末加入或增口爲得策。

二、貯金 利率定期年六分以下。日步一錢五厘。以定期貯金爲擔保。得借利資金。

三、貸付金 信用最高三百圓。擔保最高二千圓。利子三錢。若係實擔保。利子更廉。期限內償還元利者。自十一月十三日起。利率日步二錢五厘。由先取三錢中還之。

四、出張員詰所 自去二十五日起。所設出張員詰所。於西門市場稻荷神社々務所階下。辦理貯金之受拂加入。增口。脫退。貸出辨明受理。同於還等。不久將設正式出張所。市場商人並城內萬華方面組合員。當得便利也。

臺南小公園露店
遷徙方法依抽籤配定

臺南西門町小公園附近一帶路店。今回因市區整理由當局飭令遷徙。已得渠等之喜諾。故市當局乃就移轉地。加以設備。然各店應用地址。市爲愼重其事。公平分配。豫於二十五日下午三時。招集路店組合員百七十餘名。於臺南稅務署。由小山署長。及市估佐勸業課長立會之下。以抽籤方法配定云。

女子高等學院
學寮腸疾
二日發病三名

臺北州下傳染病患者。最近發生多數。至二十四日達五十六人。而臺北市龍口町三丁目十番地臺北女子高等學院學寮。二十三四兩日。發病生徒三名。乃與州衛生課市衛生課。協力。於二十四日。一齊消毒。且對學寮生。採血檢便。市衛生課。豫防注射班。由來一班。增加爲二班。對發生區域。自二十六日起。努力防遏云。

宋氏否定發反日令
會外交團席上之言

二十五日南京電。財政部長宋子文。二十五日午後。會美法意三國公使。及英代理公使。告以日華直接交涉等。滿洲在武力支配之間。夢想不能。抵制是民衆自發運動。政府不發反日命令云々。

共婚法早實現
洵堪同慶
平塚長官談

臺灣劃期的事業之共婚法已于二十六日發布。關此平塚長官語左。

本日經御批。而見共婚關係勅令及律令公布。爲本島洵堪慶賀。顧本島改隸以來。已閱三十七年。其間歷代總督。奉戴一視同仁之聖旨。盡瘁結果。內臺人融和。與年俱進。且內臺人間婚姻，緣組等亦漸行。抑共婚于本島有重大意義。蓋共婚由內臺融和所生之一結果。又共婚夫自身。爲原因而促進內臺融和者甚大。然而關法律上之保護。從來因各種事情所阻。殊多遺憾之點。即本島于大正十二年。民法施行。內臺人共婚。雖報戶籍吏。便生效力。然本島無戶籍吏。而戶籍所關法規亦不完備。事實上雖共婚。而法律上有不能正當手續之不合理者。欲除此缺陷。乃多年之懸案此次因總督閣下異常盡力及中央當局諒解。意外早實現。爲本島統治。洵爲可喜。基此律令之府令。亦擬從速施行。余對于事實上。其在共婚關係。而尚不得手續者。宜速行手續。並對共婚關係諸人。希望努力建設模範的家庭又望以後內臺青年諸君。于十分理解之下。安心爲共婚生活也。最後關此再附一言。本島家族制度所關諸種法規。猶甚不完全例如不明確之習慣成文化創設新制度。戶籍法施行等。爲要亟實現之急務本府亦自來研究。已在立案程度。然事關本島社會制度之根幹。要加大變革之重大事項。故對此實施。特要慎重調查研究。爰就當面急要之共婚關係法規。亟行制定之也。關此等事項。勿論尙須十分研究。而聽取本島民各位意見。以期從速實現也。

殖田殖產局長
向大南庄

殖田殖產局長。爲視察大南庄蔗苗養成所灌漑事業偕吉良技師。檜橋局。搭二十六日午前八時半。臺北驛發列車出發。按乘二十七日午後三時五十五分。抵臺北驛列車歸北。

平塚長官
抵馬公

平塚總務長官。二十五日午前十時。由高雄乘芸陂丸。較豫定早抵馬公。本間廳長、三埔街長、塙警務課長、梅本稅務課長。至船中歡迎。至馬港棧橋。受鈴木要塞司令官、澁川大隊長、其他軍部、各團體地方官民多數出迎。入松島紀念館云。

在庫激增天候放晴
圓糯期米一齊暴落
一兩日後在庫必達十萬

二十五朝場外。圓糯因期米勢硬。會起至八圓二十三四錢。然其大勢既不良比入場。則落至八圓三十五錢。後場授受休會。然則米因第二次買上百萬石而至二十五日尚無一口應募。其成績比第一回更不良。蓋買上價尤低於市價約一圓。頃來登場遲緩。至是產地陸續賣出。一兩日來潮先、北川等所買九州米。二十五日已賣盡於定期市場。由先限二十三圓臺採算之。今後若賣廉米。欲再賣於定期。故前途買派悲觀。當限形勢反々。果然後場激落二三十丁。二十六朝大阪期米又落。先限二十三圓三十九錢。至七節四十二錢。圓糯八圓零四五錢。現米已破八圓。基隆在庫八萬四千四百四十袋。蓬萊五萬四千百八十袋。到著米二百三十一車。夜來小雨。遂其未歇。旁午已放晴。人氣軟化。一兩日後在庫突破十萬以上。產地賣氣一殺。恐恒難以維持也。

漂流男屍
疑出於他殺

彰化番子溝。自湳尾涵莿桐脚橋中間。去二十五日午前中。發見漂流一男屍。過後判明。其人爲彰化街字南門二八一番地。莊分之次男莊水泰二十八。業挽牛車。據其家人所云去二十二日。有南郭番社東平廬仔人王氏枝者。來勸佃出門。同往烏瓦厝。而一去不返。死體據野口公醫驗視。亦未遽斷爲自殺或他殺。云須待檢察立會解剖。而外界則風評疑爲出於他殺云。

村愚父子敢恃暴力
抗租不納被解約
毆打耕作中新佃

員林郡大村庄人賴崇落公業。自數年來派下紛爭。有一部分佃人。以其紛爭爲理由。抗納租谷。其中有員林郡大村庄過溝人同公業派下賴建智者。對其自己所贌作一甲餘田地已四年間。無納租谷。雖數受管理人催促。亦持強不納。管理人賴頭氏。不得已依慣例。早已用內容證明郵便。將建智所作分額。解贌耕作。同時轉贌於同派下人賴自寶。去二十四日。賴自寶。以水牛正在該新耕田中深耕中。比及亭午。建智率其子三四人到該田。向自寶。言「慈子孫何有耕工。來犁我田」。自寶答。「我已由管理人贌來。汝等若有不滿。請向管理人處異議」。建智父子。不分黑白。即時各揮拳毆打自寶。自寶欲訴於同地派出所。求建智父子同行。然一行到途中。建智等。又再毆打自寶一場。自寶不得已。出聲呼救。打力走出員林街。即時求醫師診斷。作成告訴狀。提出於員林郡云。

安溪寮保甲
事務所落成

新營郡後壁庄安溪寮保甲聯合事務所新築落成式。去二十五日正午起。在同所。招待樂論郡守藏原警察課長金子內勤主任鎌田明糖烏樹林工場長。石川後壁庄長。小路前大埔。西本白河兩巡查部長。其他保甲役員及重要人士等百五十餘名列席。首由聯合會長林石吉氏。宣告開會。壯丁團長蘇條談氏報告新築工事費千二百七五圓。爲郡下唯一事務所。次樂論郡守。石川庄長前後述祝。畢一同記念撮影後開祝宴。席中有北妓侑酒。迨二時半。一同盡歡而散。同村落於瘧疾防遏作業。爲州下唯一之優良村。今後同郡下模範部落設置之時。定必指地同所云

朴子書房教師
郡命其中止

朴子街漢文書房數軒之教師於日昨被郡當局召喚到郡命其中止。不許再行設教若不遵守。決欲正當處以罰金。爲欲設立書房。宜提出申請認可。方得設教云

質假金環
女賊星注敗
並供出賭案

旣報。去十九日彰化岩崎質屋。遭一假名張氏綢英者。以僞金腕環入質。騙去金二十圓事。其後該女賊星注敗。二十五日朝。在西門通行中。被質主認明。捕入派出所。遂送入郡密問。結局判明爲彰化街字南門二四六番地楊火炎之長女楊氏素月。年十九所爲。嚴訊之下。云所詐之金。乃輸於賭博。同時並認出同賭者四名。即其隣人楊氏阿甘。楊氏水雲。及一名阿桃。一名阿葉云。

信組役員。報酬僅少。責任極重。眞堪同情。如此低利資金之融通。須賴役員連帶保證。莫怪某郡下組合。二三役員不肖。雖然還是爲地方努力之也（組員愚話）敢告某信組役員。既已差押頂埔小生物件。還望貴役員中。如法整理。貴役員中。若不整理。則小生當向官廳告其事。使其人從期睡中醒。亦不得受認可也（大公至正諸話）敢所徵銀泡濫及挑要服兩詩。茲已還非。間有鋼路草君之住所不明。新連示教。以便發表爲盼。（一辯事人）富家虐待婆女。警官以富故。不敢阻止。醫師亦以富故。不敢診斷。試問良心安在。職責安在（與個資本主義）

貧病婦自縊

東石郡朴子街朴子人黃飛之妻黃林氏烏。年四十五。去二十四日夜。在自宅房中。自縊而死。迨翌二十五朝。家人始發見。已絕息多時。原因爲其夫昨年死去。家貧如洗。素之病苦顚連。遂萌厭世。聞者傷之

金案利益判決不及
檢察官議再控訴與否

關於臺北州下金塊密輸出案。去二十五日。在臺北地方法院判決。檢察局。對此判決。有多少不滿。而對押收現金一萬五千餘圓。爲純然利益金。附可沒收之意見。二十五日之判決。全然不及。因是不能沒收。茲三四日中。與檢察官長協議後。就控訴與否。應得決定。又世間視有問題。關於百餘貫密輸出金塊之沒收問題。因不移入密輸出行爲。自最初。檢察局。不以沒收辦理。一面關於追徵金問題法律亦無規定。不能追徵云

橫斷線路
被機關車轢死

月二十四日午後四時四十分頃。在瑞芳庄三貂嶺驛構內。有第一一二二號之列車進入之時。同庄新路尾一一六番地。王忠。年二十二。欲橫斷線路之際。被機關車轢死。

基隆

見學鑛山

基隆市顏國年。許梓桑。外重要紳商二十餘名。訂來二十七日。午前八時。由基隆驛出往金瓜石觀察同地最大規模之製鍊場。正午回九份。在同地春陽鑛業務所。受顏氏饗應。然後見學同鑛業會社製鍊場。豫定五時頃歸基。

記念行事

基隆要塞司令部。基隆重砲兵大隊。基隆鄉軍分會。基隆市役所。聯合主催。訂來二十八日。徵兵制六十週年紀念日。依左記舉行有意義之紀念行事

一、火砲奉納奉納式。二十八日午前九。於基隆神社。

二、閱兵分列式。二十八日午前十一時。於市役所前。參加部隊。基隆重砲兵大隊。在鄉軍人分會。青年訓練生徒。中學校。女學校生徒。小公學校兒童男女五年以上

三、祝賀會。二十八日正午。於公會堂。會費每人五十錢欲參加者。向市兵事係申込。又當日。各戶須揭揚國旗。以表祝意云。

新竹

設鹽湯浴

竹郡舊港庄。冬季入浴設備。者番在庄下南寮海水浴場構內擇地休憩。客前之孫址。擬築鹽湯浴池。日夜換流。使藉日間太陽照徹。保持溫暖。併在池畔新築脫衣保溫兩室。

米役員會

新竹州米穀同業組役員會。訂七日下午一時。開于驛前事務所。屆日當由馮專務。報告米穀統制案之將來。次提示設置販賣部。並低利資金借入兩件附一同審議。

逐回梓里

竹市東門人陳大九之三男陳泉源兒。前由馬除。密渡廈門糾集支那無賴漢結團。在該地爲非。大正六年十一月中。曾在中山以春同旅社。毆傷華人。被領事警官調拘二十天。後毫無改悛。有損臺灣僑民體面。此回被領事館驅逐。論告。逐回新竹州云。

蔡金作罷

新竹中華會館。前由臺北領事館之訓諭。以華北賑災醵金之名義。由市內華僑。將募亦捐金醵送。因受新竹警察署嚴重注意。故作罷論。

統治目的
宜新其認識
永井拓相談

二十日東電。內臺人共婚問題解決。永井拓相。謂本日勅令第三百六十號。同三百六十一號及法律第二號公布。多年懸案共婚問題解決。不勝欣快。從來內臺人間民事關係。受民法適用。其婚姻由原報籍吏而成立。然無可稟報之戶籍吏。實際上婚姻不得報出。生子作私生兒。實爲不幸。此不獨法制問題乃人道問題。宜速除其障害。更由內臺融和之點宜早一日解決。然以諸般事情。解決遲延。今者內臺人得以建立新家庭可喜現象也。余對臺灣住民。關統治根本目的。望諭宜新。切望和衷協力。適進於共存共榮也。

共婚問題
爲余之土產
中川總督談

二十五日東京支局電。中川總督。二十五日在督府出張所。對臺灣記者團發表如左。

共婚問題。可留爲余之土產。多年懸案。無事解決。妙甚。關此正式談話。非二十六日法令公布後。不得明言也。米穀統制問題。目下商工課長等躍起。於委員會活動中。臺灣電力爲替對策。大藏省已了解同情。移民問題。將來計上於來年度豫算。西部地方。欲建如吉野村者。由內臺融和言之。非集團移民不可。自治問題。有對拓務省。請其便宜。而及早實施之條件問題。乏新事業。二十六日告別後。余將歸臺也。

臺中

決定贈彩

臺中市。內地人諸商店。決定依例舉行。年末景品附聯合大賣出。景品抽籤券。行數。比昨年二十五萬枚。將增五萬爲三十萬枚云。

製冰總會

臺中市中央製冰株式會社。去二十三日。開第五回。定期總會。同社。出席株主二十四名株數約五千株。社長郭頂順氏就議長席。開始收支決算承認之議事。曾桃氏。對於配給並役之冰塊。及支出金用途。質問。議論紛々。結局照原案通過承認。本年度利益金。二千七百九十餘圓。承過次年度。役員改選結果。全部重任云。

冰價大廉

臺中市。大日本。中央。兩製冰會社。與東勢郡石岡製冰。協定期間滿限。售賣自由。不經共同計算所。石岡之冰。出第二市場。賴蒲商店販賣。遂開始競爭。一貫小賣價格自十二錢。大降至二錢。且非賴蒲之一錢。雖目下非多需要之時期。惟冷凍業及病人。則喜甚。賴蒲中間說兩社。以如此廉價。將與石岡製冰。交涉再協定。一貫起價爲六錢云。

南投

准延線路

南投郡名間庄。自集々線。溜於濁水。明治製糖二水線之名間驛。久爲無用長物。明糖工場長。因欲旅客之便。計畫撤廢名間驛。延長至濁水溜驛。遂成重要問題。前次將此計畫申請於當局。去二十五日。已得批准。明近日將著手。以事延長線路之工云。

配柑橘苗

南投郡農會。有柑橘苗。將配與農家栽培。去二十五日。經川又技手。來南查定。可以配付者。已定晚白柚四千四百十六本。山柑八千二百七十六本。柚價一本三十五錢。柑價一本七錢。配付時期。按自十二月下旬至來春一月上旬之間云。

書記講習

南投郡欲圖統一保甲事務。且期書記之素質向上起見。將集郡保甲書記全部。擬來二十九日起。在保甲會議室。開訓練講習會。

虎尾

製糖開始

虎尾日糖支社製糖所。月二十六日起。開始製糖。目前將要採用人員。全部試驗。二十三日決定。

聯合體育

虎尾公學校。及農業補習學校。虎尾青年團。決定來十二月四日。在虎尾公學校々庭。開聯合體育會。

臺南

水害捐金

臺南州爲救北海道地方水害。向市內。及嘉義。新化。曾文。北門。斗六各部分勸捐之救濟金。計一百五十七圓四十一錢。去二十五日。由今川知事之手。直接致送交付當地長官致慰云

醫官召集

臺南警察署。去二十五朝八時。於臺南公園廣場。舉定期召集。於小山署長指揮之下。乃行中隊教練。及檢點。十一時頃會終。歸途至署。復受署長之訓示。並囑託。及職務上注意云。

請撥財源

臺南開山神社。向者每値有事。爲之維持財源。種々困難。皆無依指手。社總代荒卷、黃欣、村上、陳沼、陳鴻鳴諸氏。去二十五朝。偕社司杉田氏。直訪今川知事於州公室。陳情所以。祈其發出一部財源。以撥不逮。

會事

▲臺北州立盲啞學校。于二十七日午前九時。在同校々庭。開運動會。競技種目三十三番首由全校生徒合同體操。最後仍由全校生引綱。然後由一齡報告閉會。三唱萬歲而散。

人事

▲員林郡永靖庄協議會員邱宇氏之次男木林君與彰化銀行員劉天賜氏之姪月娥。訂來二十九日聯婚。

▲員林街通成商店主江末發氏之令任金泉君。與臺中市人林雜寅氏之長女。去二十六日。在員林公會堂。舉結婚式。午後四時招待官民數百名於同所。開披露宴。

▲南投郡司法主任平山茂二氏自巡任以來。處事公平。此次轉于臺中警察署。爲第二司法按二十八日。攜眷赴任。

▲坂尾桃園郡守。爲新任初巡視。定月二十八日至十二月三日。六日間。出差郡下。巡視街庄役場。學校警所等處。

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

發行兼編輯人 前野[illegible]若

發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

本紙定價 一部五錢・一ヶ月前金壹圓參拾五錢・三ヶ月同參圓八拾錢・六ヶ月同七圓五拾錢・一ヶ年同拾四圓五拾錢・日本內地及支那地方送料不要

廣告料 普通面一行十五字詰 八十錢 特別面一行同 壹圓貳拾錢 記事欄割込一行同 壹圓五拾錢

振替口座臺北一〇番 私書函臺北三番

電話 代表番號 三八〇〇 編輯用 三八〇四 [illegible]用 三八〇五 [illegible]用 三八〇三 [illegible]部 四八三 電信略號（タヒ）

冬の千一夜

踊子の歸路…龍膽寺雄
アパートの裏口…武野藤介
柳橋の女…瀨戶英一
醫局の窓…正木不如丘
巴里の步道…堀口大學
蛇になつた女房…下村千秋

寒しんしん。肌寒さ爐邊につどひ、妖氣立つ四方山ばなし、踊子の唇から夜が更けて怪話綺話はのしのしと浮き出づる。これはこれモダンを昔に、[illegible]アラビヤの夜話り！

市川左團次に物を訊く座談會

劇壇今昔、故人新人語り來り語り去る
梨園弟子一人
藝人と氣品
ともかく興すか夢幻境！
質問者 淺利鶴雄 小出英男
里見弴
菊池寛
西村晋一

人釣り道樂業（深夜圓タクが拾つた女客、何處までも降りやうとはしない！）…高田保

隨筆

茶器の銘…高橋箒庵
中島商工大臣を中心に…戶川秋骨
蛙の村（短歌）…迢空
未曾有の珍事…島津久基
名古屋にての偶感…岡村金太郎
タゴの立體寫眞像…松岡讓
國語と法律語…船田享二
舊師…鈴木文史朗
「房」…ささきふさ
議會の野次と論屑…太田正孝
歌舞伎俳優の給金…三宅孤軒
跳ね橋（詩）…百田宗治
「ゴルフ」と禪…溝口直亮
豫感…國富信一
毛人臭は嘆く…矢部謙次郎
鐵砲獵雜談…小坂新夫
初冬雜筆…小川未明
移轉前後…齋藤[illegible]
政治センチメンタリズム…奧むめお
茶道風景…上司小劍
議會の公開性について…恒藤恭
彫刻…石井鶴三

★混沌期に於る勞資兩陣營…石濱知行
★非常時下の政治を顧みて…蠟山政道
★世界の統制經濟化の傾向？…土方成美

ラヂオ匿名評を讀んで…矢部謙次郎
日大騷動と私…額田豐

美術・舞臺
金のナウル話
ラグビー主將談

能面談…高野辰之
話の屑籠…菊池寛

權藤成卿氏を中心として刻下愛國運動を語る座談會
（國家非常時の今日、勃然と捲く愛國の熱狂、權藤成卿氏を中心に吟叫して立ち岩田富美夫、北原龍雄諸氏の國民愛國團體の正體を批判して餘す所なし）

出版物の發賣頒布禁止に就て…草野豹一郎

現代思想實地調査
第一回—サラリーマンはどう考へるか？
（勤勞生活大衆は何を考へつゝあるか何を求めつゝあるか？彼等の胸奧を知る本誌獨自の一大計畫を見よ）

藤原銀次郎（人の評判）

青島脫出記
（一九一三年歐州大戰の砲火の中、青島上空を飛ぶ一飛行機！上海、長崎、伯林と空の悲劇が……）
独大佐 プリユーショフ

愚連隊興亡記…陸直次郎
雲井龍雄遺聞…入澤達吉
★上泉信綱と宮本武藏…直木三十五
宇垣出現の暗雲（政界夜話）…城南隱士
新聞紙匿名月評…S・V・C
ラヂオ匿名批判…AKA
財界人物評…柳瀨眞逸
谷崎潤一郎氏の文章…深田久彌
畫家と藝妓…廣津和郎

創作
母…加藤千代三
空想の蟲…尾崎士郎

曆の神祕性（科學者の眼下に曝された曆、新奇なる卓見！）…藤原咲平

新大統領ルーズヴエルトと國際聯盟…高田[illegible]

文藝春秋

十二月號 附錄 文壇ユーモア

定價四十錢

東京市麴町區內幸町一ノ三 大阪ビルディング內四階
文藝春秋社
振替東京一七六〇三

東洋第一

花王石鹸

血色のよいお顏

迫つてくる寒さに負けないで毎日を元氣でお暮し下さい

家庭でも・・學校でも・・職場でも・・・

新鮮な空氣と食べ物と適當な運動—あとはお肌の淸淨が健康には大切です

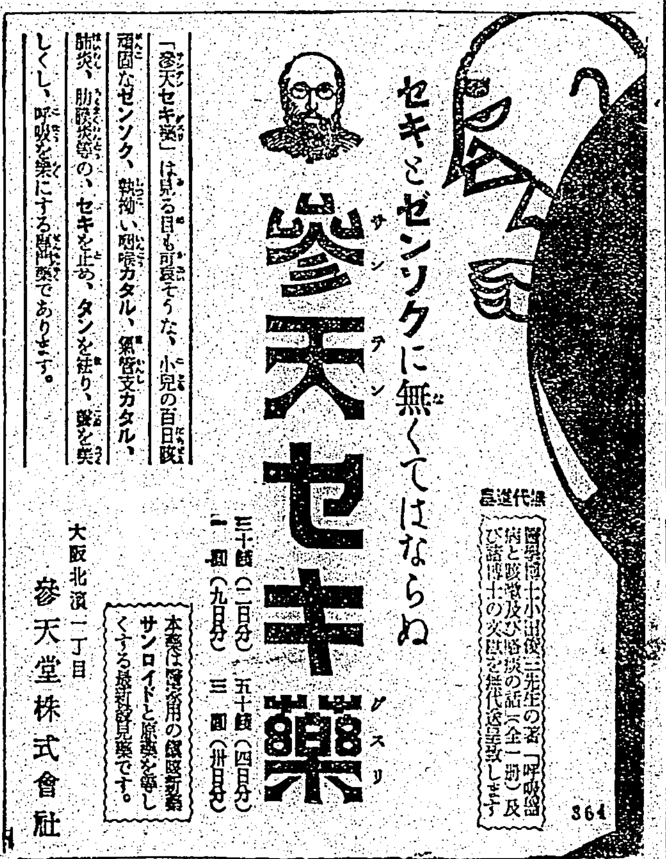
淸淨は花王の役目です！安心してお任せ下さい！

うぶ湯の時から花王石鹸

純粹度九九・四%

正價一個十錢

東京・花王石鹸本舗長瀨商會・大阪



セキとゼンソクに無くてはならぬ

參天セキ藥

「參天セキ藥」は見る目も可哀そうな、小兒の百日咳、頑固なゼンソク、執拗い咽喉カタル、氣管支カタル、肺炎、肋膜炎等の、セキを止め、タンを去り、發作を輕くし、呼吸を樂にする靈藥であります。

三十錢（二日分）五十錢（四日分）一圓（九日分）三圓（卅日分）

本劑は醫家用の鎭咳新劑サンロイドと原料を等しくする最新鎭咳藥です。

大阪北濱二丁目 參天堂株式會社

無代進呈 醫學博士小川俊三先生の著「呼吸器病と咳嗽及び喀痰の話」（全一冊）及び諸博士の文献を無代送呈致します

364

タバコのみの

齒磨スモカ

知て而して行はざるは善にあらず
齒が黑い！とお氣づき召されりや
すぐスモカ

定價十五錢 煙草小賣店にあり

183

●頭痛にノーシン！●

價藥 [illegible]

藥店及百貨店にあり

廣告は宣傳の近道なり

藤澤の腎臟器製強力止血劑

トロムボゲン

出血

「喀血、吐血、出血の治療法」（[illegible]）

徒らに血液を失ふこと勿れ 二リットル以上は生命危し

肺結核其他の喀血 子宮出血 痔出血 胃腸出血 あらゆる出血に服用せらる

內服用錠劑 （十錠入）（二十錠入）（五十錠入）（百錠入）

●他に皮下注射用・內服用液・撒布用粉末あり

大阪道修町 藤澤友吉商店

121

●商業登記公告

●株式會社日本勸業銀行變更（支店）昭和七年拾壹月拾八日長野縣上田市ノ支店ヲ同縣同市大字上田五千百五拾九番地ニ移轉 右昭和七年拾壹月貳拾四日登記 臺北地方法院

●合名會社與五商店（變更）昭和七年拾壹月拾六日社員西川安次郎ハ出資金全部ヲ社員加藤志津ニ讓渡シ退社ス社員加藤志津ハ讓受ケテ出資額ヲ金參萬圓ニ變更ス 右昭和七年拾壹月貳拾四日登記 臺北地方法院

●本月貳拾參日商業登記公告中佐久間謙介ヲ棚瀨四郎ト更正シ臺北市建成町貳丁目四番地金五千五百五拾六圓有限佐久間謙介ノ一項ヲ加フ 臺北地方法院

●株式會社彰化銀行（變更）昭和七年拾月壹日取締役吳汝祥ノ住所ハ彰化郡彰化街彰化字東門貳貳壹番地ト同市中街德治ノ住所ハ同郡同街同字北門參四六番地ト監査役李崇禮ノ住所ハ同郡同街同字南門五八番地ト各稱呼變更ス 右昭和七年拾壹月貳拾五日登記 臺北地方法院臺中出張所

●桃園興業株式會社（變更）監査役劉福奇任期滿了ノ處昭和七年拾壹月拾日退任、同日左ノ者監査役ニ就任ス桃園郡桃園街桃園字中南參拾貳番地（新任）吳王氏西 右昭和七年拾壹月拾五日登記

●株式會社彰化銀行變更（支店）昭和七年拾月壹日取締役吳汝祥、同中街德治監査役李崇禮ノ住所ヲ各左ノ如ク改稱ス、彰化郡彰化街彰化字東門貳貳壹番地吳汝祥、同郡同街彰化字北門參四六番地中街德治、同郡同街彰化字南門五八番地李崇禮 右昭和七年拾壹月貳拾五日登記 臺北地方法院桃園出張所

●合資會社島生堂藥房（變更）昭和七年拾壹月貳拾日目的ニ文房具類園品、蓄音器並ニ附屬品金物類及雜貨品販賣ヲ追加ス 右昭和七年拾壹月貳拾四日登記 臺北地方法院臺東出張所

滋強飲料

カルピス

▲內科▼

臺北市榮町一ノ五

吉田內科醫院

電話 醫院 二八五三 自宅 二八五四

大阪商船 基隆出帆
門司神戶行
瑞穗丸 十一月卅日午後四時發
蓬萊丸 十二月五日午後四時發
扶桑丸 十二月九日午後四時發

近海郵船 基隆出帆
門司神戶行
吉野丸 十一月廿八日午後四時發
朝日丸 十二月二日午後四時發
大和丸 十二月七日午後四時發

大連汽船 基隆出帆
大連直行
山東丸 十二月二日午後五時發
代理店 丸一組 基隆電話八九九

內臺共婚の合法化を欣ぶ
序でに聘金制度を禁壓せよ

一

必要以上の問題として多年の懸案であつた共婚法が、漸く實施の見當がつくに至つたことは、臺灣のため幸ひと言はねばならぬ。固より本島においても、目標は共婚法の如き過渡的のものでなく內地同様の民法による戶籍法その他の取扱ひを望むのではあるが、兵役の義務が本島人に負課せらるるに至らず、且つ地方制度も內地の如き自治制度が布かれてゐない關係で一擧にソコまで到達し得ないのは遺憾とは云へ是非もない事と云はねばならぬ。然し之を今までの様な共婚禁止と同様な不都合にして內臺融和の何たるかを解しない様な變態的の取扱ひに比し少くとも一步を出で內臺人男女の結合を合理化すに至るであらう事は明々白々であつて、慶きに堪ゆること萬萬である。

二

今度の共婚法では、勅令に依て兵役の義務に直接關係なき內地人は本島人の家に入り得ること、其の婚姻屆出の規定、その取扱ひ及び所管等を規定してをり、之を律令により「本島人の戶籍」として臺灣に施行せんとするものである。律令に當分の內とあるので之が臺灣の最終法規でないことは明かであり、結局一時的の便法であるべきものと諒解する。中には斯る不徹底な共婚法は、却つて將來發達すべき臺灣の地方自治を阻害することになりはせぬかとの懸念もあり、何時までも警察官の手から戶口事務を市街庄の手に取り戻し得まいなどといふ悲觀的な見方もある様だが、ソレまで取越苦勞する程の事はなからうと思ふ。今後時代が變り臺灣の實情が內地流になつて來れば共婚法の如きものが自然に強行しやうとしても出來なくなる事は必定であつて、法律や命令が時代の要求や反映に根據を持つものである限り自然に改廢されるであらうことは必然の事と心得る。

三

內臺人男女の間の結合を當然とし寧ろ或る點では歡迎してゐたに拘らず其の婚姻屆出の手續きに大なる缺陷があり、臺灣の戶口簿には正式婚姻として載つても內地の戶籍を之に準じて改める事が出來ず、その間に生れた子供が「私生子」であつたりして寧ろ事實上共婚を禁じてゐたも同然の結果を見てゐた。斯る矛盾失當さが臺灣統治者の手に依て今日まで放置されなかつたといふ事は實に奇々怪々と申す外なく、一體過去の統治上の責任者は何をし何を考へてゐたのか。吾人は此の點に關し何囘となく繰り返し[illegible]を述べて來たのだが漸く此の要望が現總督長官等を動かし、茲に至つたものである。吾人は、此の點に對する督府當局の熱意と拓務省初め中央政府方面の援助とを多とせねばならない。

四

この共婚法實施の結果として、臺灣の社會に喜ばしき新現象を見るに至るであらうことは吾人が同法に對し特に期待をもつ他の一つの理由でもある。ソレは新たに道が擴げられた內臺共婚の結果として、本島に於ける甚だ野蠻的なる聘金の制度が自然に壞滅的影響を受けるのではないかといふことだ。或は斯る見方については餘りに早まつた粗急の觀察であるとの非難もあるかも知れぬが、共婚法の實施により安心し共婚を辭せぬ內地人女子と結合婚姻するやうになるならば、少くとも本島人女子の聘金市價に多少なりと狂ひが來るであらうことは想像に難くない。且つ聘金なき內臺の結婚が次第に多くなるにつれ長い間の弊風にして人身賣買の實ある聘金制度が次第に壞れるであらうことも見易き理ではないか。況んや今日の男女青年たちが聘金制度を蛇蝎のやうに嫌つてゐる事實に考へ及べば、共婚法の實施を境ひとして此の惡制度が漸次力を失ふに至るものとの見解は誤りとばかりは言へない。又吾人は是非左様になるであらう事を希望いたさねばならぬ。

五

否、單に左様な希望を持つに留まらず、吾人は更に進んで總督府當局が聘金制度なるものを根本的に打破するだけの勇氣を持つて貰ひたいと思ふものである。語を換へて言へば一定の取締法規を以て聘金の弊を禁止するの英斷に出るやう望みたいのである。惡習を斷然禁壓することは文明國家として當然試むべき所であり、況んや臺灣には過去において纏足[illegible]禁止し之が今日非常なる好結果を得てゐること何人も認むる所である。聘金が本島人社會の傳統的習慣だと言つて敢て恐れる必要はなく、社會的惡弊の甚だしい此の制度若くは約束を斷然力を以て改めしめるといふ事は正に統治上の善政たるに相違ない。吾人は此の制度に甚だしき惡弊あるを多年痛感する者として此の機會に敢て當局の英斷を望み、渾然たる內臺の社會的融和に更に一段の努力を拂ふことを熱望に堪へない。

總會移牒に關して我代表部から請訓
代表會議を召集の上
長岡、佐藤全權の意見も附して

【ゼネバ二十五日發電通】松岡代表は二十五日午後九時から十時半迄代表會議を召集協議の結果外務省に對し直に理事會の經過を具申し總會移牒の可否に就き長岡、佐藤兩全權の意見をも附して請訓した

帝國政府から回訓
第十五條適用反對の留保事項を明確に宣言せよと

【東京二十六日發電通】聯盟理事會議長デ・ヴアレラ氏提議のリツトン報告書審議の總會移牒の件に關する我松岡代表よりの請訓に基き左の態度を執るべしと回訓した

一、帝國政府は滿洲問題に對する聯盟規約第十五條の適用に反對し總會に於ける本問題の審議には終始留保を附したが今次理事會に、議長及び各國理事が問題を總會に移牒すべき事を主張し帝國の意志に反し之を實行せんとするは極めて遺憾なるも手續問題として採擇せんとするに於ては強いて反對抗爭せず、理事會が問題を總會に移牒するには帝國政府の意見書と二十一日以來の理事會議事錄を併せ送付すべし之に對し理事會が更に意見書を附せんとする時政府は斷然之を容認し得ず、重ねて請訓すべし

二、次回理事會にて帝國代表は聯盟規約第十五條適用反對の留保事項を明確に宣言し之を總會に送付すべき理事會議事錄中に明記せしむべし

お父様の聲を聽く
松岡全權の留守宅

我等の全權松岡洋右氏が帝國から我國民に呼びかけた國際放送は去る二十一日午前六時三十五分から蓋が切つて落されたがこの日代々木の松岡邸では子供さん達がお母様と共にラヂオの前に集つて謹んでお父様の聲を聽き入つた（寫眞は右から龍子夫人、三男震三君（一〇）長男謙一郎君（一九）四男志郎君（七）二男洋二君（一三）長女[illegible]子さん（[illegible]）立つてゐるのは秘書林暮夫氏―同邸宅にて）

特別總會は來月六日頃の豫定
二日間內に日支其他が發言

【ゼネバ二十五日發電通】聯盟事務局首腦部に特別總會の開催を見込み左のプログラムを豫定してゐる

一、形式上十九國委員會へ問題を移牒し委員會議長は之を總會へ移す、總會は十二月六日頃と豫定し二日間內に日支その他の代表に發言せしむ

二、右討議後リツトン報告第一章乃至第三章を投票に依り採決す之は日本の行動が自衛權の範圍を逸脫し居るを認め滿洲國を獨立國家と認めざるを意味し日本は勿論反對すべし

三、聯盟規約第十五條第三項に依る調停勸告は十九國委員會又は之に代はる特別委員會に爲さしめ日支兩國之に應ぜねば規約第十五條第四項の手續に移る

四、規約第十五條第四項が適用されれば日本之に應ぜねば制裁規定に進む

豫定さるるプログラム

プログラムはこの通りだが聯盟幹部は制裁規定の意味なきを痛感し且つそれまで進まざるうち日本は聯盟を脫退すべしと見、從つて實際上はそれまでに私的會談その他の問題を聯盟から他の會議に移すが如き打開策を執るか日本の脫退に依り聯盟が歐洲聯盟となる重大な形勢とならんと見らる

來月三日か
特別總會召集日

【ゼネバ二十五日發聯合】聯盟は理事會を二十五日で打切り二十八日十九ケ國特別委員會を召集、十二月三日特別總會を召集、日支問題を討議するに決した模樣である

理事會は又復十一對一を繰返して日本の聯盟脫退の危險が昂まると

私的會談に期待は出來ぬ
理事會の休會中

【ゼネバ二十五日發電通】理事會が二十八日迄休むことは各國代表間に私的會談發展の可能性を豫想されるが、代表中の立役者サイモン英外相は二十五日夜歸國し佛代表ボンクール陸相も亦パリへ歸るので大した期待は懸けられない、殊に兩氏が居らなくても特に斡旋すべしと思へず米上院議員デヴイス氏と松岡代表の第三次會見が可成注目されてゐるが之はアメリカが內政關係から積極的行動を避ける傾向顯著にて聯盟の理解に更も內容上理事會の形勢を左右するとは思へぬ

聯盟筋は樂觀

【ゼネバ二十五日發電通】聯盟筋では日本が總會移牒を拒絕すれば

して發言してゐたが總會移牒となれば松岡代表が理事會總會を通じ存分發言し得るので反對理由には目をつぶり大局から政治的に進まんと解し大體樂觀してゐる

特別總會には顏惠慶が代表

【ゼネバ二十五日發聯合】支那代表部は特別總會に顏惠慶を代表として出席せしめるに決す

言ひたい事が言へるなら
理事會でも總會でもよい
松岡代表の談

【ゼネバ二十五日發電通】理事會終了後松岡代表は例の通り朗かな調子で左の如く語る

總會移牒は少しも恐れぬ、言ひたいことが徹底的に言へる限り總會でも理事會でもよいのだ、總會への移し方如何で、すらすらと感じ得るのであるが今日の事情ではさう言ふ譯に行かなくなつた譯だ、デ・ヴアレラ議長は成るべく早く片付けたい爲か二十八日までに日本政府の回訓が到着する様切望する旨繰返し述べてゐたがこの形勢では日本に於てはさう容易には定められぬ、松岡君は「現實に卽して」と言つたが現實に卽するは結構だが之は現實にある世界中の有ゆるものを卽ち聯盟でも滿洲國でも有ゆるものを正當に見ることを意味すべきものだと思ふ、この點は特に念を押して置いた、東京よりの回訓を待つて又ぼつぼつ始める譯だ今日の演說は短い演說の型を示した樣なものだ

小國と日本を對立させ大國、漁夫の利を狙ふ
聯盟の組織に根本的疑惑
わが當局深く決意の模樣

【東京二十六日發電通】リツトン報告書及び帝國政府の意見書を基礎とする滿洲問題討議に[illegible]てのみ行はるべしとす[illegible]府の主張[illegible]問題を總會に[illegible]至つたが、理事會[illegible]を總會に[illegible]

その理由は リツトン報告書[illegible]日本の[illegible]

[illegible]し小國と日本の主張とを對立せしめその間に安協點を求めんとする[illegible]總會に移る際大國側より妥協案を提出し[illegible]の利を占めんとすること豫想され[illegible]場合に依つては最後的決意を實行する外なしと深く覺悟してゐるものの如くである

平塚長官馬公を視察
山なす重要問題を
廳長から說明

【馬公二十六日發電】平塚長官は二十五日馬公の記念館に一泊、二十六日午前八時から夜來の烈風を冒して本間廳長、三浦街長らの案內で先づ澎湖神社に參拜、次で澎湖廳にて主なる官民を接見したる後廳長の廳治概要報告を受けた、廳長は左の重要希望事項につき長官に意見を申述べた

卽ち馬公水道擴張工事、馬公商港築設、馬公第二棧橋延長工事、澎湖醫院傳染病室新設、馬公市區計畫實施、離島間の交通通信機關施設、警察專用電線電話架設、警備船新造、警察官吏派出所設置、澎南地方法院支部設置、中央研究所農業部試驗所及林業部林業試驗支所を廳下に設置の件、漁業漁船援助方法確立、馬公東石港間定期航路開設（以上國費要求）監獄新築、避病舍新築等（以上地方費要求）

次で要塞司令部に鈴木司令官を訪問しそれより觀音亭、クルーベー中將碑を視察し、次で馬公水道事務所に到り三浦街長の馬公における

水道の

現況及擴張經營につき說明を熱心に聽取した、それより陸軍用地に至り馬公要港部に山內司令官、片岡防備隊司令官の招待午餐會に臨んだ、午後は更に諸所を視察したる後澎湖廳における茶話會に出席し軍部主なる官民百餘名と懇談した、二十八日午前十時北上に向かふ筈

長官招待の茶話會
澎湖廳で開催

【馬公廿六日發電】平塚長官は二十六日午後三時より澎湖廳に於いて茶話會を開催し、山內要港部司令官、鈴木要塞司令官、本間廳長三浦街長等主なる官民百餘名を招待し左の如き挨拶を述べ久しく長官の巡視を待てる島民に多大の感銘を與へた

巡視が遅れて遺憾であつたが、天候惡ならず、物資に惠まれず、交通上不便なる當地が國防上重要な地位を占めてゐるに鑑み督府とし豫算のゆるす限りの援助を惜しまない積りである、出來るだけ懸案を殘したくない、尙內臺融和は督府の大方針であるが懸案の共婚法も二十二日勅令二件の御裁可を經二十六日發表された筈だが誠に慶賀すべき事である

これに對し山內司令官答辭を述べ四時半散會した

民政黨第一回豫算調査會

【東京二十六日發電通】民政黨は二十六日午後一時から第一回豫算調査委員會を開き田昌氏から來年度豫算を詳細に批評し同豫算は歲計上新記錄を顯る多く

一、經常歲出が歲入を超過し公債發行額著しく歲入歲出概計表卽ち將來十年間の財政計畫の作製が出來ぬ事

二、新規公債十億を發行するのみならず九年度以降に世の形勢に一大變化なき時は過度のインフレーションとなり通貨、外國爲替、物價に及ぼす影響大なること

の二大特質ありと說明し黨としての態度を決する前に充分研究するため來週陸海軍關係官から說明を聽くことゝし四時半散會

一應撤回するも趣旨は貫徹
外務省考查部案で
二上官長に回答

【東京二十六日發電通】堀切法制局長官、有田外務次官は二十六日午前十時二上樞府書記官長を訪ひ外務省考查部案に關する樞府修正案に付き回答した、政府は外交關係新設及び現行外務省官制の缺陷補充上新機關を必要とし現在の諮詢案は一應撤回するとも今後樞府との折衝を重ね案の趣旨貫徹を期してゐる

自治問題は今何も言へぬ
小濱內務局長語る

【神戶二十六日發電】小濱內務局長は夫人同伴朝日丸で歸任の途についたがサロンにて語る

朝鮮の自治制施行後の狀況を見て來たがよいとか惡いとかこれが批評は遠慮しておく、ただ朝鮮は臺灣と違つて各面の豫算は非常に簡單で從つて自治制の施行も簡單であつたのではないかと思はれた朝鮮を見て臺灣にも直に自治制を施行するか或は半自治にするか自分の口から今するともせんとも言へない、總ては總督の考へ次第だから今は自分の意見を述べる時期でないと思ふ

と全然自治制についての意見を差控へてゐた、尙

來年度の內務局豫算についても折角財務局長が關係各省と今折衝中でまだ海のものとも山のものとも判らないからと巧みに話題を轉じてゐた

本島師範學校の年限延長案
審査委員會設置か

【東京二十六日發電通】臺灣總督府に於ける師範教育改善に關する一部二部とも一年を延長するに伴ふ公學校、小學校師範の修學年限を延長する案は[illegible]改正案は總督府より樞密院に諮詢ありしため樞府では安武文政局長の出席を求め二上書記官長の手で審査を進めてゐたが二十六日完了を見近日中に審査委員會に附託審議の可否を決定する筈であるが委員會を設置するに至る模樣である

齋藤首相時局談
廿六日葉山へ

【葉山二十六日發電通】齋藤首相は週末靜養のため二十六日夫人同伴葉山一色の別莊に入つたが時局問題に付き左の如く語る

今回の豫算・臨時議會等のため極めて多忙であつたが[illegible]完成したから少し位の暇はとるかも知れぬ、豫算を見て餘り膨大すぎるとの聲もあるが來年度豫算の分[illegible]のは[illegible]自然大きくならざるを得なかつた

△軍事豫算に就ても色々批評あるも國防上の事は軍部大臣に任してあるから問題でない、今回の軍事費は從來繰延べたものを實行したもので國際關係過迫を理由とするものでなく國防の點だけは國家として充分考慮すべきである

△後年度の財政計畫に關し何等か適當な調査機關を設置するとの事は未だ具體的に考へてゐないが必要あれば人選・方針を樹てて設けてよい、行政財政の根本的改正にも着手せねばならぬが早く[illegible]い、或は[illegible]小人數で研究調査するつもりである

市常置員打合會
改選後初めて

【臺北二十六日發】改選後最初の臺北市常置員打合會は二十六日午前十時から開催、常置員安田、近藤、大澤、張清港、陳其春、王五氏、市役所から西澤市尹、川口助役、中村勸業課長、吉田庶務課長出席、時局匡救事業として臺北商工信用組合設立につき市當局から說明あり、設立には反對なきも市尹が組合長となることに對して異論あり研究することとし、次で自動車課の事務所及び車庫の立退きにつき鐵道部から如何なる交涉があつたかにつき一、二質問出で、懇談を交へ正午過ぎ散會した

大株今期配當五分五厘か

【大阪二十六日發電】通大株今期配當は二十八日內定するが最近市場の緊縮から手數料收入は前期より增加し居るので重役間には既に五厘增配の五分五厘とする意向ありこれが爲め大株市新は配當を誘發し三四方緊縮し諸株を牽制した

宋哲元辭表
學良の強要で

【北平二十五日發電通】馮玉祥系唯一の實力者で察哈爾省主席に任ぜられた宋哲元は二十四日突如張學良に辭表を提出した右は馮玉祥が泰山から[illegible]、[illegible]良放逐策を執るものと傳へられたので學良は先手を打ち宋の辭職を強要したためである

神戶爲替暴騰

【神戶二十六日發電通】政府の爲替管理に對し、嚴重なる取締命令に先立つて二十弗臺を保つた爲替市況は今朝入電の米日爲替七十五仙高の二十一弗五十仙を受け人氣俄然反撥し寄付對米二十一ドル八分一[illegible]前場引け七十一兩見送りを呈し跡上商對日七十一兩を入れ氣配[illegible]を唱へ正午過ぎは二十一ドル八分一[illegible]二十一ド[illegible]

人事

▲數納清氏（帝國生命支店長）この程內地より着任

▲浦沢高級參謀　中南部に講演のため出張中のところ二十五日夜歸北

▲佐藤佐氏　二十六日中南部方面より歸北

シナチク

日本國民の視聽は殆ど悉くゼネバに集まり口にこそ言はぬが心では我が全權の健鬪を祈り、その必勝を祈つてゐる▲國民の此の熱情に基づく祈りが御稜威と相まつて天佑ともなり神風ともなるのでお互ひ心を傾けて熱意を以て此の重大時局に對さなくてはならぬ▲八千萬國民の一致した此の觀察や祈りは旋かてゼネバにある我が代表の「氣力」ともなり「加護」ともなつて役立つに相違ない、國民のこの精神上の加勢が日本の如くある國と、お隣の如く一向に無い國とでは少くとも結果において相當の相違が無くては叶ふまい▲若槻の支那代表顧維鈞が先鑑を差しおいて首席代表になつたのについては次の樣な觀測がある、顧の妻君の里は[illegible]として大金持であり何時でも同樣の例があつたが今度も此の里から大金を撒散して行き、首席になつたのであらうと▲全權としての旅費や滯在費など殆ど出さぬも同じ國民政府の事だから自費で行く上に運動費や宣傳費まで持つて顧維鈞に首席として花を持たせねばならぬのは事情已むを得ないであらう、が然し一度花を持たせたのでそれで[illegible]にし後は先鑑でもノの理屈の割合に解つた顧惠慶に代らせるのではないかとも噂されてゐる。

本日府報不發行

開店大割引　三十日迄
臺灣サンゴ商會
臺北市本町二ノ一　電話四一一三番

改築移轉披露
此の度末廣町二ノ二新世界館前に移轉致し[illegible]
高倉寫眞館
元西門市場前本願寺入口　電話二八四八番

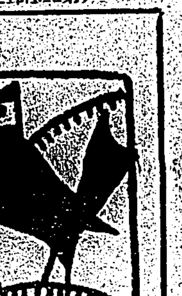
眺望絕佳
忘年會は特に勉强致します
どうぞ御用命を
北投　旭泉　電話六四番

謹告
十月三日弊四社發表の基隆直取制限噸數及手數料を來る本月二十八日入港船より左の通り改訂仕候に付此段謹告仕候
直取制限噸數　二十五噸
直取手數料　五十噸以上　無料
二十五噸以上五十噸迄　一噸ニ付　五錢
二十五噸未滿の除外品　一噸ニ付　十錢
尙詳細に就ては最寄の支店、代理店、出張所に御承合願上候
昭和七年十一月二十七日
大阪商船株式會社
近海郵船株式會社
山下汽船株式會社
辰馬汽船株式會社

內科　外科
板谷醫院
台北市榮町一ノ九　電三二五三番　入院隨意
驛前博士　板谷[illegible]

世界唯一　室內野球競技臺
新案特許第一五二〇七八號
一度競技を開始するや恰も實戰そのものの如し六尺五寸四方のグラウンドに於てホームラン、ヒツト、三壘打等最近の野球規定による正しき競技法
本店　福岡縣內　グランド商會
代理店　臺北市末廣町一ノ一七　8H商會
（カタログ進呈）

本町大チエーン賣店
何でも揃ふ　歲末の催し
いよいよ始まる
場所　臺北市本町三丁目日本生命敷地（本町大賣出し抽籤場）
―毎日餘興開催―
賣店　三十五店
期間　十二月一日より十二月末日迄



烏來蕃社行（三）

齋藤綾子さんを 蕃童教育所に訪ふ

次郎坊

臺車の棒にしがみついて生命の危險を冒すこと三時間半ウライの新しい鐵線橋は便利だめしかひどくゆれる、公共浴場に着いて漸く落ち着いた氣持になると新店溪を隔る山と谷との配合が「とてもよかつた」ことを思ひ出す餘裕が出て來た、と同時に臺北からポケットにしのばせて來た胃腸の藥も飲むのを忘れなかつた、ウライ溫泉の效果覿面で僕の胃腸が一夜にして癒りその上魚がうらんとかかつて一行の食慾を賑はしその上宿題の女の先生との會見が思ふやうにできて萬々うまくゆけば幸ひである公共浴場はウライの溫泉を我ものにするには充分な設備だ、それから溫泉がひどくいい、すつかり有頂天になつてゐると谷間のモヤがぐんぐんふくれ上つてウライの夕暮が迫つて來る、庭のばらが殊の外いい色を見せてゐる――といつたやうな奇妙にセンチな感情になる、夜はランプでラヂオもなく新聞は一日おくれ、一行案外おとなしく女中さんにほめられた程だ、但し誰やらが無毛の光頭をランプにぶつつけ翌朝「昨夜テンキとランプの衝突事件あり……」て新聞何調で報道サービスが行はれて一同ドツと笑ふ

浴場の大將は釣竿だから話せる、但しウライの釣場は時機おくれで駄目、ウライの瀧を見てから一行は蕃社に向つたが蕃童教育所の齋藤綾子先生を訪問する約束があつたのでT記者と僕は坂を下り鐵線橋を渡つて午前十一時先生の宿舍を訪れた玄關には蛇の目と下駄と靴とがきちんと整理されて出迎へた主――昭和五年九月以來二ケ年三ケ月といふもの孜々として努力し來つた理蕃事業の最先端に立つ女性に直面して僕は何よりも先づ敬意を表さなければならない

「最近臺北へ出られましたか」

「十月と三月に二回行つただけです」

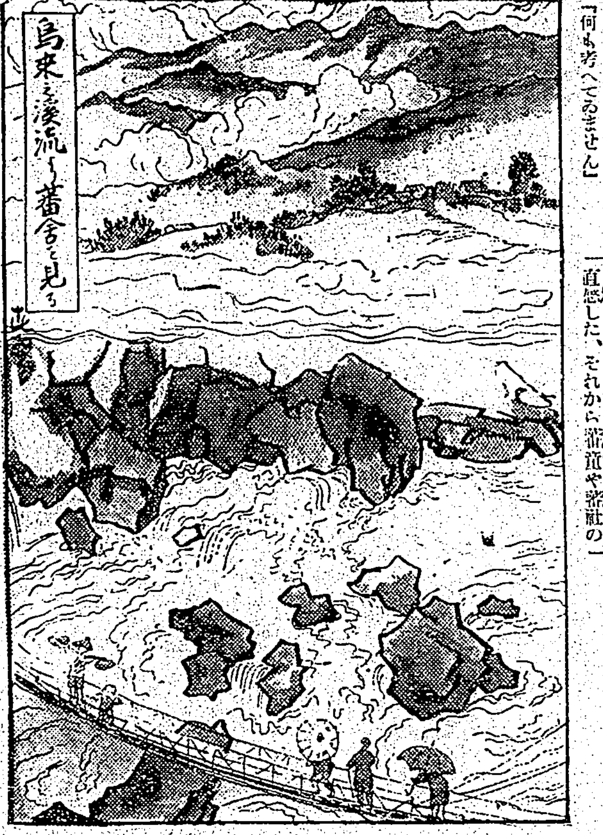
「臺北へ行き度いと思ふことはありませんか」

「別にありません」

「何時結婚なさいますか」

「何も考へてゐません」

彼女は僕の失禮な質問に一々率直に結論的な解答を與へた、僕は彼女が青春も結婚も一切を犠牲にして蕃童教育につくしてゐるのだと直感した、それから蕃童や蕃社の生活について一時間も話して貰つた、ウライの小雨がおつちりと降り出してゐる中を宿舍を辭して公共浴場に歸つた


烏來之溪流ー蕃舍を見る

今度は町委員が 消防組へ謝罪る

龍頭蛇尾の嘉義門松問題

【嘉義電話】嘉義消防組が例年取扱つてゐた新作の門松設置から上る利益を在鄉軍人會と折半しては如何と嘉義町委員が打合せをなし消防組に通じた所消防組では折半でなく全部さし上げても差支へないとアツサリ見切つた事は既報の如くであるが消防組が市より請負つてゐる八掌溪、牛稠溪の砂利採取權も失ひ今又

門松設置 の事も放棄して市より補助をうける一萬二千餘圓の後援額のみで消防の完全な活動が遂行出來るかどうか市民は頗だ憂慮してゐた次第であつた町委員の打合せでは消防組が折半を承諾するものと思つたが

全然放棄 するとの返事に意外に感じ又消防組が砂利採取權を失つた事を全然知らなかつた爲め右の折半案を提議したものであつたと云ふので二十六日夜町委員數名は更に公會堂に集合、今回の案は自分等の認識不足であつた、自分達としては消防組を窮地に陷れやうとの考へからやつたのではないので門松設置の事は元の通り

消防組に お願ひしやうと決議し二十六日朝町委員加[illegible]德十郎氏は森副組長を訪ひその旨を通じた、消防組では小野寺組長不在の爲未だ何等の返事を與へてゐないが消防組の從來の氣質上何事もなかつた以前の樣な氣前でアツサリ門松設置を承諾するものと見られてゐる

消防所移轉

【花蓮港電話】花蓮港消防所の敷地は水道事務所構に一時決定をしてゐたが同所は水道事務所現業員宿舍を移轉せねばならぬ爲め二十四日街役場に於て相談會を開いた結果米崙[illegible]地を適當と認め廳に貸下げ方を出願した

臺中州農會で 椪柑取扱者指定

販賣斡旋を行ふ

【臺中電話】臺中州農會で來る十二月一日から東京と神戸へ椪柑販賣斡旋所出張所を設け販賣斡旋事務を開始する事となつたが農會が右の販賣斡旋を取扱ふ時は內地行年末年始贈答用椪柑は殆どその全部を農會斡旋所へ注文するに至るべく、かくては從來の椪柑取扱ひ商人は殆ど失業狀態となるを虞り之が近年々

椪柑 を取扱つてゐた員林街の椪柑同業組合外八商人を農會から指定商人とし之等指定商人のうけた內地行き椪柑註文品は東京及び神戸の販賣斡旋所で配達する事となつた、價段は改良種五十斤入一籠六圓五十錢、同二十斤入二圓八十錢にして內地に於て檢査をうけたものを積入とするので右指定商人に

註文 して今年からは五十斤入は必ず五十錢先方に屆く事となり價段も前年よりも早いので今年の註文は前年より增加するであらうと豫測されてゐる

酒煙草聯合 賣出し

【花蓮港電話】花蓮港廳下酒煙草賣捌聯合賣出しの景品は總額二千四十圓、十二萬枚發行、抽籤券は一圓に一枚宛發行、特等百圓三本、五等三十錢二千四百本とし何れも昨年より小額として本數を增加した

兩營林所の 交驩野球戰

廿七日擧行

【嘉義電話】恒例の營林所臺中、嘉義兩出張所交驩野球第五回は二十七日午前十時から嘉義公園グラウンドにて行はれる事となつた、嘉義營林は四戰四敗の苦杯をなめさせられてをり必勝の意氣物凄くこの敵手の來嘉を待つてゐるが臺中營林は先般の臺中州下硬式野球決勝戰に惜敗した強チームであるから必ずや白熱せる好ゲームが見られる事であらう

鄉軍後援會設立 費寄附募集

【花蓮港電話】花蓮港廳では豫て臺灣在鄉軍人後援會設立費の寄附を募集中であつたが二十五日第一回分として打切り千八十五圓を總理部宛送付した

花蓮港街の 歲末賣出し

抽籤は七萬枚を發行

【花蓮港電話】花蓮港街聯合大賣出しは來月一日から三十一日迄歲末賣出しとして行はれるが景品總額三千六百四十圓、一等百圓、二等五十圓各七本宛とし六等十錢を五本に一本宛の割合とし小額で多く行き渡る方針をたてた、賣出し枚數七萬枚、抽籤券は賣上げ一圓に一枚宛交付する

嘉義郡の納稅 廿五日迄完納

全島に前例なき好成績

【嘉義電話】嘉義郡に於ける納稅は從來九割七、八分の成績で今一息の努力をすれば完納決して困難であるまいと郡當局は之が對策攻究の結果管內各庄助役及び會計役を召集して納稅督勵に關する打合せをなし一面之が督勵上[illegible]計畫を立てその秘策を授け又は庄に於てはこの意を體し各庄區委員會を開催して活動を促し更に豬口郡守は二十五日の納期日に於て佐野警察課長同伴自動車にて全郡下を一巡し激勵した結果郡稅[illegible]稅とも納期二十五日午後六時迄郡下全庄完納するに至つた、蓋し全島未曾有事であらう

入鹿山技師出張

【臺中電話】入鹿山臺中州技師は新高郡下頭社へ[illegible]檢査の爲二十七日から三日間出張

交驩角力

北上乘組員と 州廳築港團が

【高雄電話】二十七日高雄入港の軍艦北上乘組員と高雄州廳、築港の角力選手との交驩角力は二十八日午後一時から州廳土俵で開催すると

養母への腹癒に 幼弟を毒殺せんとす

恐ろしい企て發覺す

【臺南電話】臺南市明治町三の九八陳氏花（二〇）は廿四日午後四時頃長男陳春（三）に阿片煙灰一匁を呑ませ毒殺しかけんとしたが果さず殺人未遂として臺南署に留置された、原因は養母の陳沈氏好と折合が惡くその腹いせに子供を殺し自分もその後を追はんとしたものであると

郭朴子街助役 送別會

東石郡朴子街助役郭[illegible]氏は去る二十三日附で勇退したので街長黃媽典氏を始め役場職員一同は當役場樓上に於て郭氏の爲めに送別會を開いた、尙街長を始め主なる有志は郭氏に記念品を贈呈すべく計畫中なるが希望者は早く街長に申込まれたしと

二木博士 鹿港を視察

【臺中電話】二木博士は安達臺中州衛生課長の案內で二十六日朝彰化、鹿港方面を視察の上、午後十二時十九分臺中發新竹に向つた

安溪寮保甲 事務所落成

廿五日擧行

臺南州新營郡後壁庄安溪寮保甲聯合事務所新築落成式は二十五日正午より新築事務所に於て擧行新營郡警察課長金子內勤主任後藤田明神島營林工場長、石川後壁庄長、西本白河、小路前大浦溪巡查部長其他保甲役員有志百五十餘名臨席の下に擧行されたが、新築費千二百七十五圓同郡下一の誇るべき事務所として[illegible]區長[illegible]氏が報告を爲し嘉義郡守代表に石川庄長の祝辭があつて一時閉式後一同記念撮影し續いて祝賀宴を開き二時半盛會裡に散會したが同部落は曩にマラリア防遏作業州下唯一の優良村として表彰され今回同郡下に模範部落設置に就ても同所を指定される筈と云はれてゐる

我等の聯隊・軍旗 NO.1

軍旗祭を迎へて

臺南步兵第二聯隊寄

申すまでもなく軍旗は決して我が聯隊のみの私すべき精神であり中心であるのではない、顧みて按ずるに明治七年一月二十三日近衞步兵第一聯隊に明治天皇初めて軍旗を授け賜ふに當り、同聯隊長に

「近衞步兵第一聯隊編制成ルヲ告ク仍テ今軍旗一旒ヲ授ク汝軍人等協力同心シテ益々威武ヲ宣揚シ以テ國家ヲ保護セヨ」

との勅語を賜はつた、聯隊長謹しく奉答して曰く

「敢テ明勅ヲ奉ス臣等死力ヲ竭シ誓テ國家ヲ保護セム」

と爾來此の詞を以て軍旗拜受の奉答の詞とする事に定められ、[illegible]して此の奉答詞の選定に就いては次の樣な經緯があつたと傳へられて居る、時の陸軍卿山縣有朋公は此の軍旗授與式に臨み嚴正であらねばならぬと云ふので此の奉答詞も時の秘書官長とでも稱すべき陸軍省[illegible]秋月新太郎氏に命じ選定せしめられた、そこで同氏は

「敢テ明勅ヲ奉ス臣[illegible]死力ヲ竭シ誓テ國家ヲ保護セム」

と云ふ文句を選んで山縣公に提出した、因つて直ちに時の近衞步兵第一聯隊長[illegible]中佐、後の[illegible]周氏に[illegible]たが西氏は軍旗は聯隊長[illegible]だけではいかぬ臣[illegible]を聯ノて臣等と改むべしと申されたと云ふ、而此西周と云ふ人は當時第一の學者であつて學は和漢古今に通じ陸軍創初の諸制度の如きも此の人の立案にならざるなく山縣公と師・弟・西先生として師事し後元老院議官となり明斷を授けられた人である

[illegible]

大御心を拜し感激せぬものはなかつたと云ふ、誠に恐れ多い事であるが國民皆兵たる我國軍制の基礎正に茲に存して明らかではないか實に軍旗は國民の總てが共々に[illegible]つて國家を保護すべき團結の標神であり中心である

而も顧みに世界地圖を開いて見ると東亞の帝國本土より更に轉じて本島に及ぼせ、洋々たる太平洋の怒濤を止めて日本海、黃海をして國に帝國の內海たらしむるもの因より總延二千餘里に亙る帝國の位置が然らしめる所ではあるが南の方琉球諸島の飛石を傳ひ此の南門を扼守するは實に本島である、此の如く國防上重大なる意義を有する本島も一方[illegible]觀點を換ふれば內地との交通は遠く[illegible][illegible]

の行動半徑は一五〇〇キロに達しルソンを中心とした半徑一五〇〇キロのコンパスは本島、琉球はおろか實に九州一帶をも此の圏內に取り入れてゐる、斯く觀じ來る時國防上に於ける本島の價値と本島直接の防衛とが共に如何なる價値にありやを最も明確に認識し得ると思ふ。そこで我等は今一度[illegible]さう

來れ、帝國臣民諸子、而して我等と共に我が軍旗を仰ぎ、而して我が軍旗を通して帝國の歷史を顧み、而して又我等と共に今日の盛儀を認めむ事と

前置きが少々長くなつたが以下蛇足を分つて我等の軍旗の輝かしき歷史を記し以て此の記念日を迎へ度いと思ふ

第一　[illegible]

臺南に於て其の事務を開始す

二、當時に於ける部隊の配置は左の如くである

聯隊本部　臺南

第一大隊　臺南

第二大隊（一小隊缺）　鳳山

第二大隊の一小隊　恆春

第三大隊（一中隊缺）　花蓮港

第三大隊の一中隊　玉里

三、爾後今日に至るまでの部隊派遣の主なるものは左の通りである

（イ）明治四十年十一月一小隊を臺南より嘉義に派遣し翌年三月撤去す

（ロ）明治四十年十二月一中隊を花蓮港より臺東に派遣し今日に至る

（ハ）明治四十一年二月一中隊を鳳山より旗山に派遣し大正四年八月撤去す

（ニ）明治四十一年　月　中隊を臺南より斗[illegible]に派遣し明治四十四年十二月撤去す

（ホ）明治四十三年臺北にある第一守備隊ガオガン蕃討伐[illegible]出動せる爲め鳳山より第二大隊（二中隊缺）を臺北に派遣し同年十一月歸還す

（ヘ）大正三年九月タロコ蕃討伐後花蓮港より一中隊を[illegible]山に分遣し大正十年八月之を一小隊に改め更に昭和五年十月之を撤去す

（ト）大正十年八月ターフン事件後玉里より一小隊を同地に派遣、同年十二月撤去す

（チ）以上の隆替を經て現時に於ける部隊の配置に及んだのである

第二　軍旗の拜受

明治四十年十一月七日宮中に於て旗手軍旗を拜受し同年十二月十六日は臺南城北練兵場に於て時の總督佐久間大將臨場の許に軍旗授與の式典が擧行せられた

勅語

臺灣步兵第二聯隊ノ爲軍旗一旒ヲ授ク汝軍人等協力同心シテ益威武ヲ宣揚シ以テ帝國ヲ保護セヨ

[illegible]聯隊長奉答

敢テ明勅ヲ奉ス臣等死力ヲ竭シ誓テ帝國ヲ保護セン

見合に行つた 若者死體となる

他殺の疑ひあり取調中

廿五日午前十時半頃彰化鹿港間の[illegible]鐵橋下に男の死體が發見された郡警察課は其の報に接し即時公醫と現場へ出張し臨檢した結果彰化街南郭字南郭二八一半車挽業莊[illegible]の次男莊水葉（一九）と判明したが

死因は 他殺の嫌疑があるから其の屍番人を附して翌日檢察官の臨檢を待ち死者の實兄に就いて調べたところ去る二十二日夕飯後同村卓江河の妻王氏枝（三〇）が家に來て死者に對し「君と妹の縁談について骨折つたが母は君の人物を見た上で定めると云ふから只今一緒に行から」と云つて連れられて出た儘歸つて來ない其の後方々搜索しても王氏枝について尋ねても要領得なかつたと答へてゐる

分屯大隊

兵制記念日に射擊會

【花蓮港電話】來る二十八日は兵制六十周年記念日に當るので分屯大隊、在鄉軍人分會、官廳、民間共同の下に大射擊會を開催の豫定で準備を進めつつある

花蓮港街で 講演會オンパレード

【花蓮港電話】二十六日から花蓮港街に於ける講演會の催しは左の通り

△二十七日午後七時から公會堂で修養團理事二木博士の講演

△二十九日午後七時公會堂で江原亮助氏の「インドは如何に動くか」【混亂せる西部アジアに觸れて】

△十二月一日國際事情とリットン報告書講演の夕べとして午後六時筑紫館に於て宮下少佐高商佐藤教授の講演が夫々催される

ガソリンカーに出會し

鐵橋から飛降りて負傷

【花蓮港電話】ガソリンカー運轉はじまつて最初の怪我人が出た――北埔平林を發した急行ガソリンカーがシアカン溪鐵橋にさしかかつた際原林五五ノ一[illegible]が同所を步いてゐたが進退谷まつて鐵橋から飛下り右足首を挫折した

臺南州で 方面委員の 講習會

【臺南電話】臺南州社會事業第七回講習會は既報の如く來る廿九日から十二月二日迄[illegible]所にて開講する筈であるが講習員には臺南市の方面委員を始め各市、各郡代表の方面委員六十二名で講[illegible]

電話工夫が 感電して卽死

通行人も一時昏倒

【高雄電話】高雄州郵便局電話工夫內田[illegible]（三）は二十五日午後三時二十分頃同街[illegible]森谷男方で電話線取替工事中手に持つてゐた電線が隣家の[illegible]電氣線にふれて感電卽死、又その際附近の道路を自轉車で

通行中 であつた同街[illegible]口施水傳の自轉車が地上にたれ下つてゐた同一電線にふれてこれ亦地上に昏倒したが醫師の應急手當で程なく蘇生した

自動車人を轢く 間もなく死亡

【高雄電話】高雄自動車會社運轉手[illegible]（三）は二十五日午前十時頃岡山二層行溪間の乘合自動車を運轉して二層行溪から岡山に向ふ途中大湖派出所前方の縱貫道路で前方から步行して來た湖內庄圍子內[illegible]氏月桃と衝突し月桃は自動車の前車輪にふれて腳部を轢かれ間もなく死亡したので岡山郡では目下業務上過失致死事件として取調べ中

孔子祭典【嘉義電話】

嘉義市元町三山國王廟に於ける孔子祭典は十二月十日午前六時より執行の筈

貴金屬泥棒

臺南署で逮捕

【臺南電話】高雄州岡山郡岡山庄圍子內二二五五王大丘は十一月二十三日同所の郭[illegible]方に忍び入り貴金屬三點百五十餘圓を竊取し臺南に逃走し來てゐたのを臺南署の川田、陳兩刑事に逮捕されたが餘罪ある見込である

浮氣女房が 自宅で縊死

新竹郡舊港庄馬鳴厝四三王呂氏[illegible]（三）は到る處に情夫をこしらへていちやついてゐたが遂に夫に感付かれ大喧嘩の果て二十四日午後三時頃自宅で縊死した

臺南鄉軍で 時局講演會

【臺南電話】鄉軍臺南分會では二十七日午後七時から公會堂において時局講演會を開催するが講演者は清水軍參謀長で演題は未定であるが多數の來聽を希望すると

桃子園で

高雄市編入祝賀會を開く

【高雄電話】來る十二月一日から新に高雄市に編入される事となつた桃子園部落では十二月一日午後四時から盛大なる祝賀會を催し五時半から祝賀行列を作つて高雄市中をねり廻る計畫である

轢逃げ自轉車 犯人判明

【高雄電話】既報高雄市西子灣トンネル內で野球見物歸りの臺南市[illegible]町潘[illegible]を轢き倒して治療七週間の重傷を負はせた加害自轉車についてはその後高雄署で調査中の所加害者は市內三塊厝東洋製罐職工石[illegible]（二）である事が本人の自首によつて判明目下取調べ中

當選論文の 懸賞金寄附

【嘉義電話】嘉義市嘉義懸賞論文に二等に當選した東門公學校長岸達躬氏は賞金五十圓全部を市社會事業中の兒童保護事業基金に寄附した

基隆郡の 農事視察團

基隆郡視察團十五名は十一月三十日午前九時五十四分桃園着大園庄の業佃事業狀況、中壢郡平鎮庄にて優良小作人[illegible]氏の農業經營に愛佃施設狀況、新竹郡湖口庄の[illegible]愛佃施設、苗栗街業佃會事業施設狀況、新竹郡湖口庄優良業主柯友家氏の愛佃施設等を視察し十二月三日午後二時四十三分基隆に歸ると

新竹州學校 美術展講評

新竹州學校美術展は回を重ねる事五回本年は數を減らして本統にいいものばかり集めたので見劣りする樣な作品が一つもない、全く洗練された作品を見せて來た、小原審查員の講評に曰く

兒童 の作品は一般の[illegible]を見せ何れを見てもスラ〳〵して技巧的なところがない、構想など極手近な所から頗る面白いものをとつてゐる、殊に色の調子は從來クレオンの缺點だと思はれてゐた下品な色がなく氣持のシツクリした色調であるが二三氣付いた點を述べて見ると水彩畫に顏料としたものがほしい、クレオンから水彩畫に移る間の感じがうまく行かない材料の工夫に就ても一段の努力がほしい最一つ我々は東洋人獨特のいい所を持つてゐるのであるから徒らに西洋畫の模倣をしてはいけない、學校美術は藝術品を作るのでない教育畫を畫くのであるから實的感念を表現する樣心がけたい、さうすることが學校美術の目的を生かす事となる、次に

職員（中等學校も同樣）の作品は一般に比して[illegible]いいものと惡いものとの差がなくなつた全く揃つた出來榮えで甲乙がつけにくい、一般に技巧を超越し眞劍な研究の結果が表はれてゐる、色彩の效果が深い樣に思つたが畫面の上に働く效果は調子に依つて表はされるものであり明暗の調子がピタ〳〵合つて[illegible]に[illegible]の上に表はしたい、構圖に就ては自然の感動から出發して作り上げた人の作品を見てから云ふものを作つて見樣と云ふ樣な事ではいけない、學校美術であるから水彩畫、油畫ばかりでなく教育に價値のあるものなら木炭畫でも何んでも出品されたい大體の意見は以上の通りであるが地方的にこれ位な盛大な學校美術展覽會はないと思ふと

貧故に縊死

東石郡朴子街朴子二三二番地黃飛の妻黃林氏[illegible]（三）は去る二十四日夜自宅裏部屋にて縊死自殺を遂げたことを翌朝家人に發見された、因みに同人は赤貧洗ふが如くその上病弱にしてそれを苦にしたと云はれてゐる

竹東 產業打合會

竹東郡にては州の產業五ケ年計畫に基き管內の實情に照らし二十四日各庄技術員を招集し內容の說明を爲し二十八日更に各庄長、助役を召致協議を行ふ筈であるが當日は州から郡內務部長臨席の筈

包種茶五峰 竹東郡北埔庄姜瑞昌氏は曩に自營の工場に於て苦心大[illegible]を用ゐ獨特の包種茶を製造「蘭の香」「桂の花」などと呼ばれ好評を博してゐるが更に今回竹東庄茶葉[illegible]阿[illegible]君は獨特の包種茶を作り勸業課に鑑定を求めた所之亦好評を博し向二十餘斤を共同販賣所に送付批判を求めてゐるが茶業商で歡迎すれば來春各工場で一齊に講習會を催し新設せらるべき聯合會を通じ大々的に販出を試みる由、右包種茶は支那茶鐵觀音の外觀香味等を基礎として案出されたもので講習會申込みの箇所等もある狀況であると、因みに竹東庄にては五指山に因み五峰と命名した

業主懇談會 寶山庄にては二十一日管內の業主五十名を召集し郡[illegible]出席の下に業主懇談會を開催し業佃事業の振興に關し協議を行つた

新竹

幼兒重傷 新竹郡關西庄店子岡五五番臺車後押し人夫呂大[illegible]（二）は二十三日午後一時二十分木材を滿載して新埔から關西に赴く途中石岡子二五九番林武方店先にて同二二〇番地の孫樹[illegible]（二）を轢き倒し頭部に重傷を與へた

樹木で壓死 大湖郡[illegible]地サーアン社四三徐華山（三）は十八日午後二時半頃自宅附近森林中にて樹木を伐採中倒木の下敷きとなり壓死した

木から墜落 大湖郡卓蘭庄卓蘭一二四番黃[illegible]（二）は十八日午前十一時頃三丈餘の茄苳樹から墜落間もなく死亡した

埤圳に墜落 新竹市水田六七石維榕次男石[illegible]（二）は十七日午前十時半埤圳に落ち込み溺死した

萬なかだち

求職一件一回　金貳拾錢
其他　一回　一行　金七拾錢
[illegible]　名　倍　額

女給數名 至急面談の上採用 臺北市榮町一 電一六九八 カフエー南國

女中入用 經驗のある方 臺北市本町 電一八四 太陽館

見習店員 工業學校土木科出身廿五才迄の者 東門町六條 合資會社 古賀組

恩給 利一分より長期同時立替 短期も歡迎 御相談 電三六二六 合資會社 三成社

下宿屋 讓る 場所好く設備完全 錦町一の二二 一町北 共生病院

貸住宅 新築一戶建 [illegible] 家賃格安 高等學校裏 [illegible]

貸地 高校裏東門 [illegible]坪 [illegible] 住宅組合 大澤

淋病 治療と性病豫防に絶對權威 プラオンキン ゲンゴール

本劑は、前東京吉原病院長佐藤[illegible]先生が十餘年間多數の患者に實驗研究して、完成發表せられたる新劑にして、既に多數專門家の臨床實驗によれば、治淋劑としての最良要點たる[illegible]三作用の效速的にして、治療期間を極端に短縮し得たる點は、絶對に他類の追隨を許さざる處とす。而も殺菌力最も强烈にして〇、五乃至〇、八瓦（即ち尿道粘膜に撒布する程度）の稀少量にて、使用一回每にその效果[illegible]顯はれ、[illegible]の如く[illegible]と共に淋菌を後部に送入する憂なく、[illegible]を起す如き怖れは絶對になく、反つて之等を豫防し得る作用は[illegible]。尙は本劑は性病豫防として使用するも、前記の如く殺菌力强烈にして事後數時間後の使用と雖も其の作用は絶對を期し得るものなり。

權威ある博士が淋疾患者の是非心得て置く可き自宅療法について必要な知識、日常の手當、養生等を親切に書かれた「淋疾と其の治療」[illegible]無代進呈しますから至急ハガキにて直接發賣元へ御申込み下さい。

定價 二〇瓦入（約五日分）三円六十錢 五〇瓦入（約十日分）七円 八〇瓦入（約二十日分）十円

東京市芝區三田四國町 電話三田一六八八 一六八六 日東藥化學研究所

全國有名藥店にて販賣す

頭痛・齒痛にトランシン

ラヂオの御仕入は是非 東京で一番安く確實なる弊店を御利用下さい

同業者に限り卸商報進呈

ラヂオと電機器具卸問屋 東京四谷新宿一ノ六〇 聯合電機商會 電話四谷二六四六番 振替東京六一七四八番

月経 醫學博士八木先生考案 緒方病院長緒方先生 有効御證明

最新强力流經劑 サンガー

月やく滯り 御心配の御婦人方よ！

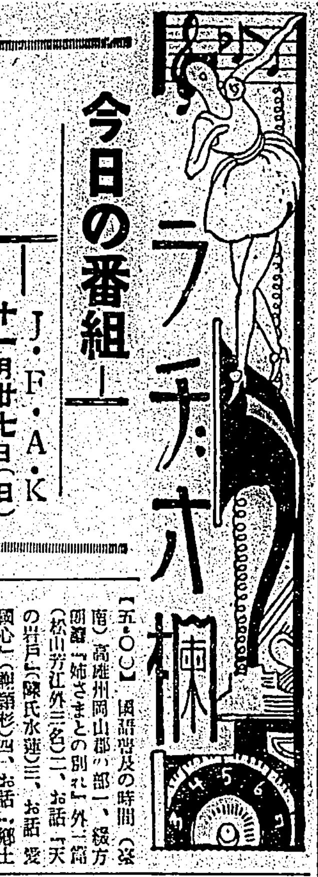
[illegible]

本舗 京都市山の內七十一番地 眞生園

公認 東京寫眞學校 學則送呈 東京品川驛前

日本一の菓子 グリコ 運動に 勉強に

陸海軍 少年航空兵志願 軍人・航空兵を志す諸君へ 今すぐハガキで申込め 東京市神田區 [illegible] 教育會出版部



今日の番組
J・F・A・K　十一月廿七日(日)

午前の部

【八・〇〇】全國氣象通報(東京)▽今日のお天氣のお知らせ▽臺北近郊今朝のお天氣のお知らせ(臺北のみ)臺北測候所發表▽家庭料理獻立▽御飯、支那燒飯▽燒、結び飽子、椎茸、三葉の清汁

【一〇・〇〇】軍旗祭式典實況臺北市步兵第一聯隊營庭より中繼

【一一・五九】正午の時報▽氣象通報(臺北のみ)臺北測候所發表▽放送局編輯ニュース

午後の部

【〇・二〇】晝間娛樂時間(レコード演奏)獨唱一、シューベルトの子守唄(内藤濯譯詞)二、小夜歌(シューベルト作曲、妹尾幸陽譯詞)藤原義江三、草刈唄(日本古謠、藤井清水作曲)四、籾摺唄(同右)荻野綾子五、クラベリトス(西班牙歌曲より)六、エストレリータ(同右)關屋敏子七、わが夢わが歌(ジョルダーニ作曲堀内敬三譯詞)八、啞鶉笛(鹿島鳴秋作詞、弘田龍太郎作曲)喜波貞子

【一・〇〇】氣象通報(臺南のみ)臺南測候所發表

【一・二〇】運動競技(東京)蹴球フットボール試合狀況明治神宮外苑競技場より

夜間の部

【五・〇〇】國語普及の時間(臺南)高雄州岡山郡の部一、綴方朗讀『姉さまとの別れ』外二篇(松山芳江外三名)二、お話『天の岩戸』(陳氏水蓮)三、お話『愛國心』(謝錦杉)四、お話『鄕土紹介』(蘇辛湙)五、お話『我が靑年團の使命』(陳萬興)六、お話『我が庄の國語講習所に就いて』(洪氏仙女)七、お話『私達の仁愛會』(廖氏蕊)八、獨唱『鈴の音』(鈴木光子)九、獨唱『カラクリ』『猿と殿樣』(邢氏瑞英)一〇、齊唱『げんげ草』(河原照子外四名)一一、合唱『ダリヤはなぜ赤い』『夕燒け』(陳氏秀英)

【六・〇〇】子供の時間(臺北)JFAK子供新聞JFAK子供係發表

【六・三〇】ピアノ解釋講座(大阪)第八回、リストの作品演奏マキシム・シャピロ、解釋山田耕作一、練習曲(演奏會用)イ、變ニ長調ロ、ヘ短調二、カムパネラ三、ペトラルカのソネット四、グノメンライゲン五、ポロネーズ、ホ長調

【七・三〇】臺灣講古(臺北のみ)『嶺南逸史』[illegible]

【七・三〇】臺灣音樂(臺南のみ)『尾曲』『南池會』鄭泉、邢波、伴奏和稚軒樂師

【八・〇〇】管絃樂JFAK管絃樂團、指揮一條眞三郎一、我が心汝がうまし聲と共に(サン・サーンス作曲)二、歌劇『黃金の王笏』序曲(シュレッペグレル作曲)三、圓舞曲『波を越えて』(ローザス作曲)四、黑坊のパトロール(ランシング作曲)

【八・三〇】浪花節(蜂ブドー酒レッキス本舖近藤利兵衞商店提供)『題未定』敷島大藏

【九・〇〇】連續浪花節(蜂ブドー酒レッキス本舖近藤利兵衞商店提供)『題未定』第一席敷島大藏

【九・二〇】時報、氣象通報、臺北測候所發表、臺日ニュース(臺北のみ)放送局編輯ニュース(臺北のみ)臺南新報ニュース(臺南のみ)公示事項、明日のプログラム發表

軍旗祭の中繼（臺北）
【午前十時より】

軍旗祭式典實況
——臺北步兵第一聯隊營庭より中繼——

今日二十七日は臺灣步兵第一聯隊の軍旗祭で、營庭に於て盛大に催されるので、放送局ではマイクロフォンを同營庭に移動せしめて、此の盛典を現場から中繼する、擔當アナウンサーは西山氏であるが式典の順序は次の通りである

一、全員整列
二、聯隊長出場
三、來賓出場
四、軍旗奉迎
五、勅語奉讀
六、奉答文
七、祝辭
八、分列
九、國歌合唱
十、軍旗奉送

東都浪界の重鎭
敷島大藏を招聘
FJAK特別サービス
今晩から六日間の放送

臨時放送による特別サービスとして、一般に最も人氣のある浪花節を招聘する事になつて、現在浪界に於て關東派の重鎭として最も確固たる人氣を把持してゐる敷島大藏師が來臺する事となつた同師は以前早川辰平と云つてゐた廿四、五、六と三日間東京より放送された連續浪花節の早川辰平は二代目で、以前は小辰平と云つて敷島大藏の秘藏弟子で、その跡を嗣いだのである、敷島大藏師は約二十年程前に一度來臺した事があり、當時既に如何に人氣があつたかは古い浪曲ファンには記憶されてゐる事であらう、敷島大藏師の放送は六日間で、毎日讀み切り一席と連續物の二つである

浪花節（臺北）
【午後八時三十分】
(蜂ブドー酒レッキス本舖近藤利兵衞商店提供)

題未定　敷島大藏

連續浪花節（臺北）
【午後九時より】
(蜂ブドー酒レッキス本舖近藤利兵衞商店提供)

題未定　敷島大藏

晝間娛樂時間（臺北）
【午後零時二十分】

▲獨唱

一、シューベルトの子守唄（内藤濯譯詞）　藤原義江

ねむれ　ねむれ　母の胸に
ねむれ　ねむれ　母の手に
心よき　歌聲に　結ばずや　樂し夢
ねむれ　ねむれ　母の胸に
ねむれ　ねむれ　母の手に
溫かきその袖に
包まれて　ねむれやよ
ねむれ　ねむれ　可愛わが子
ひと夜ねて　さめて見よ
紅の薔薇の花　開くぞや枕べに

二、小夜歌（シューベルト作曲 妹尾幸陽譯詞）　藤原義江

なれを呼ぶ聲の　うたきかずや
美はしきその聲は　わが胸の
思の糸を斷るらん　斷るらん
するどき聲ぞ戀人の　心とかす
聽けわが歌を　わが歌を
悶えてわれ待つ　來てたもよ
來てたもよ　愛もて

三、草刈唄（日本古謠 藤井清水作曲）　荻野綾子

刈りや　刈りやんせヨ
がんがら山よ　ヨーエ
どうせ藤井はヨ　見えやせぬ
（以下略）

四、籾摺唄（日本古謠 藤井清水作曲）　荻野綾子

山さ森との　あの家か見えぬヨ
あの家可愛いや　山憎くや
ヨーイヨーイ　ヨーイヨーイ
思ふかよへばヨ　千里が一里ヨ
あはず戻れば　また千里
ヨーイヨーイ　ヨーイヨーイ

五、クラベリトス（西班牙歌曲）
六、エストレリータ（西班牙歌曲）　關屋敏子

此の二曲共關屋敏子さんが米國で吹込まれたもの、伴奏はナタリエ・シルクレットの指揮するサロン管絃樂隊で、共に原詞でうたはれる。（歌詞略）

七、わが夢わが歌（カロ・ミオ・ベン）（ジョルダーニ作曲 堀内敬三譯詞）　喜波貞子

わが夢わが歌　それは君をひとり
君こそ　つきせぬ愛の泉
淋しき此の胸　こよなき慰め
暗夜に　見出でし光よ
わが夢わが歌　それは君をひとり
心に抱きて　とこしへに放たじ

八、啞鶉笛（鹿島鳴秋作詞 弘田龍太郎作曲）　喜波貞子

歌もうたはず　啞の鶉笛
徑から徑を　いつたりきたり
お[illegible]のに　日が暮かかる
夕、すんだ　お山の道で
笛をひろつた　啞の鶉笛
ふけば鳴る音が　涙にぬれる

JFAK子供新聞
臺灣で成績のいい蠶の野外飼育
——臺北——【午後六時より】——
その他ニュースいろいろ
JFAK子供係發表

お待ち兼ねの子供新聞です、順序はまだきまつてゐませんが、次の樣なお話があります

新潟醫科大學の西部博士は有名な恙蟲の研究家ですが、まだ四十一歲の若さで、自分の研究の恙蟲の爲めに命を取られて尊い犧牲となりました、恩給局ではまだ恩給年限に達してゐませんが、研究の爲の尊い犧牲は戰死と同樣の待遇をする事になりました、その他、高松宮殿下が再び海上生活を遊ばさるるお話、盲啞校の生徒さん達が動物園を訪ねたお話、有名なヴァイオリニストのシゲッティ氏の來朝のお話、臺灣では蠶の野外飼育の成績が非常にいいといふ樣なお話など澤山御座います

ピアノ解釋講座（大阪）
【午後六時三十分】
＝第八回　リストの作品＝

演奏　マキシム・シャピロ
解釋　山田耕作

JOBKの一年計畫のピアノ解釋講座の第八回である、作品は歷史順で、既に放送されたものは、第一回はクープラン、ラモー、スカルラッティ、第二回はヘンデルとバッハ、第三回はハイドンとモーツァルト、第四回はベートーヴェン、第五回はメンデルスゾーンとシューベルト、第六回はシューマン、前回はショパン、今回はリストの作品である

なほ演奏者シャピロ氏は一八九九年、露西亞に生れた音樂家で、七歲から音樂教育を受け、初めサラトウ音樂學校でスリヴインスキー氏に、次に十六歲の時モスクワ音樂院でニコライ・メドネル氏の指導を受け、卒業の時に金メダルを授與された。日本に初めて來朝したのは一九二七年であつた、

今晩のリストの作品は次の通りである

一、練習曲（演奏會用）
　イ、變ニ長調
　ロ、ヘ短調
二、カムパネラ
三、ペトラルカのソネット
四、グノメンライゲン
五、ポロネーズ、ホ長調

國語普及の時間
【午後五時より】（臺南）

▼高雄州岡山郡の部

今日の國語普及の時間は、臺南局よりのもので、高雄州岡山郡の部で次の團體が放送する

岡山小學校
岡山公學校
岡山靑年團
前峯女子靑年團
仁壽國語講習所
[illegible]女子靑年團

いかにして難症ぢ疾を徹底的に解決する？　とふ　まず本書を一讀せよ!!

ぢ疾の研究と自宅療法

痔疾單獨療法の公開
百方手を盡してナゼ痔疾が治らぬか？
間違つた手當や平凡な藥でぢは治らぬ

一讀回春の光明を指示するもの

痔疾は全人類の三分の一を冒す怖るべき難症・その死亡率は結核に次ぐ・本書は痔疾の攝生・手當・治療法の一切を平明懇切に詳述せるもの。

僞りなき同病者の闘病體驗記★眞に得難き唯一の痔疾治療讀本

速刻讀め道は近きにあり
四六版※七十頁の美册子

無代頒布

痔疾が治らぬ場合

痔疾を五年十年と持餘してゐる人を調べて見ると、多くは衞生手當を誤つて居り、又は平凡な效果不充分の藥で滿足してゐる、間違だらけの手當や效かぬ藥をいくら試しても痔疾が治る筈はなく、むしろかうして次第に取返しのつかぬ結果に導くばかりである。

痔疾藥の絕對的條件は何か

痔疾と一口に言つても痔核、裂痔、痔出血、脫肛、痔瘻など種類が多くその治療藥も嚴重な選擇が必要である、藥の選擇は常に理論と實際の兩方面よりなすべきで理論的には痛みを止める作用、出血を止める力・吸收、防腐、殺菌、保溫、消炎の作用が必要であり、且最も重要なものは組織新生を助ける力である、世間にある幾百種の痔疾藥の多くはこの作用を缺くが故に根本的に痔疾を治すに足らぬのである。

理論よりも實效が第一なり

また實際的な方面ではその藥がどれだけ患者に愛用されたか、そしてどれだけの效果をあげたか、つまり藥物的な歷史と信用である。最近續出してゐる得體の知れない痔疾藥などは巧妙な理屈を並べてゐても實際に用ひてサッパリ效目が見られないといふ悲劇を見ないとも限らないから注意せねばならぬ。

實效と信用に輝く痔疾良藥

要するに實效第一信用第一の藥を選ぶことで、且組織新生作用を持つものが絕對條件である、かうした絕對的な批判を以て最も適當であり信用に値ひするものは古くからある「小松ぢの藥」で、この藥は理論と實際の兩方面に於て非常に優秀であることは衆目の見る處である。

小松ぢの藥の主成分は一種獨自のもので怖るべき難症痔疾の苦惱を消散せしむる藥作用抜群にして、創製以來既に數十年痔疾患者の間に最も好評を以つて迎へられ來つたものである。

（全國藥店にて小松ぢの藥とお指名お求め下さい）

ぢ疾に惱める方は卽刻ハガキにて左記宛申込まれよ!! 前記療法書無代にて送呈す、郵稅は無用、一枚のハガキは克く貴下を病苦より救ふ因とならん。

申込先
東京市日本橋區本町一丁目九番地
玉置合名會社頒布係
電話ならば日本橋四〇五八番へ

顏面と　肌膚と　毛髮の
◎ミツワ石鹼

御歲暮の御贈答に

は每度、御用命を賜り忝く御厚禮申上げます。當年もまた御歲暮の御進物用として不相變御註文の程を偏へに希ひ上げます。

◎ミツワ石鹼御進物用大形は、三個函入、半打函入、一打函入の三種がございます。從つて御贈答用としては三個函入包、半打函入包、一打函入包の各種が有ります。

◎ミツワ石鹼は、何處の取次店でも特に勉強して取扱つて居りますが、萬一御近所で賣切等の節は、本舖へお電話なりお葉書なりで御一報を願ひます。

ミツワ石鹼
サーワ白粉
發賣元
東京・兩國（日本橋區米澤町）
◎丸見屋商店
電話浪花(67)代表[illegible]
振替東京七一〇番・電略〇ミヤ

（御用大形三個入包・半打函入包・一打函入包寫眞）

K.23

食中毒にダイモール（常備必携）
（說明書贈呈）
東京日本橋區岩附町
株式會社鳥居商店

一瓶つけたら鏡を御覽ん
殺菌
吹出物根治
眞に色白くなる
ニキビ・ソバカス
皮膚漂白料
ミトセ漂白素
男子の方の髯剃後になくてはならぬ
ミトセ海綿白粉
ミトセ石鹼
本舖 株式會社 池田化學研究所謹製
全國有名化粧品店・百貨店・藥店にあり

セキトメ
ボンボン
うまくて　よくきく　咳止のお菓子
各地藥店にあり
株式會社和光堂　東京・大阪
B—12

効果百%
專賣特許
淋病內服新藥 ネトリコン
遠藤醫學博士 中西市井醫學博士實驗推獎
全國藥店ニアリ
咳喘息新藥 オポスタン
常久・西下・川村醫學博士實驗推獎
大阪市東成區大今里町三〇九
小林藥學試驗所

自力更生の手本となる
旭村の勤儉力行ぶり
十七年の苦節漸く酬いられる
東臺灣旅記……一〇

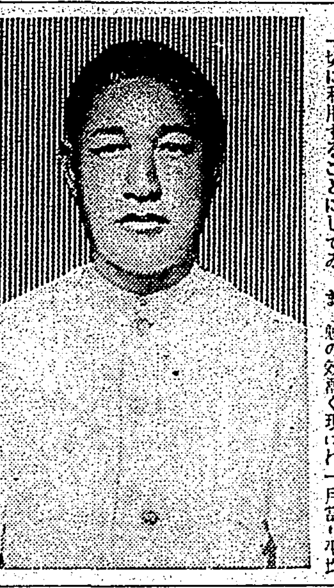
内地人農業移民の成績は花蓮港の官營移民でさへあんなんだから他は推して知るべしで東部の移民村といへば顔しかめねばならんやうな現狀に於て唯一つのこれは愉快な自力更生のモデルがある——それは臺東街附近の旭村住民の勤儉力行ぶりである

◇

旭村は臺東街から西南へ一里半のところにあり大正五年臺東開拓の手で新潟縣中頸城郡から來た僅か二十三、四戸、人口百五十位の小部落であるが、甘蔗を主作として甘藷その他を耕作してゐる、移住三年目に大暴風にあはれ全滅の厄に遭ひ辛くも復興されたが蔗園の便悪きため甘蔗の如き甲當五萬斤位しかとれず官營移民と違ひ親方は私營の會社であり而も肝腎の開拓會社が一進も三進も行かなくなり後を繼承した臺東製糖も作つた甘蔗を買上て呉る位で又すがりつくわけにゆかず結局自ら助けねば助けて呉る者は無いといふ立場に發奮して勤儉力行の人田村耕一郎氏を中心に全村民が心を合はし青年團、處女團を組織さし極力之れを盛立てて何事も青年處女を先頭として村民の生活樣式の改善、勤儉力行による經濟の建直しに必死努力した

◇

村の申合せの一例を擧げると元氣がないと何をやつても駄目といふので朝夕ラッパの號令が村中に響く——即ち朝は四時起床五時半野良へ出發（共同耕作地を持つ）夜は十時になると消燈ラッパで必ず就寢するといふ工合に始めは揃はなかつたが今は老も若きも起居が軍隊のやうに而も嬉々として行動し全く我々の眼には奇異に感ずる程である



今一つ面白いことは村の中程に立派な青年會館がある、これは青年たちが共同耕作による五ヶ年間の積立金を村が四千何百圓かをかけて建築したもので、これについて村長格の田村氏は云ふ

『全く二十何軒の貧乏村には過ぎたものですが兎角若い者は事にふれ内地に歸りたがり都會地に飛出したがるので彼らの尻を落ちつけるため思切つて金かけたもので青年及び村全體の娛樂修養等の集會用、冠婚葬祭一切に利用することにしてゐます又月一度は毎月十日を公休日として會館に集合し村改善のため夫々意見の發表をやりますが結婚の如き冗費節約のため所屬のことは一切云はさず村獨特の申合せとし雙方からは金三十圓だけを出しその他の各戸（全村で二十三戸）からは一圓宛を祝儀として出しこの計五十三圓で酒は兎角料理は一切手料理ときめ村全戸を招待して頗る安く而も盛大にやつてゐます云々』

◇

而して今村の經濟は協力一致勤勉の效漸く現はれ一戸當り平均六甲七、八分を耕し甘蔗も一甲平均收入一戸一千六百圓位取れる樣になり年平均の負債現況は會社への負債七千五百圓、信用組合から二千五百圓、計約一萬圓であるに對し財産としては牛一百頭一萬二千圓（一頭六十圓として）銀行及信組への預金五千圓、他に村民の所有に歸してゐる田畑が約十甲あり、一甲四百圓としても四千圓なればこの計二萬一千圓即ち村の負債を決濟すれば早くも一萬圓以上の黑字を出しをり一戸平均五百圓の富をつくり過去十有七年間の苦心漸く酬いられて村民の經濟、自力で更生なり農耕の一頭牛をどし／＼繁殖させてこれを賣ることにより土地を手に入れる方針であるとの事であり、又會社が從來基礎を固まるまでと繼續されてゐた農耕も撤ひ契約による土地分讓の年賦金も償還を始めやうといふ意氣込で前途の光明に喜び勇んで居る（寫眞は旭村の指導者田村耕太郎君）

不買同盟等から
硫安俄然反落
思惑問屋筋には大痛棒

【大阪二十六日發、社特電】當局から再三戒告を受け乍ら蓬萊の砂糖會社の買付けと問屋の思惑買進みに狂騰した硫安は、地方の不買同盟と買物一段落とにより兩三日來益々反動的商狀となり二十五日夕は遂に一月物三圓六十五錢と高値から廿五錢方の暴落を示すに至つた、茲において十一月より一月物に對して主力を注いだ思惑問屋筋は暫く狼狽氣味と變じた、二十五日夕景の下落は前記理由が多分に原因してゐるが、現在地方の手當では不買同盟が成立したと同時に大體終了してゐるのでこれら思惑品の消化は容易でない、從つて目先硫安相場は少くとも三圓（頃八十四見當）迄は反落するものと豫想され思惑問屋筋には大痛棒の形である

農家に力が出來
丸糯は産地逆鞘
蓬萊米は案外手堅い

二期丸糯は東京筋買湖戻の爲め茲許入肚薄となり期米安の爲め正市の商内も細つて來た内地筋は沖の相場が八圓三十錢どころなら買氣あるも正市は八圓五、六錢を往來し内地に比し十五、六錢方逆鞘を示してゐる、之れ豐收と米高で産地農家に力が出來高値見越しに賣り惜んでゐるのと移出商が契約品に充當すべく現物を買ふからである、二十六日代前夜來の降雨で目先の出廻りを懸念し弱氣も突込みを警戒し買氣迄の割に相場も下げ澁つてゐた二十五日迄の丸糯移出は二十四萬二千九十袋に達し二十六日朝の基隆在庫八萬四千袋であるが、去二十一日基隆入港の辰馬汽船辰羽丸が十四萬四千袋を積込み月末出帆する筈であるから本月中の移出は四十萬袋に上る形勢で引續き來月上旬に十日限と年内限が早滯みさるる關係から十二月中旬以後の相場は内地荷先がでドンた安値が出るかも知れぬ、弱氣的に解する向が多い、蓬萊米は期米安にも鈍感で高値より僅に十丁餘り下げたに過ぎないが實は産地が丸糯賣りを先にし蓬萊を後廻しにしてゐる關係の外に内地の正米筋が期米賣りの身代りに蓬萊買を繫けてゐるのと内地に蓬萊の大口ハタ賣りが殺つてゐる爲めで内地神波中部産七圓七十五錢、北部産七圓六十五錢は一石當り十九圓二、三十錢に相當し期米當限と僅か三圓二、三十錢の開きに過ぎないので如何にも買妙味は乏しいがそれでも弗々賣れて行くから妙であると云はれてゐる

貯金が多いので
融資にも飛付かぬ
臺南市補償融資申込
豫定額に達せず

臺南市補償の小額融資の貸出はその後各信用組合に於て各組合員の希望に應じて貸出を行つてゐるが各組合で査定額が豫定の二十萬圓に達してゐないので新規の融資申込に應ずる用意もあり西市場内質店改築をはじめその申込に依り結局豫定額に達する見込であるが各信用組合昨今の模樣から見ると貸出額も増加してゐるが貯金も亦増加して銀行に預金せる遊金が各組合共に相當額に達してゐるので豐富り勸銀の低資借入を行はず銀行預金を融資の貸出に充てゐる狀態である組合の貯金が增加したのには金の騰つた關係で本島人を主とせる組合では裝身具を賣却したもの株價の高騰に持株を處分して現金に替へたものなどが貯金となつたもので比較小出資の各商業者貿易興農組合ですら四萬圓以上の遊金を有つてゐる狀態で貯金日歩一錢八厘定期二錢一厘九毛といふ比較的高利の貯金を二錢五厘の日歩で小額低資に流用してゐる位であるから他の組合に於ても同樣銀行預金を差當り流用してゐるが、從つて明春の一般金融狀態が依然として貯金增加の傾向を辿つた場合には勸銀の融資を急ぐ必要がないことになるので各組合側では割合に落着いてゐるから此の狀態で越年するであらうと觀られてゐる

新竹州第二回
豆粕購買入札

新竹州農會では明年一期作用豆粕の半分を去る四日購入したが殘りの半分十四萬六千八百九十七枚を二十九日午後一時半購買入札に付する由

島内保險
契約現況

總督府商工課調査、本島における生命保險の八月末現在契約高は九萬九百件、一億四千九十二萬五千三百四十三圓で前月に比し千十三件、百二十九萬六千七百七十七圓の増加であるがこれを前年同月に比すれば七千九百七十三件、千三百九十三萬二千四百一圓の增加である、又八月末現在傷害保險の契約高は五十二件、十五萬千八百圓前月に比し十五件、二萬千八百圓の増加となり前年同月に比すれば十二件、八萬八千五百圓の増加を示した、次に火災保險の八月末現在契約高は四萬四千百二十六件、二億九千八萬七千七百十一圓で前月に比べ四百九十六件の増加、三百九十五萬八千九百七十五圓の減少である、更に前年同月に比すれば千八百七十九件の增加、百十六萬三千七百四十九圓の減少となつた、尙外國火災保險の八月末現在契約高は百五十四件、六十九萬六千九百九十六圓で前月に比し十件四萬三千五百圓の增加で前年同月に比すれば四十件、七萬三百四十五圓の增加である

電力外債救濟は
個々の實情に基き

【大阪二十六日發本社特電】電力外債對策委員會は二十五日東京銀行集會所に開會日電を除く四社代表の外牧野次官出席し松永東邦社長より大藏遞信兩省へ陳情したる經過を報告し外債問題の具體的對策準備及實行方法につき意見を交換大藏省より要求の外債對策の具體的資料は確實と見て材料を取まとめる事とし當日最も話題の中心となつた社債買入れ資金問題は

（イ）減配

（ロ）所有有價證券の賣却

（ハ）關係會社への貸金整理

（ニ）優先株發行

等種々あり又外債問題根本解決に伴ふ會社信用の安定に對し新規資金の供給も必ずしも期待出來ぬ事はないが、結局個々の實情に基き決定される事であらう

新高製糖の
八、九年期作付增加
嘉義工場の改善目覺まし

新高製糖の八、九年期蔗園は十月迄に植付濟彰化工場一千百十八甲嘉義工場二千三百二十一甲計三千四百三十九甲にして十一月以降の

植付見込　彰化工場二百三十七甲、嘉義工場三百四十六甲、計五百八十三甲である、結局八、九年期の總植付面積四千廿二甲に上るべく七、八年期の採取面積二千四百七十五甲に比すれば實に一千五百四十七甲の增加である同社は過剩糖を外國に輸出せずして全部棚上げしたので七、八年期の產糖を特に制限したのであるが八、九年期の產糖は彰化で二十萬擔嘉義で四十萬擔、合計六十萬擔を目標として作付獎勵をなしつつあるので今後の植付さへ豫定通り運べば右の目標に達することは

案外容易　である、殊に彰化には二つの工場あるも原料二億斤乃至二十四、五萬擔までは一工場だけ動かせば足るので八、九年期も引續き一工場を休止し他の一工場だけ運轉すれば足るべく比較的經濟的な作業が出來るわけである尙嘉義工場は看天田の六、七月植に成功して蔗作の劃期的大增收を告げたると山手方面の早植蔗園が步留特に優良な爲め產糖高は工場能力より遙に超過し自然に放任せば五十萬擔も生產し得る位の原料を樂に得らるる形勢であるが、それでは能力に不足するので殊更に作付を抑制するの餘儀なき狀態にあり

甲當收量　は六、七年期の十四萬五千斤に對し八、九年期は十三萬五千斤と稍低下し居るも明治の烏樹林及總の經理に次で明治の南靖と殆ど互角の勢を示しつつあるは注目すべきで往年看天田で甲當二萬斤よりとれなかつたところで現在十五萬斤を收穫し得るまでに進んで來たことは驚くべき進步であり從つて蔗農も今では大に蔗作に興味を覺え益々蔗作にいそしむやうになつて來た、因に同工場は田路市郎治氏が工場長で山本岩男氏が農務係長であるが過般大株主の移動と共に取締役兼彰化工場長の松井勇郎氏が辭任したので田路市郎治氏が彰化工場長を兼務し專ら彰化にあつて嘉義工場に往復することになつてゐる

上海金票市況
新高値に躍進

【上海二十六日發東通】本日金票市況は今朝更に新高値に躍進し七百七十九兩と前日に比し一氣に十兩方入騰し午前引値は七百八十一兩九匁で引けた

大稻埕茶況

大稻埕の茶況に關し茶商公會共同販賣所の調査によれば本島の茶況は時季愈よ冬茶期に達し出廻著しく減退したがウーロン茶は貿易筋が依然見送り商狀で取引銷沈である然し荷主側では最終期に於けるスタンダードの取引が掉尾の活況を期待して相當のストックを擁し只管商價の轉換を待つてゐるから結局本年の取引は十二月初旬まで繼續するであらうと觀測されてゐる包種茶は粗製茶の出廻り殆んど終息したがただワイザン茶の原料が未だ斷續的に僅少出廻りつつあるのみで市場閑散である相場にウーロン、包種共に氣配沈底安保合で變化を見なかつた

大藏省券償還

【大阪二十六日發本社特電】大藏省發表によれば二十五日二億圓の公債發行の結果二十四日期限到來の大藏省券五千萬圓（日銀引受）は之を借替へず現金償還する事に決定した

東光油脂拂込
化粧石鹸工場
建設の爲め

臺北綠町の東光油脂工業では近時化粧石鹸の製造販賣共に增加し在來の洗濯石鹸工場内で之を製造してゐては甚だ窮屈でもあり今度別に化粧石鹸工場を新設することに決し之に要する資金を拂込金に求めることに重役會にて決定し第三回拂込一株に付二圓五十錢づつを明年一月二十日迄に徵する由、因に同社の下期決算は十一月末であるが當期配當は五分据置の意向である

二期米移出旺盛
本月の丸糯移出
四十萬袋に達せん

前報以後の基隆港移出米次の如し

△大阪丸（二十一日出帆）一期蓬萊米東京行二、二〇〇袋、横濱行一、〇〇〇袋、二期蓬萊東京行二、〇〇〇袋

△日吉丸（同日出帆）二期蓬萊鹿島行二、二〇〇袋、宇品行一、六〇〇袋、尾道行四〇〇袋、計四、二〇〇袋、二期丸糯鹿島行六、四六五袋、宇品行三、二〇〇袋、尾道行一、七五〇袋、計一一、四一五袋

△蓬萊丸（同日出帆）一期蓬萊門司揚二、〇〇〇袋、一期丸糯大阪行一〇〇袋、二期蓬萊小樽行五〇〇袋、大阪行二〇〇袋、神戸揚一〇〇袋、門司揚二、〇〇〇袋、計二、八〇〇袋、二期丸糯小樽行一、九九五袋、大阪行二、四五五袋、神戸揚七、一一〇袋、下關揚三〇〇袋、門司揚一、〇〇〇袋、計一二、八六〇袋

△湖南丸（二十二日）沖繩行蓬萊白米五、一〇五袋、丸糯白米五〇袋、長糯白米二四袋、在來白米二、〇二八袋

△大和丸（二十三日）二期丸糯米小樽揚三、三九〇袋、大阪揚九、六五五袋、神戸揚六、八六五袋、計一九、九一〇袋と蓬萊米各港揚六、九七五袋、一期丸糯九三三袋

之にて兩港積一期、二期米の移出累計は次の如くである

一期	蓬萊	四〇二、八〇〇袋
同	在來	二五四、三九九
同	丸糯	一六二、九九六
同	長糯	八二、六二三
二期	蓬萊	二四〇、七六八
同	在來	一〇、三三三
同	丸糯	一八六、七五二

尙二十四日基隆出帆悠紀丸にて丸糯東京揚三〇、〇〇〇袋、名古屋揚四六五袋計三〇、四六五袋と二期蓬萊米一三、四六五袋、一期蓬萊三、三一〇袋を積取つた、之に二十四日の高雄積を合せて丸糯移出累計二十二萬一千百八十七袋二期蓬萊の移出累計二十五萬九千六百五十一袋に達した十一月中の丸糯移出は四十萬袋に達すること確實となつた

糖聯支部の
產糖豫想
一千百一萬八千餘
擔と訂正

糖業聯合會臺灣支部の第二回產糖豫想は去十七日一千九十六萬四千三百七十擔（平均步留一割三分四厘七毛）と發表されたが步留及產糖額の集計に追誤あり之を步留一割三分五厘三毛、產糖一千百一萬八千三百七擔と訂正發表することになつた、即ち步留では過日發表のものより六毛を增し產糖高では五萬四千擔の增加である

樽酒移入
五升壺は全部で
四千五百箇

歳末年始用樽酒は本月十二日と十五日の二回に基隆へ入荷し殘荷は十二月初に入荷する筈で納入元では五回に納入することになつて居り第一回賣出は去二十日第二回は十二月一日第三回は十二月十日、第四回は一月五日、第五回は一月二十五日出しの豫定となつてゐる本年の移入數は大樽三千五百五十二挺、一斗樽一千五十三挺、五升箇入四千五百一箇で大樽は昨年より一千二百四挺多いが一斗樽は十九挺少い、五升箇入は本年初めての移入で移入數の筆頭は近藤の白鶴が一千二百七十五箇、次は辰馬の櫻白鹿七百卅五箇、白鹿の二百六十九箇を合せて一千四箇となり西村の月桂冠が四百八十二箇、以下嘉久娘の三百廿箇、宅の菊露二百六十二箇、澤龜の二十三箇を合せて二百八十五箇、櫻正宗二百三十八箇、澤之鶴二百三十六箇、白雪二百箇、忠勇百七十二箇、不二露百五十九箇、菊正宗七十一箇といふ順位である、此の五升箇、樽製にて體裁優美贈答用に好適し又値段から云つても贈る手頃であるが樽酒のやうに木香がなくてはいかぬとあつて吉野杉の鉋屑で香りが付けてあるのが特色である

硼酸の肥料價値
——中研—— 硅溪子

肥料として窒素燐酸及び加里が三つの缺くべからざるものだとは誰でも知つてゐる、[illegible]他の成分に關する知識は[illegible]マンガン及び硼素が[illegible]に認められつつある[illegible]に於ては硼酸マンガンの肥效が認められ實際に使用せられつつある相だ

▽——△

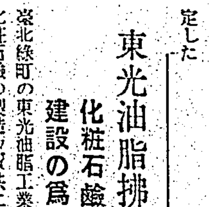
硼酸の肥效に就ては必ずしも決定的ではないが昨年英國ローザムステッドの植物學研究所[illegible]の報告によると硼素の全く缺けた溶液を與へると植物は決して開花せず且つ生長しないとかで硼素の影響は光線の影響に似てゐると云ふ、發育物質中に硼素を含むものは毎日極少時間日光にさらす時は育つことは育つが花に咲かないそして之に更に充分の日光を與へると始めて花を開くが硼素を全く與へなければ決して花がつかない

▽——△

植物が要求する硼素の量は極めて少量で試驗植物の中で最多量を要すると認められた蠶豆の一種でさへ生長期に於て一本あたり一週間につき硼酸〇、二ミリグラムでよいと云ふ、但此試驗が直ちに硼酸を肥料として必要とするとは早計で土地によつて最初から充分な硼素を含有してゐる所が多いから之を與へると否とは其土地の土壤成分如何によるべきこと勿論である

▽——△

兎も角も此問題はまだ研究の初期にあるもので今後如何に發展するか大に注意すべきことである、而して專門家の說によると煙草栽培に此硼素缺乏に關すべき點多く例へばジャバに於て煙草の特殊病の如き恐らくは此例であらうと云ふことだ、又其逆の例としてカリフォルニアのオレンヂ栽培業者に灌漑用水中に過剩の硼素が存することがオレンヂに悪い影響を及ぼすものと觀して居ることなどを考へ合はせると肥料として此物を使用するのは必しも近い將來とは云へない



東西南北

今期の臺灣產糖は一千百萬擔を最少限度としうまく行けば一千百五十萬擔の新糖の先物相場が十三圓臺に飛上つたので之を標準にすると一擔七圓の利潤になるが今後に相當波瀾があるものとして內輪に六圓と押へても一千百萬擔で六千六百萬圓の利益とは大きい▲臺灣製糖が三百三十萬擔でザッと二千萬圓、大日本が二百六十萬擔で一千五百六十萬圓、明治が百八十萬擔で一千八十萬圓、鹽水港の皮算用ではあるが、糖業界に取つてお芽出度いことである、その內幾パーセントが臺灣島內に散布されるかが問題だが、臺灣の經濟界にも多少のおこぼれがあらうといふもの、製糖會社としても相當考へてゐることは勿論で唯大正七、八年の株に有頂天にならぬだけ製糖業者が利巧になつてゐる從つて花柳界などにも昔ほど有難味がないさうである▲鹽糖株が安値三圓から二十八、九圓まで棒上げしたのも全く糖價高のお蔭であるがモウ二年程待つて貰ひたいといふ同社の勝又君や內ヶ崎君などの所謂二年待てとは意味深長だ、その間に全く社運を立直し負債も減る、配當も出來る、株價も額面以上になるといふのだらう兎に角鹽糖株の値上りで助かつた株主は內地にも臺灣にもザラにある、イヤ南部には鹽糖株成金が多い、新營街內臺城内では高値で利喰し何回も同じことを繰返して小使かせぎをしてゐる本島人が多いとか▲鳳山の新興製糖は今期の利益がザッと百萬圓、拂込資本の百廿萬圓に對し八割三分に當るとは豪勢だ、前社長陳中和翁は自分の眼が黑い間は誰が何と云つても新興を手放さぬと云つたが翁の歿後に一寸騷がされた身賣り話しも其後立消えとなり現社長陳啓峰君の鼻息の荒いこと／＼一割利廻りの千萬圓でも賣らない、五分利廻りの二千萬圓でも？……四、五年前に五百萬圓と評價された新興が何時しか桁違ひになつてゐるのだから恐れ入る。

商況（廿六日）

米況

正米市況（前場）
丸糯は買氣薄

蓬萊米

當限	中限	先限
七、二六	七、二六	不申
	二五	
	二四	
	二三	

丸糯米

限月	値段	限月	値段	限月	値段
十一月三十日限	八、〇四	十二月五日限	八、〇五	十二月十日限	八、〇四
十二月十五日限	八、〇一	十二月二十日限	七、九八	十二月廿四日限	不申
一月五日限	八、〇〇		不申		

期米反落に入註薄にて買氣銷沈、雨天なるにも拘らず伸惱み不味の商狀を呈す、出來高蓬萊當限五車、中限十二車、丸糯三十日限二車、五日限十車、十日限三十二車、十五日限九車、二十日限二車

臺中米價（二十六日）

蓬萊米一期六、九〇錢、二期七、三五錢、丸糯二期八、一〇錢、在來米（苗栗）九、〇〇錢、長糯二期六、八〇錢見當、出來高蓬萊米九、五七八袋、丸糯九、八七六袋（臺中電話）

正米市況
公定相場

		相場	出來高
蓬萊	當	七、二六	二五車
	中	七、二六	八
	先	七、三八	七
丸糯	三十日限	八、〇三	二〇
	五日限	八、〇六	五九
	十日限	八、〇〇	八
	十五日限	八、〇〇	二五
	二十日限	八、〇一	五二
	二十五日限	八、〇二	九六
總出來高			四八一車

正米市況（後場）
蓬萊小締丸糯鈍重

▲蓬萊米

當限	中限	先限
不申	七、二九	不申
	二八	

▲丸糯米

限月	値段	限月	値段	限月	値段
十一月三十日限	不申	十二月五日限	八、〇五	十二月十日限	八、〇六
十二月十五日限	八、〇五	十二月二十日限	八、〇五	十二月二十四日限	不申
一月五日限	不申				

後場は期米小戻しに蓬萊小締丸糯は天候不良乍ら買疲れ氣味で頗宜く保合ふ、出來高蓬萊中限三車、丸糯五日限九車、十日限十四車、

臺米現物相場
十五日限八車、二十日限八車

基隆積車乘渡百斤		前日對比
一期在來米	六、一〇	五高
二期在來米	六、二〇	五高
北部一期蓬萊米	六、八二	三安
北部二期蓬萊米	七、二〇	五安
中部一期蓬萊米	七、〇〇	同事
中部二期蓬萊米	七、三〇	五安
南部一期蓬萊米	七、〇八	十安
北部二期丸糯米	八、〇〇	七安
中部二期丸糯米	八、〇八	七安
南部二期長糯米	六、八〇	八安

基隆在庫米（二十六日朝現在）

一期蓬萊米	八、八四六袋
二期蓬萊米	五一、四八〇
一、二期蓬萊白米	二、六七六
一期丸糯米	二九〇
二期丸糯米	四六、九六〇
一、二期丸糯白米	八四、四四〇
一期長糯米	三〇五
一、二期長糯白米	一、三一八
一、二期在來白米	一八一
合計	一四九、六五七
到著米	三三一車（二、八四二車）

高雄在庫米（二十六日朝現在）

一期蓬萊米	一、三〇四袋
二期蓬萊米	六七、八五八
一期丸糯米	四四一
二期丸糯米	一〇、六五三
一期長糯米	九三四
二期長糯米	三、四二〇
一期在來米	三、三一八
二期在來米	四、二二九

大阪在庫米（單位石）

內地玄米	一、三九七、九九六
同白米	六七、一八二
朝鮮玄米	一八、一一八
同白米	三、五五四
臺灣玄米	一八、九二二
外國白米	三、八二八
節	二二、二五一

堂島前場先限兩建控除主なる手振

賣方　北川二、三〇〇　潮先一、六〇〇　小河、勝崎一、〇〇〇　岡米七〇〇

買方　北河二、〇〇〇　上楠、水野一、二〇〇　村岡、林僧九〇〇　文爵六〇〇　田中金五〇〇

大阪期米
▲後場

節	當	中	先
一	二二、四七	二二、九二	二三、六〇
二	二二、四二	二二、九八	二三、六一
三	二二、四八	二二、九九	二三、六〇
四	二二、四六	二二、九七	二三、五九
五	二二、四八	二二、九九	二三、六〇
六	二二、五〇	二二、九九	二三、六二

東京期米
▲後場

	當	中	先
寄	二二、六六	二二、九八	二三、六九
止	二二、七六	二三、〇〇	二三、六九
高	二二、七九	二三、〇〇	二三、七五
安	二二、六六	二二、九八	二三、六九

神戸期米
▲後場

	當	中	先
寄	二二、六五	二二、九五	二三、六〇
止	二二、六九	二二、九八	二三、五九
高	二二、七〇	二三、〇〇	二三、六五
安	二二、六五	二二、九四	二三、五五

各地正米

大阪　中之島　道頓堀　二十錢安

東京　神田　深川　保合　十錢安　一二十錢安

神戸　保合

各地期米跡氣配

大阪　六一、三錢

東京　六九錢七一錢

神戸　五九錢六一錢

堂島本日の出來高

二二一、八〇〇石

堂島前場先限主なる手筋

賣方　中東筋稼務（北川）株式筋（香川、岡米）正米筋（潮先、楠辰）來客手詰（辰尾、田中貢、文爵）

買方　中の谷（小河）岡山筋（田中金）地場强氣（上楠、林僧）防蔭筋（文爵）地場弱氣（水野）

堂島兩建控除俵合

當限　七〇、七〇〇石

賣方　阪糺以下一一店

買方　小河以下一〇店

中限　五一、九〇〇石

賣方　商南以下一二店

買方　林僧以下一二店

先限　一三五、九〇〇石

賣方　北川以下九店

買方　小河以下一一店

堂島米況前場

【大阪二十六日發電通】休日控へに氣乘薄く期近不勢先も株式、正米筋賣り地場筋氣よく買ひ廿三圓三十九錢と寄り朝鮮筋、中國筋買で四十五錢と戻し跡買方の乘替と手持物に四十二、三錢と揉み小口買崩み五十錢と昇ぎ期近の仲値みに買物勝で四十九錢と大引

堂島米況後場

【大阪二十六日發電通】株高の刺戟で人氣色めき地場強氣でマバラ買巡り正米筋、西筋買も利かず二十三圓六十錢と寄り六十一錢と揉げ正米筋買に六十錢から五十九錢と小綴み押目買に六十二錢と氣丈に大引

堂島雜觀

【大阪二十六日發電通】休日控への人氣は依然不引立なるも昨引尻不勢の跡を受け環境もよくない爲め前場寄節一段下押したるもの、相場は味殺えの買氣も動き月末後近旁々收派の利喰も弗々散見され引尻小戻しに轉じたが結局相場は小さい保合を繰返してゐる、正米事情は朝鮮が割に變り乍ら內地は買上げ應募不成績を勝め反對に軟味を帶び政府筋迷惘思であるから米自體としては積極的手出も出來ない譯で新規商內も餘りはずまない要するに高値から完全に百丁棒を引いただけ最早下値淋しいとの懸念もあり、此の點環境がよければちよつと伸びさうである

株式

東京短期
▲後場

	寄	引
東新	一七七、八〇	一七八、三〇
鐘紡	一一〇、四〇	一一〇、七〇
同新	三九、一〇	三九、七〇
日郵	九二、三〇	九二、六〇
淺野新	二七、九〇	二八、二〇
日産	四七、一〇	四七、五〇
日石	四一、二〇	四一、九〇

東京長期
▲後場

	寄	引
鐘紡	四八、五	同新 一四、二
東紡	三二、九	同新
南滿	五八、九	同新 二九、五
富士紡	九八、四	同新 一〇、八
日清紡	七三、七	同新
鹽糖	一〇六、三	同新 五
日魯	九三、九	同新 二八、八
明糖	六六、四	同新
日電	二五、四	同新 一二、〇
日本水	二二、二	同新 七、〇
麥酒	九八、八	同新
淺野	五七、七	同新 二八、一

東京株況前場

【東京二十六日發電通】外電は爲替高騰と米棉安に氣配は概して軟弱に傾き主要株は低落したが雜株は低金利氣構へと共に底意手堅く引締小締つた紡績株は棉絲が爲替高から大巾の修落を演じたので一齊安く鐘紡二圓二十錢安、新綿九十錢安乍ら其他は何れも下廻り下げ餘地少きを思はせ砂糖株も消費分齢の暴落を入れたがその割に下げず沖臺糖一圓三十錢安の外は小幅の保合で突込賣を警戒され雜株は電力株は爲替高から外債關係需要の買氣あり東電、北電、鬼怒川電共一、二圓高昇硫九十錢其他區區の相にも底強い所を見せ東株は新東は百七十六圓六十錢と十錢安に寄り棉絲安を移し五圓四十錢迄追込まれたが安値には押目買氣相當在し居り長期雜株高を好感し盛返し七圓二十錢の高値に引けた鐘紡は材料安も餘り響かず下旋つた

東京株況後場

【東京二十六日發電通】商人氣に逆行して市場に存外强調を保ち聯盟方面の樂觀情報や綿絲の落付と共に諸株小戻し氣味に小堅く推移した即ち紡績株では鐘紡一圓高、新綿一圓四十錢高、其他小堅く砂糖株は消費分體の落付に押目買出で日糖一圓二十錢高、沖臺糖一圓七十錢高その他小堅く新高糖に賣り七十錢安と目立ち雜株では三菱銀行高十錢、東拓等一圓餘高、日魯、麥酒七、八十錢高、東株は引一、六十錢方、新東一圓十錢方反騰した短期新東は百七十七圓八十錢と六十錢高に寄り綿絲の小戻しと長期雜株手堅きに新八圓臺乘せ西筋の買物あつて七十八圓六十錢の高値を付け八圓三十錢と强硬に引けた鐘紡も商弱內乍ら戻りで高値は今期五、六分配當確實と見られ四十八圓臺を付け七圓五十錢と固調した

大阪短期
▲後場

	寄		引
日石	四二、二	同新	一六、三
日産	三一、九	同新	二五、〇
日窒	四七、四	同新	二一、四
東株	一七六、七	同新	一七九、〇

大阪長期
▲後場

	寄	引
東新	二二〇、五〇	二二一、五〇
同新	一一〇、八〇	一一〇、七〇
大株	一七八、〇〇	一七八、〇〇
大新	八三、九〇	八五、五〇
商船	三三、〇〇	三三、一〇
日産	五八、〇〇	五八、五〇
鐘紡	七四、〇〇	七四、九〇
東紡	四八、〇〇	四九、一〇
日毛	二七、九〇	二八、二〇
日郵	四七、〇〇	四七、〇〇
日石	四四、〇〇	四三、三〇
レーヨン	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
東新	一六三、〇〇	一六三、六〇
同新	一二〇、〇〇	

東京銀行實株

日銀	五一七、〇	同新	三四八、〇
正金	一七三、五	同新	五六、三
臺銀	七七、七		
勸銀	七六、七	同新	一九、九
興銀	六一、八	同新	一五、〇

ニューヨーク株式

スチール株　三三弗二分一

アナコンダ株　八弗八分三

公債

東京國債

	寄	引
第三五分利	九七、二五	九七、一〇
第二四分利	—	八八、二〇
佛貨公債	一五二、〇〇	一五二、〇〇
國債出來高	三一、四二五圓	

銀塊

倫敦現物	一八片八分一	
同先物	一八片四分一	
紐育現物	二六仙七〇	
同先物	二六仙三五	
大連現物	一〇二、三〇	一〇二、九五
同先物	一〇二、八〇	一〇二、四五

爲替

ニューヨーク爲替

米日爲替　二一弗五〇仙

米英クロス　三弗二〇仙八分五

神戸日米爲替

期	寄	引
近	二〇弗八分一買	二〇弗八分一買
先物	二〇弗四分三買	二〇弗八分七買

穀肥

シカゴ小麥

十二月限	四二仙四分三
五月限	四七仙八分一
七月限	四八仙四分一
出來高	二千萬ブッセル

神戸豆粕
▲後場

一節	十二限	三、八五
	一限	三、八五

大連特產
▲前場

	寄	引
十二限	三、八六	三、八六
大豆現物	五、〇八	五、〇七
十一限	五、〇七	五、〇六
十二限	五、〇〇	五、〇八
一限	五、一八	五、一八
二限	五、二四	五、二三
豆粕現物	一、六二五	一、六二五
十二限	一、六二五	一、六二五
一限	一、六四五	一、六四五
二限	一、六五〇	一、六五五
三限	一、六六〇	一、六六〇
豆油現物	一四、一〇〇	一四、一〇〇
一限	一四、一〇〇	一四、一〇〇
二限	一四、一〇〇	一四、一〇〇
三限	一四、〇〇〇	一三、九〇〇
限	一四、一五〇	一四、〇〇〇

絲況

大阪綿絲
▲前場

米棉　八十錢安

印棉　二十錢安

砂糖

玖馬		
爪哇	一番	五盾九七仙二分一
直	十二月積	六盾
	一月積	六盾
	二月積	六盾
	三月積	六盾

大阪現物

三溫（OBB）	一七圓五〇錢
分蜜（M3）	一七圓五八錢
精糖（双）	二三圓九八錢
同（角）	二三圓四〇錢
同（日）	二三圓一〇錢
耕地白糖（A双）	二二圓七五錢

大阪清算
▲前場

	寄	引
十一限	一三、四二	一三、三三
十二限	一三、三八	一三、四七
一限	一三、〇〇	一三、二二
二限	一二、九七	一三、〇〇

横濱生絲
▲前場

	寄	引
十二限	四五四、〇	四五三、〇
四限	四五五、五	四六〇、〇
四限	八九五、〇	八八五、〇

大阪棉花

	寄	引
▲前場 十一限	一八四、〇〇	一八五、一〇
五限	一八六、〇〇	一八七、〇〇
▲後場 十二限	一八九、四〇	一八九、九〇
五限	一八六、〇〇	一八七、一〇

文藝

批評の科學

雅川滉

文學批評 にあたつて、しばしば痛感する事は、それが印象的なるがために獨斷に陷落するかも知れぬ懸念を生むのでなかつたら、逆にその分せき的なるがために、概念の遊戲に墮落するかも知れぬ焦慮であらう。科學といふ萬能藥の效能書は、また、勝利に隔離する迷信と共存してゐる。今日程、科學思想の發達してゐる時代を知らぬなどと、誰が口幅つたくいひ得られるであらうか。事實は大衆はただこの效能書を讀んだまでだ、だから見給へ

この藥が 效かなければ、すぐさま護符を頂くのである。要はなほりさへすればいいのだ。だからなほらぬと科學をのろふ、神をのろふ、科學も神も決まつたものぢやない、如何にも今日、人々はあまりにも功利的であるか、でなければあまりにも知的精神の强じんさを缺いてゐるのである。效能書を信じて、科學精神を卑視するもの、護符を信じて、神の恩寵を忘却したものである。いづれも不信の徒たることに間違ひはない。今日までの科學の成果は

實に偉大 である。これをさん美するに言葉を惜んではならぬが、同時に人人は、我が內部に科學精神の溢れを感じ得る餘裕を持たねばならぬ、でなければ少くも努力を期せねばならぬ。私が奇怪に思ふことは、かかる科學の偉大なる發展の成果に直面しながら、人々が一向に恬然として、我が內部に科學精神の溢れくるのを感じ得ないことである。乃至はたかだかこの成果に醉つてゐる位である。私が今

このやう に「科學精神」の高揚を叫んでゐるのは、いはゆる「科學的」などといふ帽子を冠つたお人柄か、大層おつとりしてゐらつしやるかだからである。少くも眞理の闡明に必死となる限り、人々は眞理を深く藏した自然に對して、もつと謙虛にもつと從順でなければならぬ。科學は自然に挑んだのでない、また自然に反逆せんとしてゐるのでもない、科學はただ自然の運動を

率直に眺 め得る深い眼を要求してゐるだけだ、でなくてどうして法則が發見出來やうか、自然の法則に從はぬものに、自然は公平な裁斷を下す。自然は科學よりも正しい、科學よりも眞實だ。眞實科學とは、自然の正義と眞實への人間の接近を意味する以外の何物でもないはづである。ところがこの見易い姿相、しかし完全な理解をおいて、人人は何をそもそも企てやうとするのであらうか、見給へいはゆる

科學萬能 の時代にあつて科學のための科學、理論のための理論、分析のための分析、證據物件を揃へて一個の模型を作つてゐるとは、外面泰然としてゐられるとは、その內面が至極おつとりしてゐるからであらう、科學精神の喪失である、さて、今は問題を文學批評に限る。殊に分せき的批評と唱へられ相なものに限る。私達は、例へば夏目漱石の文學について、個人主義、東洋主義、英國的道德、理知主義等々、尾崎紅葉の文學について

江戶情調 戲作的態度、感傷主義等々——の如くに、分せきされるのを見てきてゐるのである。しかしこれ等の分せきが益々精緻を極めて行くことと作品といふ存在(自然)のせん明とは必ずしも同一線上に邁進する譯には行かぬ。いや、作家について、または作品について、かかる分せきとは決してそれの部分となつてはをらぬ。部分は集合によつて全體を形成し得るであらう。しかしこれはただ概念の抽象に過ぎぬのである

文學に於 いて、人々にまづ漱石の個人主義が彼の肉體に對する完全なゆ着を完成してゐることに、氣付かねばならぬ。同じやうに紅葉の江戶情調は、飽くまで紅葉の江戶情調として終始せねばならぬ。如何にもここで分せきとは、全體を部分にすることではない。もし我々が如上の分せき物によつて、存在(作品)が構成し得るものと考へたとしたら、それは既にまへもつて體驗としての

鑑賞行爲 を遂げてゐるからである。即ちこの分せき物は部分ではなくて契機に過ぎないのである。この契機に過ぎぬ分せきを、その部分と見る錯誤こそは、いはゆる分せき的批評、ひいては科學的批評と唱へ得る文學批評か、その恐らく大部分にあつて、現在冒しつつある誤謬ではあるまいか。それ等は甚だ精密ではあるが、肉體の寸法には合はないのである。さらば私は、印象批評の聯歌を叫ぶのであらうか。ここでも私は自己の感の鈍さを晚さへの口實とするために

印象批評 の優越を買へる人々には背中を向けたい。悲しむべき我國の現狀では、いはゆる印象批評とは、感情の過多によつて、眼をさまされた人々が、自然を見る誠實さを拒否して、かつ僞な自己主張を行つてみせるだけである。ここでは私は作品より享受した、已の肉體的體驗を批評といふ抽象に運びくるために、この體驗と概念的認識との間の距離の接近を、無限に追究する努力こそは、今私が暗示しつつきたやうな、この

科學精神 または知的精神の旺盛だけに期待してゐるとだけ述べて置く(完)

短歌の特色と將來

(下)

土屋文明

短歌滅亡論の多くは、寧ろ事實に立脚した現實論でなしに、空想論である場合が多い、勿論、日本人すべてが短歌にたづさはらねばならぬ理由もないし、昔より短歌を作り短歌に親しんだのは一部分に限られてゐる、そしてその他のものは短歌に緣なき人々で、さういふ人にとつては短歌は滅亡どころか存在しないのである。短歌滅亡論がいつも歌を作らざるもの或は歌作から離脫せんとするものによつて唱へられるのはその爲である、短歌滅亡論の架空であるといふ所以もここに在る

× ×

第二の問題は、口語及び自由律の問題である。即ち今後の短歌は口語によつて作らなければならぬといふ議論、及び三十一文字といふ字數にとらへられず、自由なる形式の下に作られねばならぬといふ議論である、これは本來二つの議論であるが、屢々綜合して一つの問題として提出される、今急いで結論だけをいへば勿論、將來に於て口語によつて、三十一字以外の形式によつて、一詩形が出來るといふことは可能であらう、けれどもそれが爲に、在來の短歌が滅亡しないといふことは、短歌滅亡論に對する批評から押していひ得ることで、むしろこれは短歌とは別な詩形が成立するかせざるかといふことになるべきである。これを短歌を滅亡させなければ自由律が成立せざるべく考へるのは一つの錯覺である

× ×

第三の問題は、現在の歌壇は萬葉調の一色であるから、古今集、新古今集の復活があるべしといふ論である。これは多くの國語學者國文學者によつて唱へられ、その源流に於て萬葉より出發してゐる歌人のあるものによつて贊成されてゐる、けれどもこれは古今集、新古今集の價値を見極めるならば自然主義の洗禮まで受けて今日の階段に進んだ歌壇か古今、新古今の逆轉をみることは、歌壇人全體の墮落といふことを前提としなければ考へられない。歌壇の前途は既に到達し得た現實主義の徹底といふことだけで充分その進展の前途は展けてゐるのであり、これ以外には道はないのである

× ×

明治二十年代から短歌の革新が唱へられた時に、その議論はみな論理的に尤もなことで新しい時代には、新しい歌がなければならないといふ點で一致してゐた。けれども、具論として萬葉集を手本とすることによつて、この歌革が成し遂げられるなどといつたものは一人もない。しかるに和歌革新が成就せられた今日になつてふりかへつて見れば、和歌改革は全く萬葉調の歌風によつて成功してゐる。將來に對する單なる理論的の立言が結局空論に終るべきは明かであらう

× ×

今日は既に和歌に對する學問も進み、古代の歌論の再び紹介さるるものも出て來てゐるが、それは歌壇人の訓詁の學と共に、既に瑣末の相を帶びて來てゐる。しかしながらこれらの瑣末論が將來の歌風の進展に役立つことのないのは過去が證する如くである。歌壇の進步は、ただ歌人みづからの努力によつて成就せらるべきである。現代の短歌が過去のすぐれたる歌人達の手によつて一般文學と接觸を保ちつつ進展を進めて來たことは勿論である、將來の進展を擔つて立つべき歌人が現歌壇に缺けてゐるとは自分は思はない(完)

身の上相談

相談相手もなく思案に餘る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛で御申出下さい電話や面會はお斷りします

妻を離緣し幸福に暮させたい

去る九月御相談の手紙を差上げましたが御返事なく今日か今日かと毎日御待ちいたし之で三度目のお願ひです、甚だ勝手ながら是非御敎へを願ひあげます。私は今年二十一歲になる本島人男です、一昨年父は五十歲の誕生祝日に當り又現在の家の落成と共に[illegible]女たりし女を私の妻とし結婚を無理にさせられました當時私は某店の一部分の主任として雇はれてゐましたが去年一身上の都合で退店いたしました妻はお恥かしながら初等教育も受けず、私とは氣も合はず愛もなく會話さへめつたにしたことがありません、現在私は或方面の助手として働いて居ますが妻と幸福に暮らす事もできず[illegible]の所で淋しき日を送りを[illegible]私に夫として[illegible]を負ひ切れません、かういふ私の行爲が今後長く彼女を苦しめるのではないかと甚だ煩悶しております、私は現に角彼女を離緣し彼女に別に光明と幸福とを與へたいと考へて困りますが如何したら宜いでせうか最善の道をお敎へ下さい(二十一歲男)

無學だけで嫌ふなら宜しくない

同じ樣な種類の御尋ねには一々お答へできませんので其の都度[illegible]のですが度々の御手紙故特に申上げませうか。あなた[illegible]

無學な妻を敎へ導く方法は幾らもあります、極初步をあなたが敎へ更に國語傳習所なり何なりへ通はして多少とも敎養をつける事は決して不可能ではありません、彼女を親が無理に妻として押し付ける風習は家庭には[illegible]困つた弊風だとは存じますが、之は其の女性の不性如何にも困つた問題であつて斯る結婚か十が十まで不幸とは限りません、若無學だけであなたが妻を嫌ふならソレは不心得で何とか旨く夫婦として[illegible]

[illegible]

通俗講話

皇軍威力の源泉

燦たり我が軍旗

(下) —軍旗祭に因みて—

臺灣步兵第一聯隊 某氏談

軍旗と國民

日の御子出ます日數十里の道を遠しとせず沿道に堵列して迎へ奉る赤子の如何に赤誠に充ち感激に包まれて

鹵簿を拜 し奉る事か これこそ實に我が國のみが持つ最大の誇りと言へる。然るに陛下の御影を仰ぐ軍旗に對しはたして國民の總ては鹵簿に對すると等しき迄の赤誠を捧げて奉迎してゐるであらうか、時局を憂ふる夜の銀座に吹雪をついてさつさうと進む軍旗の影を見て感激する國民が一度平和の街路を進む軍旗に會する時其の幾人が脫帽して敬意を表するか每朝掲揚される

國旗に對 してさへ敬禮する兒童さへも、軍旗に對して敬拜する者はけだしまれである、嘗時軍から今の世の人々と軍旗に對する無關心非禮を聞く每に進步の文化の跡があるかとうたがひたくなる。吾等は軍旗は一般世上の國旗と同一視せる人々の不常識に恐れ入る。文化の光から離れた樣な片田舍で朴直な農夫が仕事の手を休めて敬禮をとり恭しく軍旗を拜する光榮は度々遭遇する所であるが金鵄を胸に光らせダイヤに飾る

紳士淑女 の行き交ふネオンサインの都會に於て軍旗に拜謁する光榮を求むる事は殆ど難事であらう、軍旗を拜する事は軍隊を拜するが如く敬禮する者は絶無であらうと信ずるが若しかかる僻見よりして軍旗を拜せずとすれば其の認識不足や笑ふべきである特に本島は帝國最南國防の第一線と云はれ軍人たると何人たるとを問はず等しく其の防衞の一部を負擔すべきもの

特に軍旗 に對し最大の關心を持すべきに關らず內地に比して一層其の敬意の念を缺いて居る事を遺憾とするものである、よろしく島民一同先づ軍旗に對し[illegible]して平和樂土の此の地の建設にいそしむべく時ありては御旗の光を打ち輝かすべきではある(完)

『日の出』賣切迫る

每號本誌に附錄に獨特の編輯で一躍誌界の王座を占めた『日の出』は十二月號亦々大人氣で殘品少き由

曙光

(169)

生方敏郎作

中野修二畫

新婚旅行(三)

翌朝、春田たちは漸く目覺めて彼は寢床の中で、澄江は枕元で鏡臺の前に坐り、亂れた髮を直しながら、中澤のことを話した。

『あんなに女中が引き留めるのもきかずに行つたが、もう大阪へ着いたらうな。』

『あの方、ここの娘さんがいやなのでせうか?』

『さあ、まんざらでもなささうだが、先達て中澤の話に、前に許婚の女があつたが、その女の兄と中澤の父と意見が衝突し、兩家が絶交狀態になつてるために、彼と女とはその犧牲になつた。とか云つてゐたから、ことによると、それが此家かも知れないよ。そんなわけで大方彼は父に對し、此家に泊ることが出來ないんぢやないかなあ。昨夜の女中の口吻によつて察すると、何うもそんな事らしい。』

『さうだとすると、中澤さんはお可愛さうですわねえ。』

『可愛さうよりは、羨ましいよ。お前なんかは、戀愛の勝利は結婚だと思つてるだらうが、ナポレオンも言つた通り、結婚は寧ろ戀愛の墳墓なんだ。プラスとマイナスを一しよに成れば零になつて、そこに何も無くなる。戀愛こそは、永遠に生きてる戀愛なんだ。陽電氣は雲の上に居て、永遠に地下の陰電氣と戀し合つてゐるんだ。だから中澤も父兄から反對されて、彼女と一しよになれない限り、二人の戀愛は恐らく何時までも繼續することだらうよ。』

『ちやあ、私達なんか、結婚したから、戀愛の墳墓まで來たわけですね。』

春田は、此返事には困つた。僕はお前なんぞ最初から愛してやしないんだ。とも云へないし、さうかといつて、愛してはゐたが、もう戀愛の火は消えた。とも否へられなかつた。ただ彼は嫌な氣持になり、

『さあ、自分たちのことは自分たちではわからないが……』

と、曖昧に受流した。

だが、澄江はそんなあいまいを許さなかつた。

[illegible]

と、はや氣色ばんでゐた。

『それは、お前の邪推だよ。』

『邪推ぢやありまん。あなたが町ちやんを愛してるつてことは、よく分つてますわ。だから町ちやんとの戀愛は、永遠に生きるのでせう。それは今のお話で分つてますわ。』

實際其通り。春田は大聲をあげて叫びたいほどだつた。昨夜、中澤が去つてから、彼たちの戀愛を聞くにつけても、思ひだされるのは、町子の俤だつた。

だから、春田は床の中で、默り込んだ。

だが、澄江は追窮の手を緩めないで、昨夜の白粉を指で溶いてはぺとぺと隈く頰に塗りながら、

『ほんとうに今更お氣の毒なことをしましたが、あなたにとつちや私といふものが出て來たんで、結婚が戀愛を徹底に逃れてつてしまつたのですわ。私さへ來なければあなたは町ちやんと結婚するところだつたんです。』

春田は寢床でそれを聞きながら(それほど察しがついてゐたら、人の戀愛の邪魔をしないで、國へ歸つたらよかつたのに)と、云はうとしたが、また後がうるさいと思つたので、矢張だまつて聞いてゐた。

澄江は尙喋りつづけて。

『それ位のことは、私にだつて分つてましたよ。しかし、私は町ちやんなんかに追ひ出されるのは口惜いから、何うあつたつて、國へなんか歸るものかと思つたんですわ……』

そこまでいつて、澄江は急に起て出した。鏡臺の抽出しを明けてみたり閉めてみたり、トランクの蓋を開いて中を掻き廻したり、床の間を見たり、果ては自分の枕を取り寢蒲團をはぐつて見たりした。

『何うしたんだ何か探し物か?』

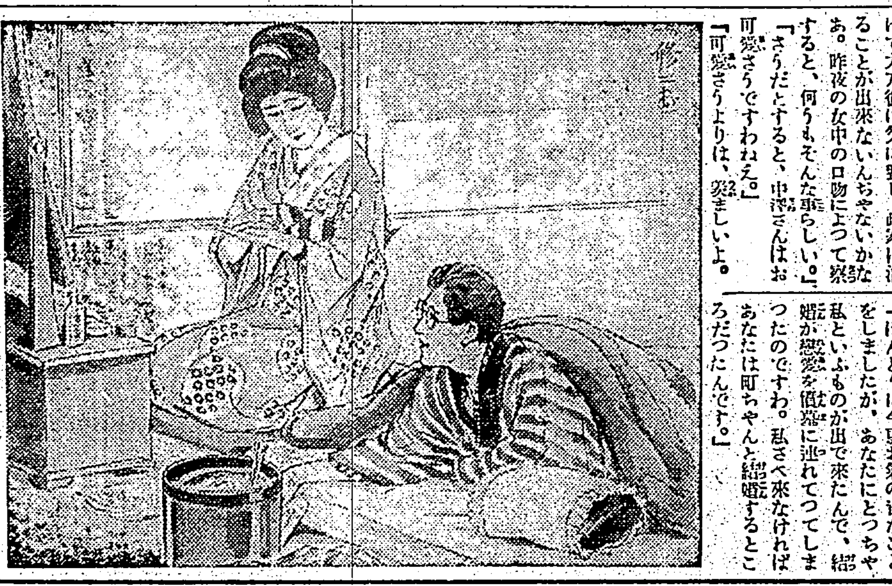
と、春田は自分も半ば身を起して、[illegible]いつた。

『ええ、た……今まで有つた筈なんですけど……』

『何だ?』

『[illegible]よ』

[illegible]



婦人の衛生美容講座

健康美を輝かす

植物性食物と藥物

婦人病に有効な驚異的要素

人間が病氣に罹る原因は凡そ二つあります。その一つは冷えることと、他の一つは食物の不調和であつて、この他にもいろいろ原因がありさうに思はれますけれども、詮じつめると殆どこの二つに過ぎません。尤も所謂婦人病の中には黴菌や梅毒菌の感染によつて急激に起る場合もありますが、多くは身體の冷え込みから發病するものです。何故かと申しますと、元來人間の體內には常に種々の病菌が宿つてゐるのですが、抵抗力の强い間は發病せず、冷え込んだり感冒を引いたりして

內臟諸器管の働き が衰へ血液の循環が惡くなり全身の細胞が榮養不良に陷ると、忽ち病菌に對する抵抗力を失つて疾病に乘じられるのです。ですから常に身體を冷やさないやうにし適當な食物を適度に攝るといふことが健康上最も大切であると同時に、病氣を治す場合にもこの發病の原因を考へて手當を施すことが近代醫學の第一の目標となつてゐるわけです。

皆さんが御存知の通り、醫藥として常用されるニコチン、コカイン、アトロピン、キニーネ、モルヒネ、コカイン等の藥用性アルカロイドがいづれも植物から取れると同じやうに、AからEまでのヴイタミンも、ヂアスターゼ、プロテアーゼ、グリコナーゼ、リペーゼ、マルターゼ、ラクターゼ等の酵素も、アミノ酸、カルシウム、加里、燐、鐵、沃度等の榮養素も

悉く植物から取れる のでありますが、これらの植物の中にはヴイタミンを含むほうれん草やトマト、ヂアスターゼその他の酵素を含む大根や果物や穀類の如く一般に知られたものの外にも我々が食物として常用するものが少くありませんから、食物の攝り方一つで、病氣を防ぎ生理的美容の目的を達することが出來るのであります。

例へば昆布その他の海藻類を澤山食べると脫毛や雲脂をとめ、頭髮を强くし艶氣を增し皮膚の色澤をよくすると言はれてゐるのは、海藻類の中に多量の沃度が含まれてゐるからです。沃度は皮膚に對する油の役目のやうなもので、人體內の細胞組織の働きをなめらかにさせ、血液の粘稠度や酵素の作用などに重要な作用をもち、甲狀腺とも密接な關係をもつてゐる大切な營養素です。[illegible]

酸味のあるものを毎日少しづつ食つてゐると貧血が治つて若返ると言はれてゐるのは、酸成分が殺菌排泄作用を營むのみならず、食慾を助け血を淸め赤血球を增大せしめるからです。しかし……

子宮病のために 貧血や容色の衰退を來した人は、食物の調節や食養生だけでは到底追つきません。油斷をしてゐると病勢はズンズン亢進して時候の變り目每に急激な苦痛が起り、一時は忘れることがあつても年と共に增惡して、眞夏でも懷爐で溫めたり足袋を重ねたりしてさへ冷え疼き痛み惱むのですから、況して冬は炬燵や行火にかぢりついてゐても氷のやうに冷え、局部は炎症のために燃えるやうに疼き、猛烈な頭痛、嘔吐、眩暈に襲はれ、殊に月經時の下腹部疼痛は劇しく、白帶下の量はますます多くなり、足腰が引つつて步行も困難になり、絶えず發熱し惡寒を覺え、夜もおちおち眠ることが出來ず、ひどく痩せこけてゆき、或はその反對にぶくぶくと氣味惡い浮腫が來て、動悸は激しくなり、息切れがするといふ情けない容態を惹き起し、遂には廢人の如くなり、或は妊娠の可能性を失ふやうな生きて甲斐なき憂き目を見なければなりませんから、有效な治療藥の服用が急務でありますが、それには何がよいかと言ふと婦人病の性質から見て

植物性の漢方藥が 一番適切だといふのが最近治療界の定說であります、尤も病が重ければ醫者に駈けつけねばなりませんが、漢方藥の特徵は(イ)輕い病氣の場合 (ロ)慢性的に永びく病氣の場合 (ハ)緊急手當の場合 等の三つの場合に最も安全適切であつて、現今あらゆる產婦人科專門病院で使用してゐるいろいろの藥品の殆ど悉くが漢方藥を基礎としてゐる事實を見ても首肯かれるでせう。

例へば惡阻嘔吐を鎭めるのに從來は洋藥の炭酸カルシウムを使用してゐた各病院が、古來惡阻の妙藥と言はれてゐる漢方藥の「半夏」を直接そのまま使用するやうになつて來ましたが、これはこの「半夏」が炭酸カルシウムを含むことが明かになり、しかも洋藥のもつ副作用の現れが絶對にないから賞用されるやうになつたのです。

すべて漢方藥は、特に植物性の藥劑は、洋藥のやうに劇烈な作用をもつてゐない代りに、連服しても絶對に害にならず却つて體質を强化する能力がありますから婦人病の如き

慢性的疾患の治療 には安全な點に於て適するのであつて、特に世に定評ある漢方藥中將湯の如きも[illegible]ても癒らなかつた難病が藥草で癒つたといふ話は、決して嘘や宣傳のための作りごとではなく非常にその實例が多いのであります。これは漢方藥の成分中に含まれてゐる種々の有效素が綜合的に働いて單一の洋藥の數倍乃至數十倍の效力を發揮するからであると思はれます。殊に有名な中將湯のやうに各種の優秀藥材のみを精選配合した婦人藥は、一服毎に身體全般の新陳代謝を昂め、非常に血行をよくして感冒などは忽ち治つてしまふ位に全身を溫める力が絶大でありますから、病勢の惡化を完全に防ぐと同時に、頽廢せる細胞に新生の活力を與へ、內分泌臟器の榮養を補給して健康を恢復する一方生理的美容の目的を達成せしめる貴重な要素が働いて化粧などでは現はすことの出來ない內部からの健康美をもりもりと體外に溢れ輝かせる效果は實に驚くべきものがあります。ですから中將湯の如きは將來單に婦人病(子宮病、月經不順、ヒステリー、こしけ等)の治療藥としてばかりでなく、女性一般の保健美容劑として益々賞用せられるやうになるでせう。

光は東方から

醫藥の革命を指導する者

★…近來活きてゐる藥だとか生物的藥劑だとか稱して現はれる新しい藥は大抵植物性藥劑であつて而も漢方藥に胚胎してゐないものは殆どないと言つていい位です。

光は東方から——と言ふ通り、今や世界の醫藥は東洋の和漢藥に指導されて革命的更生を遂げようとしてゐる形勢であります。この時和漢藥の傳統的權威として知られる婦人藥中將湯が、愈々全世界の婦人病者から再生の救ひ主の如く迎へ容れられつつあることは必然の傾向と言ふべきでせう。何にしても厄介な子宮病、血の道、ヒステリー、月經不順、惡阻、頭痛眩暈、神經衰弱、不眠症、白帶下、赤帶下、血暈氣、痔疾等の婦人諸症が安い費用で自宅で手輕に治療出來るといふことは、現代婦人最大の幸福と言はねばなりません。中將湯は各地どこの藥店でも試用分二十錢、三日分五十錢、七日分一圓、十五日分二圓、二十三日分三圓、四十日分五圓、八十五日分十圓の廉價で賣つてゐます。

刺拔きに 甘草

「[illegible]などにささつたトゲは容易にとれないものですが、そんな時は甘草一匁を噛んでつけておくとその周圍が[illegible]一日位で[illegible]

7—11D

貧血に

アルゼンポリタミン

これまで、貧血に對し鐵の製劑が廣く愛用されてゐるが、これは「血液中のヘモグロビンをつくる色素に多分の鐵分子が含まれてゐるので、補血の目的に鐵を用ふるとそれが直ちに役立つ」と云ふ考へからでもあつた。ところが、新學說では「鐵の補血作用は造血臟器を刺戟してそのハタラキをたかめることに原因する」と云はれ、「鐵のみでは補血の目的は達しられない。それよりも重要なものは、トリプトファンと云ふ血液の構成上絶對に缺くことの出來ぬアミノ酸である」と云ふことが多數の學者によつて證明された。

この學說は貧血治療榮養上に大きな變遷をもたらし、所謂今日のアミノ酸時代を現出したのである。

補血强壯劑として**四百三十五名の醫學博士の實驗推獎**を得てゐるポリタミンは、實にこの血液構成素たるトリプトファンその他のアミノ酸を主成分とする唯一の製劑である。ポリタミンの優れた特徵は、消化機能の衰へたる場合にも容易に吸收されて補血作用を發揮し、且つ鐵劑の如く胃腸を害しない點である。

就中、貧血治療上賞用されてゐるアルゼンを配した**アルゼンポリタミン**は最も合理的で、頑固な貧血、冷え性、神經衰弱等に最適の榮養劑である

小瓶二圓六十錢
大瓶四圓七十錢

健康と蛋白質(冊子) 無代送呈

大阪市東區道修町 武田長兵衞商店

時局重大

全島國民大會の開催を郷軍分會長會議で決議
外山聯合支部長に進言せん

臺北支部在郷軍人會分會長會議は二十六日武術大會に引き續き午後四時より臺北偕行社に於いて開催された、來賓として外山守備隊司令官、厚東少將、高東山砲隊長、沼川憲兵隊長、川添市助役等

二十數名　列席、分會長堀内醫專校長、臺中聯合分會長二瓶源五氏を始めとし支部全分會長郷軍役員其他州市兵事主任者等百十數名左記の次第に依り開會された

（一）開會の辭（二）支部長訓辭（三）聯合支部長訓示（四）來賓祝辭（五）支部の指示事項（六）北村少佐の「全國郷軍大會參列」の講演（七）藤井大佐の「軍事上より見たる滿蒙に就いて」の講演

因みに今回の郷軍分會長會議は

時局重大　な折柄とて各分會員共異常の緊張を示してゐた、最後に臺北市聯合分會より左の決議をなし外山郷軍聯合支部長に進言する事となつた

時局重大の折全島國民大會の開催を決議す

會を終へて晩餐會に移り、歡談に時を忘れ、和氣靄々裡に午後八時解散した

けふの軍旗祭
餘興も澤山
晴雨に拘らず擧行

ウエルカム市民！臺灣步兵第一聯隊の厳めしい營門もけふは新裝を凝らせるアーチが老幼男女の流れを受け容れるべく優しく微笑んでゐるのだ、正午から將校集會所で催される聯隊と市役所の合同主催になる軍旗祭祝賀會には既に千二百名の列席申込があつた程でけふの

盛況が　想はれる、晴雨に係らず光輝に充てる第二十五回の軍旗祭は行はれるのだ、軍國の秋深きときけふ日曜の一日を營内に送つて軍事氣分を喫する人の群と和やかな一日を送る兵隊さんとの握手こそ美しい情景だ、午前十時先づ軍旗祭の式典が擧行され續いて各種の

催物が　開かれるがプログラムは次の如くである

△軍旗奉迎△仁禮聯隊長の式辭朗讀△分列式△君ケ代合唱△萬歲奉唱△軍旗奉安△操銃體操△午前十一時模擬戰△正午祝賀會△午後一時運動會△體操遊戲△餘興……芝居、野外劇角力△假裝行列

七卿落

記念祭に御下賜金

【東京二十六日發電通】畏き邊りでは二十七日京都東山妙法院で行はれる七卿落七十年記念祭に際し金一封御下賜の御沙汰があつた

替地中尉墜落慘死

【奉天二十五日發電通】奉天〇〇〇〇隊の替地陪中尉（二七）は二十四日午後一時半二機編成で奉天西方二十キロの沙嶺堡附近の匪賊偵察飛行中足を射拔かれたが屈せず任務を全うし歸還飛行中午後二時五分飛行場上空より墜落慘死した

徴兵制記念日に表彰者發表
内地植民地に亙り
個人團體三百餘

【東京二十六日發電通】徴兵制布かれて六十年、二十八日はその記念日に相當するので豫て各師團、鎭守府、地方廳、植民地等から夫夫その筋に兵事關係篤行者を申請中の所二十六日決定發表されこ、個人表彰二百六十一名、團體表彰百十一で内地植民地全般に亙つて幹部表彰を受けてゐる

海軍大學卒業式に聖上陛下御親臨

【東京二十六日發電通】海軍大學校は二十六日午前十時から品川上大崎の新校舍で卒業式を擧げたが、この日天皇陛下には午前九時四十分同校に行幸卒業式に親臨あらせられ還幸の御途中十一時三十五分海軍省に御立寄相成り、岡田海相から一般軍狀を聞し召され午後零時五分大臣室で伏見久邇兩宮殿下、岡田海相、各軍事參議官等四十一名に御陪食を賜ひ一時十五分天顏麗はしく還幸あらせられた

日高地方に強震

【室蘭二十六日發電通】二十六日午後一時二十三分三十五秒北海道日高地方に地鳴りと共に近來稀な強震あり、相當被害ある見込み、日高線は危險と見て列車の運行を一時停止した、震源地は室蘭を距る百キロの日高沖合らしい

基隆納税成績は良好

【基隆電話】基隆市における二十五日締切の七年度後期分戸税、營業税、雜種税並に各税別の徴收成績に大體豫期に達したる良好さを示し戸税八割六分八厘、前年同期より一厘を増し、營業税は八割九分四厘で一分四厘増し、雜種税は九割六分二厘で四厘を減じた、總體に見れば久し振りの好成績とされ來るべき歳末を控へ景氣好轉の一端と見られてゐる

水産商船講習所の入所生決定

【基隆電話】既報の如く基隆水産商船講習所では最初の志願者三百七名の内學科試驗により百名を選び二十四日體格檢査を行ひ六十五名の合格者に對し二十五日學科試驗を行つた結果二十六日四十三名の入所生を決定した、三十日午前十時より八尺門なる同校講習所において開所式を行ひ十二月一日午前十時より始業の豫定であると

鐵團と帝大勝ちのこる
全臺灣ラグビー爭覇戰
きのふ準決勝

西部ラグビー協會主催全臺灣ラグビー爭覇戰の準決勝戰は二十六日午後二時から雨の帝大グラウンドで擧行されたが左の如く鐵團と帝大が殘つた

鐵團對高商

鐵團　十二｛六—一三　六—三｝六　高商

開始二時、終了三時十五分、レフリー有田氏、タッチジャッジ外園、宮下兩氏

鐵團　高商

田淵野田田倉池林村　舛崎島出々

安松熊松倉谷小小大閔今宮田吉佐

林村小島内本金　秀　光　EW　野田淵

森松西山中田山渡堺小　HB　安堀　TB　酒井　FB

（前半）鐵の先蹴で開始、五分迄高商優勢を續けたが盛返され△十六分三十秒、商右陣前五碼のタイト鐵押切つてゴールに流れ込みスクラムトライ△十七分鐵ゴール前二十碼前で商ペナルティーキックオフ鐵直ちに商のF、Wを破つて商陣に迫り△五分三十秒左陣ゴール前ルーズ鐵押切りて山本ドライブ△鐵の左陣ラインアウトからの球を商得て小林、團とうり關兵事に鐵のバックを拔いて中央にトライ△三十二分商陣十碼線中央より商のインゴールに跳び込んだ球を鐵堺よく追つて中央にトライ

帝大對A、B、C

帝大　二十四｛十八—〇　六—〇｝〇　ABC

開始三時三十分、終了四時三十五分、レフリー有田氏、タッチジャッジ小畑、栗根兩氏

帝大

口　澤正高橋　口井田栗本田所木

間中中

野堀西田田高　楢松黒秋岩藤税背　FW　HB　TB　FB

宮川口下村代木内川田　原元村

小上野山田田玉堀之吉　河　数　今　水

A、B、C

豪雨中にA、B、Cの先蹴で開始されたが、ボールが濡れて滑り互に反則、失策を繰返す、大混戰となり、帝大は意外の苦戰となつたが前半四トライ三ゴールを得て二十四對〇をもつて快勝す

決勝はけふ

準決勝に殘つた帝大と鐵團との決勝は廿七日午後三時から高商グラウンドに於て晴雨に拘らず決行されるが古豪の鐵團依然として王座を確保するか、新進の帝大鐵の壁を碎くか二十七日兩雄の會戰こそ未曾有の激戰を展開するだらう

本年最終の「陸上競技會」
—學生對一般對抗—
勝利は果して何れに？

一九三二年が本島陸上競技界に贈る最終の而も第一線鬪士を動員せるビッグゲームが開かれる—臺灣體協では二十七日午前十時から帝大競技場に於て學生對一般對抗陸上競技會を初めての試みとして催すこととなつた、學生軍が臺灣學生陸上競技界の沈滯を破つて躍進を期せんとする意氣は頼もしいことだ、競技は先づ百米に初まつて兩軍前哨の火蓋は切られるが學生捷つか一般の制覇となるか兩軍の陣容を俯瞰展望してみる

◇百米…學生は一一秒六の大西を首班として目黒、日高、芳賀、永戸などのスタッフでレースに臨むが一般の山田、杜火輪、林福興に對して利がないやうに思はれる

◇棒高跳…學生軍の島本、春田、永戸、奥山、宮崎に對して一般の濱田、中村、末松、松本、北原の陣容は稍一般優ると思はれ三米二、三〇の爭覇だ

◇砲丸投…一一米五〇を出したと謂はれる柏分、一一米の栗村以下鬼塚を有つ學生は末松、坂本の一般軍と互角以上の戰ひを見せやう

◇千五百米…一般は四分三〇秒所の國澤を送つて一位を奪ふが學生軍は山田、木村で一般の澤谷と猛烈な競合ひを見せることだが一般有利である

◇槍投げ…學生は五五米臺の柏分を以て斷然一位を物するが一般は濱田、末松、稲、細川などで穴埋を狙ふものと思はれる

◇百十米障碍…一七秒臺の新井、濱田を有する一般は一八秒の學生軍松島の追走を退けて優勢を見せる

◇四百米…五三秒臺の澤谷、五四秒臺の鄭を有する一般は五六秒の松村、孔勝に比べて優位に在る

◇三段跳…一四米臺を出してゐる學生河原の一位は動くまい、學生島本と一般の濱田、有馬の競合ひが見物だが學生に有利だ

◇圓盤投…三三米臺の末松、坂本に對し學生は三二米臺の栗村、三〇米臺の柏分では學生不利な立場に立つわけだ

◇四百米障走…杜、山田、林、末松、神野に對する大西を首班とする學生軍のスタッフでは先づ勝てまい

◇八百米…二分六秒所の澤谷、國澤、鄭を有する一般に對し二分一〇秒所の木村、山田、江藤の學生軍は勝ち味がない

◇走高跳…陳啓琛、濱田、有馬で構成する一般の陣容は河原、春田などの學生軍を一蹴するものと思はれる

◇四百米繼走…一分三秒臺の學生松島、永戸と一般の石塚、北原の互角レースだ

◇二百米…二三秒五所の學生大西と一般の杜火輪、杜三江、林福興のレースとなるやうに思はれる

◇走幅跳…六米四〇臺の一般、濱田、有馬に對し六米三〇臺の河原、松島などの學生軍は不利である

◇鐵槌投…學生軍は栗村を送つて絶對一位を保たしめるが學生の柏分、一般の毛内、末松の戰ひが面白い、學生有利である

◇五千米…一般國澤が一七分臺で一位は確實、學生の山田、木村と一般の楊生、蘇明漢が必死のレースを展開するものと見られるが一般優勢である

◇千六百米繼走…澤谷、鄭、神野、山田、杜三江を擁する一般軍の絶對勝と思はれる

斯く通觀する時一般軍の優勝と見られるが意氣の戰ひを挑む學生軍の迫力は豫想を裏切つてゆくものと思はれる

有るがまま見る儘の滿洲（二）
門司から大連經由で
滿洲に使して　宏堂生

大連市の近郊には臺北の北投、草山に匹敵する程の行樂地はないが老虎灘、星ケ浦は春から夏にかけて冬籠りの鬱を晴らすには充分の勝地でゴルフリンクスは淡水のリンクスに比し遜色の感じで惜まなかつた丈け妥當よりは行き届いてゐるやうだ、郊外は野菜畑が多いのが目立つ、本島人と異なつて支那人は野菜作りが上手で普通一段に三百圓位の收益をあげるさうだ、大連から老虎灘に行く途中自然氷を製造する場所がある、川、水を堰き止めて自然に凍結させ冷藏用の氷を生産するのであるがこれを商賣にしてゐる者が多數居ると云ふのだから寒國の在住者にとつては珍聞だ

× ×

大連から旅順に通ずる聯大道路は擬元備砲道が開鑿され立派に鋪裝されて居るから自動車は平均五十哩のスピードで疾驅してここのドライブは痛快なものである、道の兩側の山には十月の下旬と云ふに既に真紅に紅葉してゐるのも相思樹の緑に食傷してゐる眼には珍らしく映じた

× ×

旅順の戰跡——爾靈山か二百五十名か立籠る東雞冠山北砲臺を陷落させるのに五千餘の同胞が血河を流したことは今更喋々するまでも無いことであるが、これを九、一八事變以來の戰跡や討匪の情況に比較すると全く感慨無量である、旅順は關東軍が總拔けの殼となり、經濟上の恐慌を大連に奪はれて日一日と衰れてゐる、廣瀬中佐の港口封鎖で子供の時から馴染深く刻込まれた旅順港も水深が淺くなり軍艦商船の姿は一つも見つからない

× ×

二十七日大連を出發して奉天に向つた、奉天驛では滿洲國の兵隊官吏や憲兵警察官が嚴重に手荷物を取調べる、これは兇器の密輸入を防ぐ爲で附近は物々しい警戒振りだ、驛には改札口が無いこれも不馴れな者には呆氣ないことである、沿線各驛は土嚢を積み重ね、鐵條網を受けた兵隊は珍らしくない、列車は先驅車が裝甲し乍ら先行して居たが二三日內に取り止めることになつてゐた

× ×

奉天驛には本社の小澤理事が出迎へに來て同夜は市内の見物をしたが附屬地は臺北よりは賑かするやうだ、城内は人口五十萬餘のある丈[illegible]を極めてゐる、[illegible]附屬地に馬賊が[illegible]館の樓町[illegible]トルの音が散發聞える、女中の

嬉しい返答が去來する、餘りいい氣持ではない、暫くして朝食を運んで來た係の女中の話では「あの人達は二三日前内地から來たばかりですから慣はてるのです」と平氣なものだ、から云ふ馬賊は夜襲、略奪狙ひの驛で足が走るよ、飛び乘つかけた方が手取早いと云ふ[illegible]らしい

× ×

當日は關東軍司令部に武藤司令官を訪ねたが關東州に出張留守中であつたので小磯參謀長に會見し訪問の辭を述べた、時恰も東邊道の討伐を終へて一旦つく間も無く北滿チチハル附近の形勢が惡化し出して急を告げ、軍の方は三千餘の引縮作造りと、滿洲國側官吏の鐘[illegible]の[illegible]、内地からの諸名士の來訪等でゴッタ返し内外共[illegible]を極めてゐた、憲兵隊や司令部を訪ねた何處に行つても[illegible]してゐるので[illegible]丈けでも[illegible]

臺銀は總動員で藤本君の凱旋歡迎
臺北驛は出迎人で埋めらる

既報騎兵第二十八聯隊一等兵としてチチハル方面に出動戰功を立てて上等兵に昇進除隊となつた臺灣銀行員藤本俊夫君は二十六日臺北市新富町に晴れの凱旋をした、この日臺銀本店では頭取以下各理事から

小使に　至るまで殆ど總動員の形で鐵道部の好意により特に解放されたホームに參集ひして川添市助役、在郷軍人會、愛國婦人會、青年團等約五百に近い多數出迎者で埋められ、感激の萬歳で降りた藤本君を圍んで挨拶が交されホームをゆるがすばかりの萬歳の三唱に驛を出で、凱旋の大旗を押し立て

隊伍を　組んで臺銀本店に入り、此處でも歡迎の小宴を開き頭取發聲で萬歳三唱あつて歡喜に充ちて新富町の自宅に引揚げた

（寫眞は凱旋の藤本君）

川崎部隊廿一名の死體發見
廿九名は生死不明

【ハルビン二十五日發電通】去る十月二十九日奉安縣附近の激戰で行方不明となつた矢戸部隊の川崎〇隊五十名中平本軍曹、小池軍曹、鈴木軍曹以下伍長二名、上等兵十五名、上等看護兵一名、計二十一名の死體を發見した、殘り二十九名は生死不明である

天津では爆彈騷ぎ
排日テロの横行激化
我軍當局は重大方針決定

【天津二十五日發聯合】[illegible]の日本租界[illegible]とともに[illegible]激化し日本租界及フランス租界[illegible]二十五日[illegible]爆彈騷ぎあり負傷者數名を出した、目下日本商人と[illegible]當局は[illegible]重大方針[illegible]

五十六銀行支店にピストル強盜（神戸）
三千圓を鷲摑みして逃走
然し間もなく捕はる

【神戸二十六日發電通】二十六日午後零時五分頃神戸市林田區大橋町五丁目十一番地五十六銀行支店表門より出入客に紛り、黒覆面の一人の怪漢が侵入し、帳場係の出納係堀行員の背後よりモーゼル製銃を突付け空砲二發を發したる後窓へ上る行員の隙に机上の百圓、二十圓紙幣を交ぜ三千圓を鷲摑みに表門より逃走したので荒井支店長は直ちに林田署に急報すると共に小林、赤井兩行員、支店長令息の三名が之を追跡し駈けつけた林田署員と共に二葉町附近二葉小學校前で逮捕し、本署へ引致取調べ中

もので思想關係を取調べ中である

妻子五人を養ひかねて兇行
犯人は大久保吉之助

【神戸二十六日發電通】五十六銀行ギャング犯人は所轄林田署で取調べの結果、原籍鹿兒島縣川邊郡枕崎町大久保吉之助（三七）と言ひ、十八の時ハワイに渡り百貨店に勤め昭和二年内地に歸り昨年來神、神戸某會社の外交員をしてゐたが收入すくなく妻と四人の小供に食はせ得ないのでこの兇行に及んだ

オゾ胃腸藥

一日早く

胃腸病患者は御服用になれば

一日早く

アナタの胃腸は強くなります。

OZO

臺灣刀で斬る

【新竹電話】新竹郡香山庄虎頭湖一六〇九張文標（三〇）は二十五日午後七時頃水田九一二番地張芳源九一與に臺灣刀を以つて斬りつけ右手その他に重傷を與へその場自首して出たが原因は加害者が主人の娘と醜關係がある如く吹聽された爲であると

毒藥自殺未遂

二十五日午後九時半頃八甲町二の二八北島濱（三〇）が猛藥自殺を圖つたのを家人が發見し應急手當を施した爲一命は取止めた、因みに原因は目下取調べ中

志願者激增
士官學校、幼年學校
合せて六千餘名

【東京二十六日發電通】時局の影響を受け陸軍將校生徒志願者は增加してゐるが、陸軍士官學校、幼年學校とも昨年に比し志願者激增し二十五日までの報告に依れば陸軍士官學校八千五百二十名、幼年學校三千八百八十一名に達してゐる、試驗は十一月末より十二月三日まで各師團で體格檢査を爲し十二月四日全國一齊に學科試驗を爲すと

瑞穗丸ニユース

國際通運の芭蕉輸送割込み
實現すれば競爭だ
竹内上組頭取の談

【基隆電話】二十六日基隆入港の瑞穗丸は豫定通り午後一時港外着、久し振りの季節風と降雨で、海内は相當の波浪があり基隆島の眺望も雨で惱かされて十一月來漸く基隆季節に入つた感がある、船客合計二百七十五名、積荷一千七百噸で船客は竹内上組頭取森岡男夫郎氏、楊肇嘉氏その他で、竹内上組頭取は語る

芭蕉輸送契約改正について呼出しをうけてやつて來た、國際通運の割込みも何もかもではないが外の方面とは違つて芭蕉の事だけは簡單に行かぬ故恐らく出來ないでせう、けれど割込實現となれば自然競爭です、この問題の發端は大正十年利用組合當時加盟、池田兩氏が神戸に來て芭蕉輸送について改善したいと相談になり組合からの言ひつけで調査契約を行ひそれからずつと今日迄引續いてゐる

楊肇嘉氏の談

臺灣の地方自治その他の運動要求を携へて上京中であつた楊肇嘉氏は[illegible]

來談　用事は非常時内閣に於ける懸案事項につき内閣の意向を承るべく上京したです、商務に發表した拓殖議案を遂行の上首相、拓相を訪問し各事項に亙り色々と申上げた、それは九項であつて第一に警察制度改善、第二司法制度改善、第三行政裁判所新設、第四行政整理、第五保甲救濟、第六地方自治制度改善、第七共學、第八義務教育、第九財政整理等であつた、首相は朝鮮との比較等について朗らかに話してくれた、地方自治に關する問題は關係方面と折衝中で中川總督もその問題には固い決心の下に實施の意向だ等と云はれた、中央政局は大いにザワついてゐたが恐らく變る事と云ふ事はない様に見て來た

東京市電が百餘名解雇
交通勞働組合が再び鬪爭の準備

【東京二十六日發電通】東京市電氣局は二十五日夜百三十七名の從業員の解雇を發表した、解雇者中には思想關係十九名、勤務狀況不良六十一名、老朽淘汰五十七名を含み市電當局は過般の調停委員會申合せ條項の範圍内と主張してゐるが東京交通勞働組合は非の意外に驚き極めて不滿として再び鬪爭準備を開始した

天神丸の救助荒天で困難
乘組員は異狀なし

【基隆電話】基隆郡下貢寮庄海岸に於て遭難した鹿兒島縣船籍の漁船天神丸の救助については二十六日中に基隆水產會社よりの救助船未到著の爲澳底に於て救助器具を借受け引き下作業を行ひ大部分成功しかかつた折同日夜中より天候一變し

季節風　はげしく波浪が高まつて行くので、作業困難となり、一時之を中止したかくて二十六日朝となつて波益々高く遂に三本のロップを切斷され船體は再び海岸に押しあげられたので全く望みがなくなり暫らく天候の回復を待つ外がなくなつた、船體にはかなり損傷を認めらるるが乘組員七名とも幸ひに何等の

異狀が　ないと、而去る二十二日貢寮庄沖合で基隆の漁船が拾つた船籍不明發動機漁船は臺東廳火燒島陳内海所有のものと思はれ基隆郡より同廳に照會したけれど明かならず謎の船と見られてゐる

婦人アナは熊本生れ
二百弗の月給を支給されて放送

【南京二十六日發電通】中央黨部の排日宣傳放送のアナウンサーを勤めた日本女性は上村南京領事の抗議で即時解職されたがその身許を左の如く判明した、即ちこの非國民女性は中央黨部宣傳部秘書方治の愛妾熊本縣宇土町生れ姓不詳マツエ（三〇）で方が明大留學中派出婦たりしマツエと内縁關係を結び數年前南京に來たもので現に四人の子供があると而マツエは中央黨部より二百弗の月給を支給され放送に當つたものであると

金瓜石の鑛石八尺門で積荷か
ケーブルカーを八尺門まで新設計畫

【基隆電話】最近著しき鑛業上の發展を見てゐる金瓜石の鑛石積取場所である基隆郡下焿子寮灣に於ける設備に關しては現在何等の特殊施設なく同灣內は先般の千山丸遭難事件始め船舶等幾多の悲劇な海難事故を包んでゐる魔の海と稱せらるる處所であるが今後季節風期に入るとともに一段の戒心を要するものとされつつある際これ等の事故から全く解放さるべき安全なる方法につき會社側に於て攻究されつつあつたが、金瓜石より北内に至る深澳山を經て基隆八尺門附近に至る四哩半餘の地點にケーブルカーを新設し鑛石の運搬を行ひ八尺門で安全なる積荷をなすと云ふのであるが會社對官廳の交渉が成立すれば追つて實現の可能性あり會社の基隆進出は市況の盛ひの上にも相當の效果を期待し得べきものとされてゐる

新組合員募集月末で締切
城南信組の成績良好

臺北城南信用組合では當局の勸誘により非常時に處するため組合の擴大強化に着手し、先般來新組合員の募集中であるが非常の好成績で豫期以上の數に達したので本月末日を以て組合員の募集は一應締切ることとなつたからこの際組合加入希望者は至急同組合に申込まれたいと

子安講で祈願

臺北市内壽町二ノ二子安講出張所では二十七日徹夜に亙つて平癒法並びに珍寶授上の祈願供を厳修し信徒の安内家子孫繁榮を祈願し、同時滿洲上海派遣將兵諸氏外者の武運長久國威宣揚をも祈願する由

產組協會主催の浪花節開演

臺灣產業組合協會臺北州支會では目下來臺中の產業組合中央會大阪兵庫支會囑託、浪界の名士京山孤舟に委囑し二十八日午後七時から臺北市鐵道ホテル餘興場に於て產業組合の趣旨を浪花節に面白く仕組んだ「黎明の彼方へ」の題目で開演することとなり餘興として國防思想普及「國家總動員」の演題で一席を講ずる筈であるが產業組合員は勿論組合員外の多數來聽を歡迎する

三四銀行員の本社工場見學

三十四銀行臺北支店の山中支店長以下行員約五十名は二十六日午後三時より大擧して本社見學のため來訪、先づ三階會議室にて本社の新聞製作の說明を受け活字鑄造につき新夕刊印刷の模樣その他工場を參觀する所あつた

州下の傳染病（廿六日）

▲腸チフス　臺北市八甲町三の二吳島（二五）稻江醫院

▲腸チフス　基隆市義重町三の七〇洪照氏娘（二）基隆醫院

▲腸チフス　羅東郡羅東街林奥氏阿娘（三）宜蘭醫院

▲腸チフス　臺北市日新町一の一一六黃湖安（六）死亡

けふの催し

△臺灣步兵第一聯隊軍旗祭　午前十時

△學生對一般對抗陸上競技會　午前十時より帝大競技場にて

△ラグビー（帝大—鐵團）　午後三時より高商グラウンド

△全島硬式庭球選手權試合　老壯年硬球試合、共に午前九時より臺銀コートで

△培養園特賣會　午前十時より午後十時まで西門市場稻荷神社社務所にて

△水彩畫展　教育會館に於て

特別廣告

父勝之助儀豫て病氣加療中の處藥石効無く二十六日午前三時死去致候間此段謹告候
追て葬儀は來る十二月二日[illegible]於て執行仕候

昭和七年十一月二十六日

茨城縣西茨城郡[illegible]川西村字小泉

子　新八郎

孫　霜一雄

親戚總代　吉川松太郎

新興キネマ特作名篇◇良き原作を如何に映畫化されしや見よ

河津精三郎、森靜子、高津慶子、荒木忍　主演

◇大衆文藝三太郎代表作品◇

髑髏頭巾　十五卷

◇長尺に付正六時開演仕ります◇

芳の館

漢文臺灣日日新報

至遲至今週末日華問題

移諸總會或委員會

二十五日壽府電。確問聯盟最高權威方面。日華問題 審議所關。日本以外常任理事國之間。一致意向。不管議長脫線。西班牙代表策動如何。本日至遲今週末。欲將問題。全部移諸總會。或十九國 委員會。理事會 多數。如斯欲急議畢之理由。蓋看取日本態度强硬。且將律致報告。日華代表理事會演說。其他一切議事錄。盡移諸十九國會議。或總會。暫延 議事。而期此間多方私相會談。以開解決 方法之端緒。然後正式再開 會議。日本之意。以爲不故意延緩。務以確固決意。及悠揚不迫 之態度。對聯盟云。

我代表部於理事會

聲明尊重各國

二十六日壽府電。我代表部。以理事會審議未盡。而將日華問題。移諸總會之案。固應反對。然因各國希望。不欲積極反對。松岡代表。因容事務總長等之希望。允出席總會。又松岡代表。於最後理事會。聲明我態度如左。

一、鑑於理事會。無發言者。皆希望移于總會之事情 日本代表尊重之。不之反對。

一、就規約第十五條之適用。依然保留。

一、理事會。聽報告書。意見書。竝日華兩國代表之演說。審議不盡。移諸總會所爲遺憾。

一、總會或審議不可能。再還理事會。鑑於總會與理事會。各有獨立機能。信所願望。

深夜議對總會移牒

我代表部請訓

二十五日壽府電。松岡代表。二十五日午後九時。至十時半召集代表會議協議結果。直電外務省。具理事會經過。請訓總會移牒之可否。竝附長岡。佐藤兩全權意見云。

總會移牒請訓

聯盟方面大體樂觀

二十五日壽府電。聯盟方面。料日本或拒絕 總會移牒。理事會再以十三對一。日本脫退聯盟堪憂。然松岡代表。於理事會總會。得以如意發言。逍遙日本之立場。想自大局而進。大體樂觀云。

聯盟總會期

內定十二月六日

二十五日壽府電。總會內定來月六日。而移諸十九國委員會之說亦有力。然事務總長之意。欲一旦開總會直移諸十九國委員會云。

南京放送局

罷放送排日婦人

外交部亦答中止

二十五日南京電。對日本之惡宣傳放送。因日本抗議。放送羞。將排日婦人放送者罷免。切望日本無所誤解。又外交部。亦回答宣傳放送中止之旨云。

航空路開設案

復活陳情

由俱樂部提出

內臺航空路開設案。傳在大藏省查定。已屆無望。臺灣俱樂部。乃百方奔走復活運動。已如前報。去十七日。經幹事會之議決向大藏遞信兩省。提出陳情書云。

明糖脫稅

法制調査會

鹿又技師說明

二十六日東京電。明糖脫稅調査會。二十五日午後一時。開於法制局。鹿又東京稅務監督局技師。特將製糖技術所關。詳細說明。舉關明糖問題。具體

爲帝國欲言得言

總會理事會皆可

松岡代表談

二十五日壽府電。理事會畢後。松岡代表。語人如左 總會移牒。不少惶恐。欲言得盡言。總會。理事會無一不可。移諸總會皆有以應。今日事情。再不便言。議長務欲早收拾歟。切望至二十八日日本政府訓到。再三復陳。形勢如此。日本不得輕々決定。顧維鈞君。有關於現實之言。即於現實困幸。在現實之世界中。或聯盟。或滿洲國。所有一切。意必要見之正當。此點特堅信念。以待東京回訓云。

標準級茶

期待活氣

現出貨激減

大稻埕最近茶市。據臺灣茶共同販賣所。于二十六日所調査。本週茶況。因時屆冬茶期。出貨激減。而爲龍茶。洋行一港 依然觀望。買賣緩漫。然貨主一港。對最終期標準茶。期待掉尾活氣。擁有相當存貨。唯望商機之轉換。結局本年之買賣。預料繼續至十二月初旬。又包種茶。粗茶出貨殆絕。惟俄國用茶之原料。有斷續的寥少出貨。市面閒散。價格烏龍包種茶。各保持不變動。是日市價如次。粗製烏龍茶大葉烏龍種。上二十四圓。中十四圓。下十一圓。青心種上二十四圓。中十四圓。下十一圓黃柑種上十七圓。中十一圓。下十圓。時茶種上十二圓。中十圓。下九圓。又粗製包種茶大葉烏龍種上二十五圓。中十六圓。下十一圓。青心種上二十五圓。中十六圓。下十一圓。黃柑種上十七圓。中十四圓。下十圓。時茶種上十三圓。中十一圓。下九圓云。

大甲郡各地

廿四夜停電

大甲郡下去二十四日。午後八時頃。各地電光。忽然全滅。化成黑暗世界。一去數時。方見送電。查清水方面。減去僅十數分間。而沙鹿以南。停電約二時餘久。街民嘖有煩言也。

內臺滿連絡

第二船來航

廿五日出港

本社特電。內臺滿連絡大連汽船會社第一船山東丸三千二百噸二十二日午前八時。由大連。入長崎港乘客一等七名。三等十七名。載貨四千六百噸。長崎上陸客。十六名。起貨四十二噸。由長崎搭船客十名。載貨三百噸。午後四時。出帆向臺灣。而第二船。三千二百噸。豫定三十日入港云。

照南丸歸港

按來月一日

總督府水產試驗船照南丸。夙在南洋。調査底魚漁業及海洋。已完其使命。就歸航之途。據督府水產課入電。二十五日正午位置在茄孫島南端西三十浬處按十二月一日歸港。

松岡代表演說雖强

留有妥協餘地

聯盟一邊所料

二十五日壽府電。日華問題之移諸總會問題。二十五日理事會。果然展開大論戰。結局松岡代表。決定東京回訓未到之間。決定不得。聯盟觀測如左。日本政府回訓。順調而來。二十八日理事會。可將問題附諸十九國委員會。同委員會。或二十九日。或三十日開之。臨時總會。當在其後。問題縱移諸總會。日本强硬態度。與問題之複雜。總會恐於耶蘇降誕祭休暇前。不過討議報告書之半。最後解決且延之一月以降。今日松岡代表演說。頗强硬。伏有正面衝突之危機。然其指摘日華直接交涉之必要留有多少妥協之餘地。即與報告書中。主張直接交涉者同。結局總會。決議不承認滿洲國。然後待其決議對日本之反響云。

堂堂國府僞電惡宣傳

日軍戮殺全屬荒唐無稽

外報釋明近將嚴詰國府

二十五日上海電。二十五日朝 外字新聞。揭載南京路透電報。日本兵在[illegible]近三村落。虐殺二千七百名 老幼男女村民。荒唐無稽。我公使館當局。[illegible]社取消。竝嚴重抗議。該社釋明該電報。爲國民政府所發表。公使館。更以國民政府。此舉更傷國際信用上之威信。尤其僭妄。近且嚴重抗議云。

時評

○內臺共婚法實施。開正式結婚之路。水乳交融。實際的同化。捨此別無他策。此種法案。於領臺三十八年後之明年。方得實施。猶嫌其遲也。

○共學共婚。內臺融和漸次第實現。今後實施實際的之自治制。爲當務之急。門戶開放。如人材之拔擢亦有望於要路諸公。

○臺人生活安定之道。宜從農工商業著力。而國民的訓練。要課教育普及。文教當局現正考慮四年制義務教育。蓋有鑑及此也。

○各地書房。現遭禁止。年關告迫。寒儒無可謀生。鳥貓鳥狗歌曲班。已禁發賣。而猥褻歌劇之興行。豈無考慮餘地耶。

新店公學校

練習國語

文山郡新店公學校。最近爲謀收容半途不學之男女。教以國語。於青潭及本校各設國語練習會。前者爲第一會場。收容三十名。後者爲第二會場。收容七十名。即十二歲以上。三十歲以下之人。每日午後二時至四時。會期各二個月久云。

臺灣發明協會活躍

來月召集理事會

附議募基金其他事宜

財團法人臺灣發明協會。于大正三年。爲獎勵于臺灣發明及發見而設立。爾來經十八年。理事長經高木友枝氏。以後堀內。賀來。後藤。河原田。人見。高橋。木下諸氏。至現在之平塚廣義氏。已達九代。然其基金。不過五百圓。事業一向不舉。較之東京帝國發明協會。會員三千年以經費約八十萬圓。對斯界盛爲活躍。有多大貢獻者。幾同睡眠的狀態。高原中研庶務課長。自入中研以來。頗有致意。欲大發揮機能。且平塚現理事長。亦有多大關心。乃改善其組織等。對產業工藝其他所關發見發明。計畫大獎勵。同理事長。訂來十二月五日。于帶公務晉京前。擬于一二日。召集同會理事會。出席者專務理事高原庶務課長。理事則殖田殖產、田端專賣兩局長。大島、加福、服部三技師等五名。監事小濱內務局長。附議事項。基金募集。機關雜誌發行。開發明特許品等之展覽會其他。對其結果。僉多期待

中埔演武場

新築落成

嘉義郡中埔今回新築演武場落成二十四日午後一時舉行落成式。及開場式。佐野警察課長臨席。中埔派出所永島警部補式辭。來賓中埔庄長陳茂如氏祝辭。式畢柔劍道。分紅白戰。至四時告終。紅軍獲勝。

新虎尾溪

大圳給水

凡十六部落

[illegible]十六街至海岸間新虎尾溪延長約二十五里。土地面積二千五百二十五甲。從來屬官有地。目前由州當局。貸下於民間。嘉南大圳組合。已選定十六部落編入區組合區域。即之[illegible]要急速施設之事云。

主開衛生教產展覽

十二月十日起三日間

中壢郡當局準備中

新竹州中壢郡。訂來十二月十日起。至十二日止。三日間。要開催衛生教育產業展覽會。目下中尾郡守。馬場。中澤兩課長。以下各係員。晝夜兼行。忙於準備。第一會場中壢公學校。充衛生教育館。第二會場小學校。充產業館。又當日要演臺灣戲。活動寫眞。店頭裝飾。電燈綠門大賣出等。十二日晚。有各區對抗之意匠藝閣。其他行列。屆時定呈盛況云。

强盜團逮捕

假想演習

基署總動員

基隆署。爲促署員執務緊張。於二十五日午前零時七分。舉非常召集。服部署長。親自出馬。假想「定二十四日午後十一時。市內濱町。有强盜數人。劫奪通行人之現金五十圓。及指環。金時計。萬年筆等逃去」。署員百四十名。以警部補爲班長。分作四班。各定區分。於午前二時十八分深夜。互市內全般。因張非常線。聚大搜查。搜查範圍廣汎。各班俱感困難。至午前五時。合四班。對計十二名之犯人俱照豫定發見告終。由是

高雄市兩部落編入

經市協議會可決

人口增二千餘名

第十二回高雄市協議會。二十五日午後一時。開于公會堂。小川市尹就議長席。一場致[illegible]。[illegible]各種報告。由[illegible]入議事照昭和七年府令第五十二號管轄區域變更區域內所在左營庄[illegible]有財產。[illegible]本市之件。即就區[illegible]部下[illegible]子關[illegible]尾兩部落編入于高雄市之理由。由泉[illegible]。[illegible]後。省略讀會。[illegible]議。清水氏[illegible]編入之[illegible]民[illegible]。宮[illegible]氏[illegible]之有無。對[illegible]市。無事閉會。又因此管轄變更。歸屬于市之財產一千六百四十圓。戶稅生產額十萬三千餘圓。兩部落面積。山林原野其他百三十一甲。戶數一百三十七人口二千三十三人。閉會後。協議會員一同。視察編入部落。是夜于梅屋敷旅亭。開月例會。

竹市及竹南

深耕競技期日

[illegible]二十八日。由[illegible]者二十名。[illegible]局之原種田。開深耕競技。是日囑託農會。審查等級。由市尹授賞賞格。一等一名。二等二名。三等三名四等四名。又竹南郡支會則訂來月一日。由每庄選出三名。計十八名之參加者。在竹南庄。開全郡深耕競技會云。

海底寶庫

阿部等出願

採取砂金

花蓮港砂金。陸上不受許可。是故此次有稻住阿部善助。小島政廣兩氏。出願達奇利溪之海中砂金採取。面積五十九萬四千五百坪。右距達奇利原野翁山英。李步青兩氏合同經營礦區附近海岸百二十間海底。許可與否。尙未可知云。

乘合自動車

急停顛覆

臺中州北斗。二水間乘合自動車二八七號運轉手林再德。去二十四日午後六時三十分。在北斗街一八二番地。欲追其前方進行中之貨物自動車四一三號忽因機關故障。運轉不得乃急停車。竟顛覆。乘客內地人一名。本島人二名各負重輕打撲傷云。

横領自轉車

東石郡六腳庄三姓寮字水返濁人陳清吉。年三十一去十五日午後九時頃。對同郡太保庄過溝郭木坤。借自轉車。乘往他處。約歸卻返。因一往不返。更將車橫領逃走。去廿四日被嘉義郡警察課捕住。目下留置訊中云。

少婦縊死

新竹郡舊港庄馬麟居人王再傳之妻。呂氏猜。年十九。因不遂婦道。屢被夫斥責。去二十四日下午三時。在自宅床上縊死。

投河遇救

臺南市濱町二丁目二十九番地王乞食妻王曾氏順勤年二十三。去二十四日午後五時。欲投臺南運河自殺。被澎湖廳白沙庄百五十六番地郭自先。及陳紹兩名救助。原因爲家庭不和云。

挾怨持刄伏草堆下

俟其出不意斬之

被害者傷重性命堪虞

新竹郡香山庄青草湖無賴漢林九。現被傭於帝糖新竹工場之建築請負業人。爲其運磚勞工。前因與水田人吳沛。有積怨。每欲乘機斬之。去二十五日午後六時半。暗藏利刄。伏於沛之宅後菜圃。稻草堆下。俟其出。乘其不意刺沛橫腹。深達至內臟。併斬傷沛之手頸部將斷。恐有喪命之虞。凶手山現場逃亡滅跡。現搜拿中。

瑞芳

配標準語

瑞芳礦業小學校加藤校長。及諸教員。鑑該校兒童環境。皆爲礦區界地關係。所用言語。有欠優雅。此番欲徹底的指導暫時之間。印刷標準語。舉實例矯正語類。配布于各保護者俾得與家庭連絡。而矯正之云。

賭徒一串

瑞芳庄柑子瀨人劉世發之宅。於去二十四日夜十時半頃。與外二名賭四色牌。被該派出所石井。田中。高三巡查。一齊檢擧。合傍看者四名。即時送入郡警課取調云。

大甲

中學生來

臺中州公立一中學校生徒一行百四十名。於二十三日午後二時由校長引導到大甲街行兵演習。是夜宿在水源地一泊。翌早徒步對豐原經由歸中云。

五年據置

內埔信用購買組合。此回施行金五年間據置。爲子弟學資金及婚費及作生理者使之。如貯十圓五年間據置。得領十五圓五十圓五年間據置。得領七十五圓。百圓五年間。得領百五十圓云。

換主經營

大甲自動車商會經營大甲通庄間線路。因經營困難。此回賣與共榮自動車會社。該會社即將舊車賣却。購入新車。故修理全線路。按近中運轉通行云。

彰化

納稅金失

彰化街字南門人王耀東。月二十五日午間。其母令其妹王氏月貸。持金三十圓。往役場完納戶稅。將納時。模索不得。往返尋覓數次。疑或被竊。因即報官云。

司法異動

彰化郡役所司法主任。諸富調轉臺中。要其後者爲佐々木警部而第二司法。澤谷警部補。亦轉勤大甲郡。按其後者乃本郡外勤監督警部補辻宮輔氏。而以小形警部補々外勤監督云。

嘉義

軍事活動

十一月二十八日。爲兵制發布六十年之記念日。嘉義市內。是日午後七時。由在鄉軍人分會主催。在公會堂。開軍事普及活動寫眞會。

開運動會

嘉義郡大林公學校及林子前分教場竝男女子青年團。定二十七日午前八時起。在大林公學校。開運動會。運動種目。計七十六種。

捕盜鷄賊

嘉義郡大埔庄大埔人劉新祉。年四十。去二十四日午前十時盜搬同所人黃長論之鷄五隻。價二圓五十錢。被發覺。捕入警察課。由川尻司法主任訊問。答以因二十五日納稅期漢急。不得已盜鷄。欲賣以完納云。

詩壇

基隆港　磐溪　高士穆

浪花遠處鳥飛頻。秋後閒行愛水濱。
渡口勞人印鴻爪。津頭架屋曬魚鱗。
艨艟蔽日河山小。網罟隨波歲月新。
鎖鑰東南雖鞏固。莫忘西去有强秦。

盧麥鬮君招赴既望南陽秋季聯吟會不果行却寄彙似菜文偏丈

謊籍詩酒負鷗盟。夢到礁溪倍有情。
險韻遙知敲夕照。新詞待讀賦秋聲。
南陽雨霽

英美滙水	廿六日
英美滙水	三弗二〇仙八分五

金塊行情	廿五日
上海金塊	七七九兩

銀塊行情	廿五日
倫敦現物	一八片八分一
同　先物	一八片四分一
紐育現物	二六仙二五分
同　先物	二六仙七〇分

對外滙水	廿六日
大連現物	一〇一圓九五錢
同　先物	一〇二圓四五錢

廿六日滙銀價	
倫敦電信買	一志三片二分一
紐育同	二〇弗四分三
孟買同	八三留比
新嘉坡同	一八二圓
爪哇同	五一盾
上海(參考銀)	一六九兩 一〇五圓
漢口參考兩	六六兩二分一
福州同	一〇五圓
廈門同	一〇五圓
汕頭同	一〇五圓
香港同	一一〇圓
廣東同	一一〇圓

漢文臺日案內

菓種商
前岡漢文部長 北市[illegible]
李金燦參莊 電話一九八六

洋服
服地と裏地は逢坂へ
良品廉價 市大和町二 電二五四五

廣告
七月內迷失[illegible]所用印鑑之印圓形今因紛失[illegible]
昭和七年拾壹月貳拾七日
中壢郡中壢街水尾字水尾貳〇番 劉世[illegible]

臨產須知

臨產準備
須護身體
須飲赤玉

赤玉葡萄酒

美味滋養葡萄酒

369